

令和3年度  
学生生活実態調査報告書  
(第12回)

九州工業大学

## 目次

I. 調査の概要	1
II. 住居と通学について	2
III. 食生活について	6
IV. 経済状況について	8
V. 学生生活について	12
VI. 課外活動について	24
VII. 学習状況・学習支援について	28
VIII. 図書館（北九州学術研究都市の図書館を含む）について	40
IX. 進路・就職支援について	45

# I. 調査の概要

今年度は、コロナ禍におけるオンライン授業の増加に伴い、例年の質問表の配付は行わず、LiveCampusや九工大メールにて回答を促した結果、回答率が31.5%に留まった。(前回66.0%)

## 1. 調査の目的

本学学生の実生活態を把握し、本学における厚生補導業務の運営の参考とし、修学指導上の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査基準日

令和3年8月1日現在

## 3. 調査の対象

令和3年8月1日現在の学部学生、大学院生、外国人留学生の全員とした。

## 4. 調査の方法

調査は学内関係者のみアクセス可能なFormsを用いて行った。

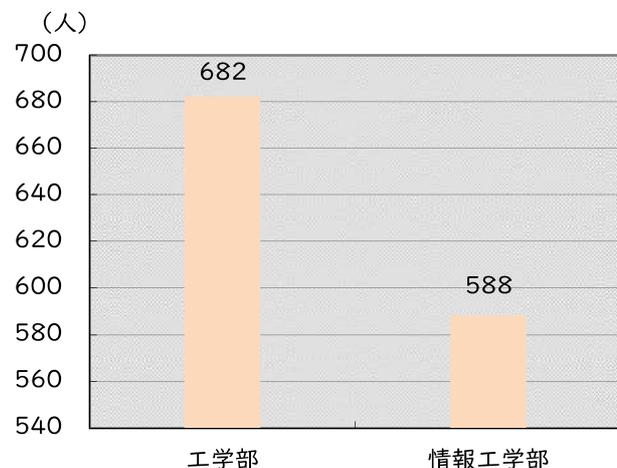
## 5. 調査票の回収状況

学部	対象学生数 人	回収数 人	回収率 %
工学部	2,219	682	30.7
情報工学部	1,806	588	32.6
学部計	4,025	1,270	31.6
大学院			
工学府	597	172	28.8
情報工学府	425	89	20.9
生命体工学研究科	290	105	36.2
大学院計	1,312	366	27.9
外国人留学生	277	141	50.9
合計	5,614	1,777	31.7

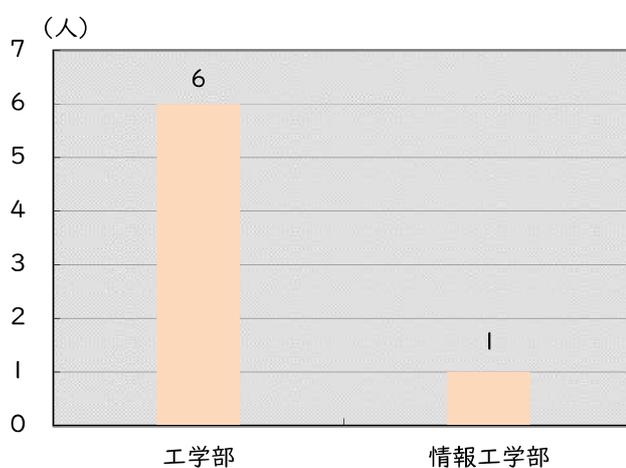
### 【回収数内訳】

(学部生)

<日本人学生>

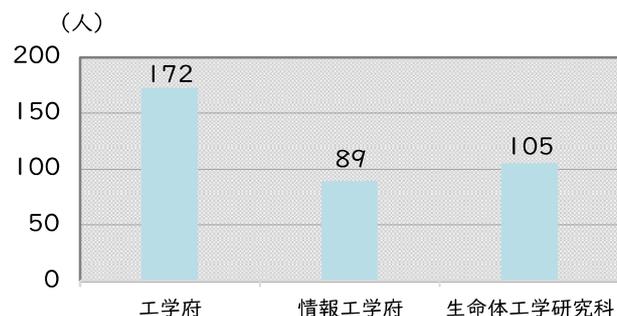


<留学生>

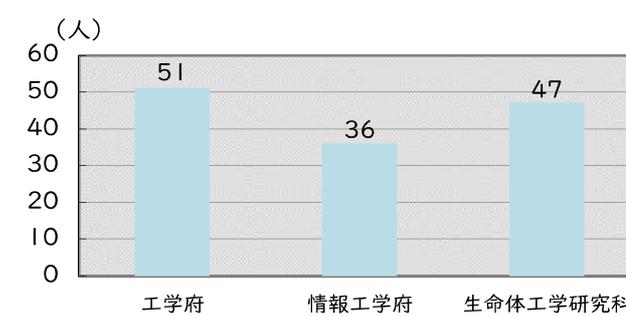


(大学院生)

<日本人学生>



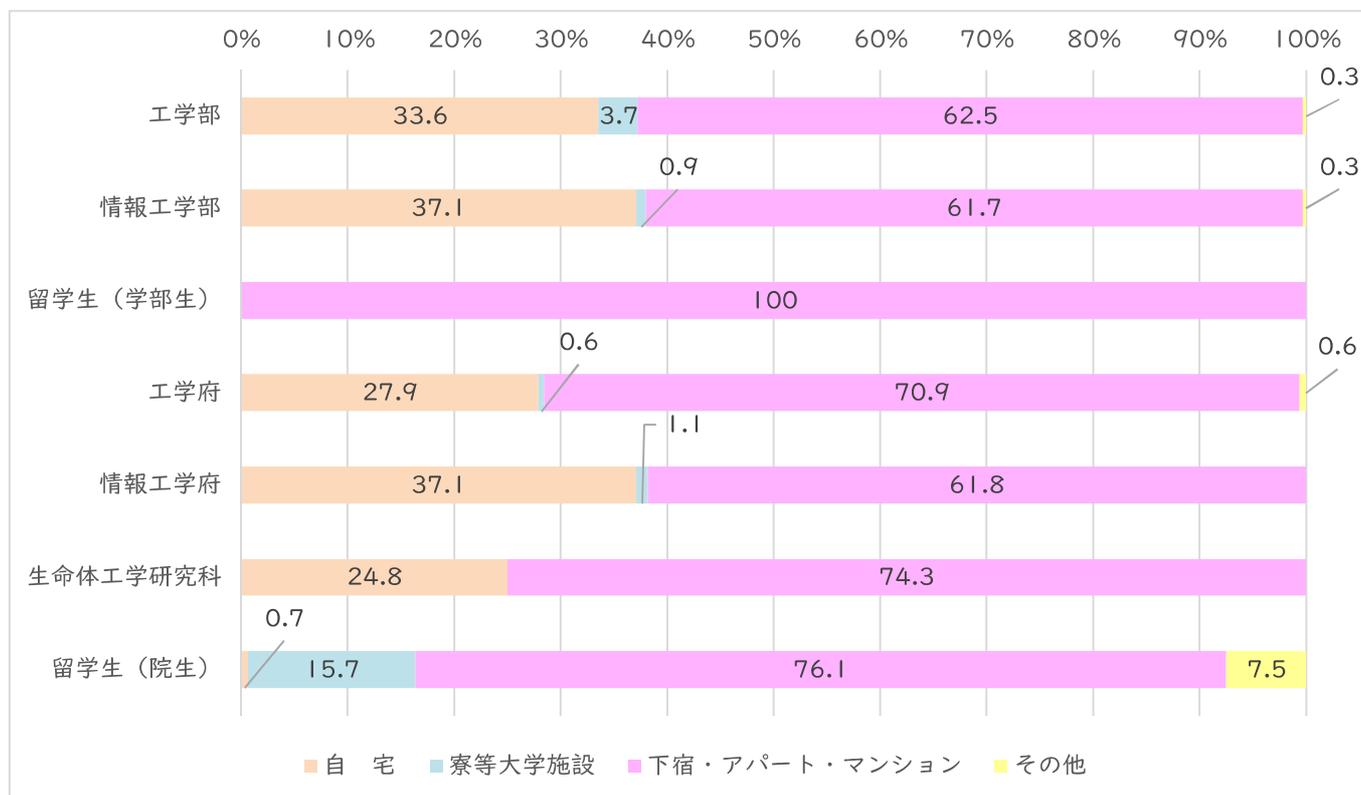
<留学生>



## Ⅱ.住居と通学について

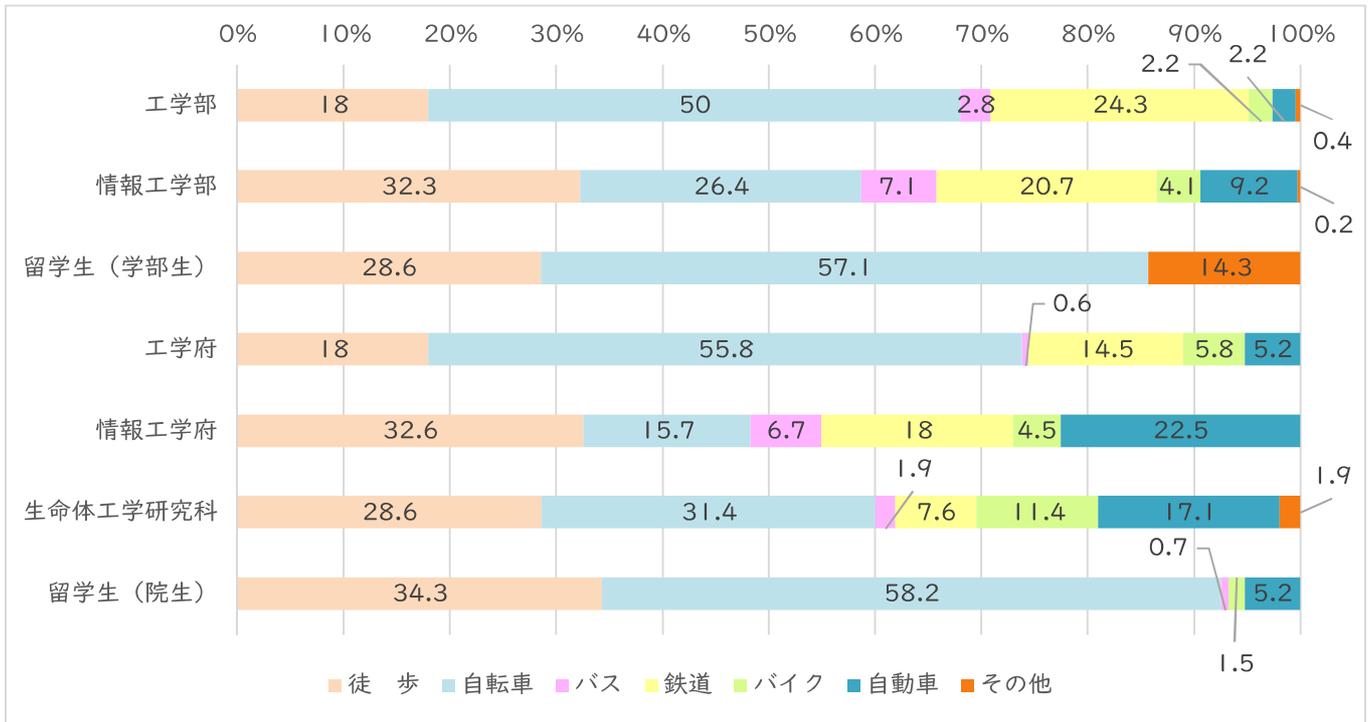
### Ⅰ.現在の住居区分はどれですか

戸畑・若松キャンパスに関しては、下宿・アパート・マンションの割合が増加している一方で、飯塚キャンパスに関しては、この割合が減少し自宅生の割合が増えている。(前回調査時 工学部:58.6%、情報工学部:62.2%、工学府:70.0%、情報工学府:70.1%、生命体工学研究科:70.7%)



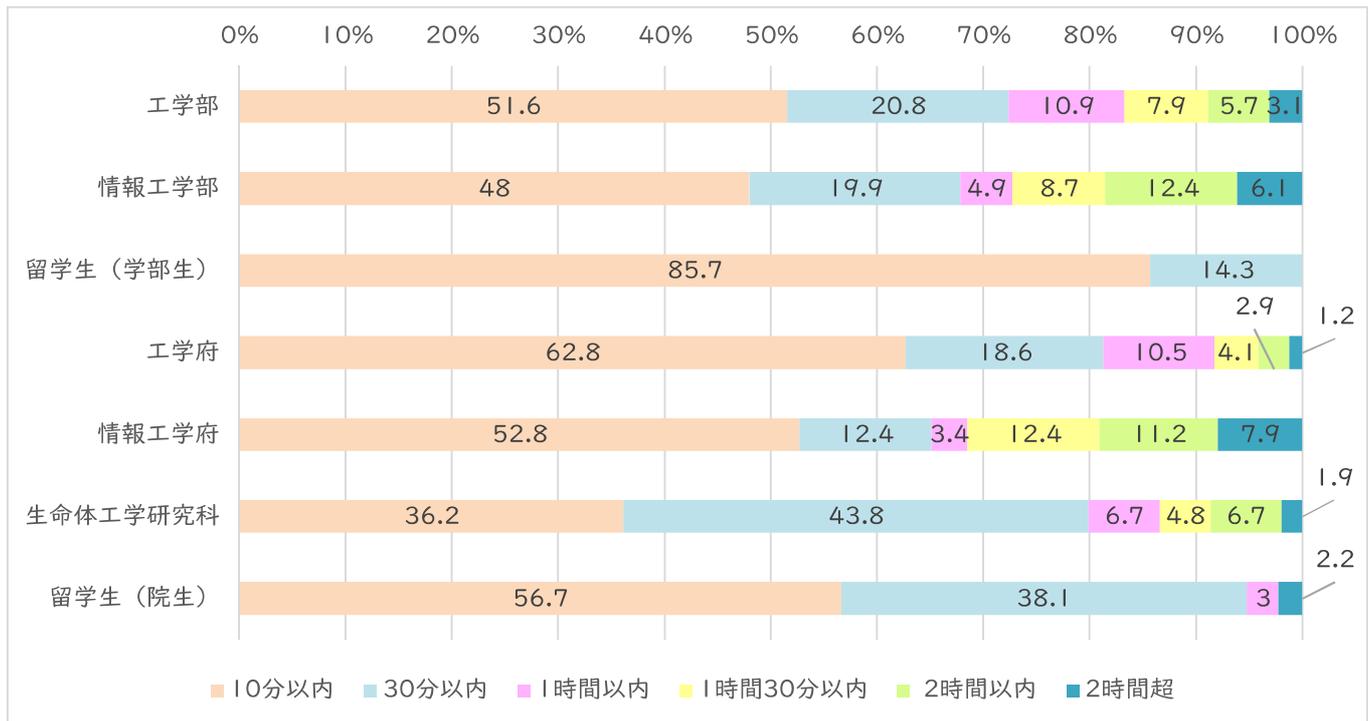
## 2. 現在の住居からの主な通学方法は何ですか

前回調査時同様、工学部・工学府では半数以上が自転車を利用している一方、情報工学部・情報工学府では徒歩の割合が高い。また、情報工学部・情報工学府・生命体工学研究科では自動車・バイクの利用の割合が高い。



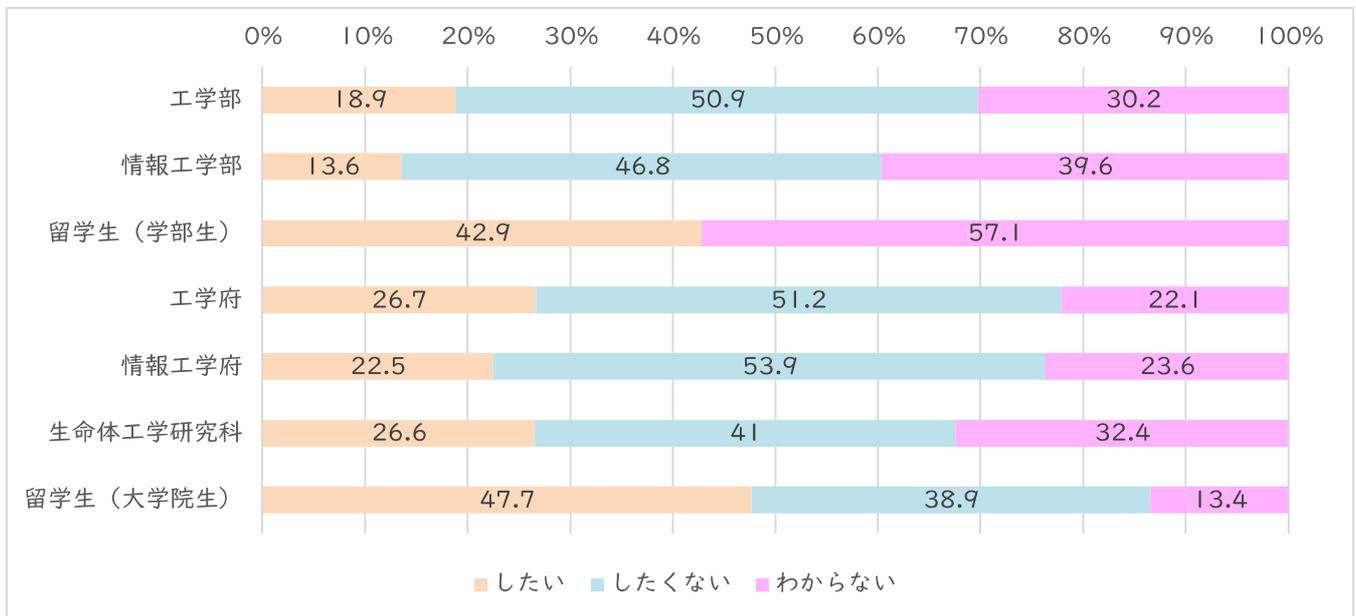
## 3. 現在の住居からの通学時間はどのくらいですか

通学時間が「30分以内」の学生の割合が、工学部、工学府、生命体工学研究科で7割を超えている一方で、情報工学部、情報工学府では6割程度である。情報工学部、情報工学府の自宅生の割合が増加していることと関係していることがうかがえる。



#### 4. 大学内に学生寮等が増えたら入居したいですか

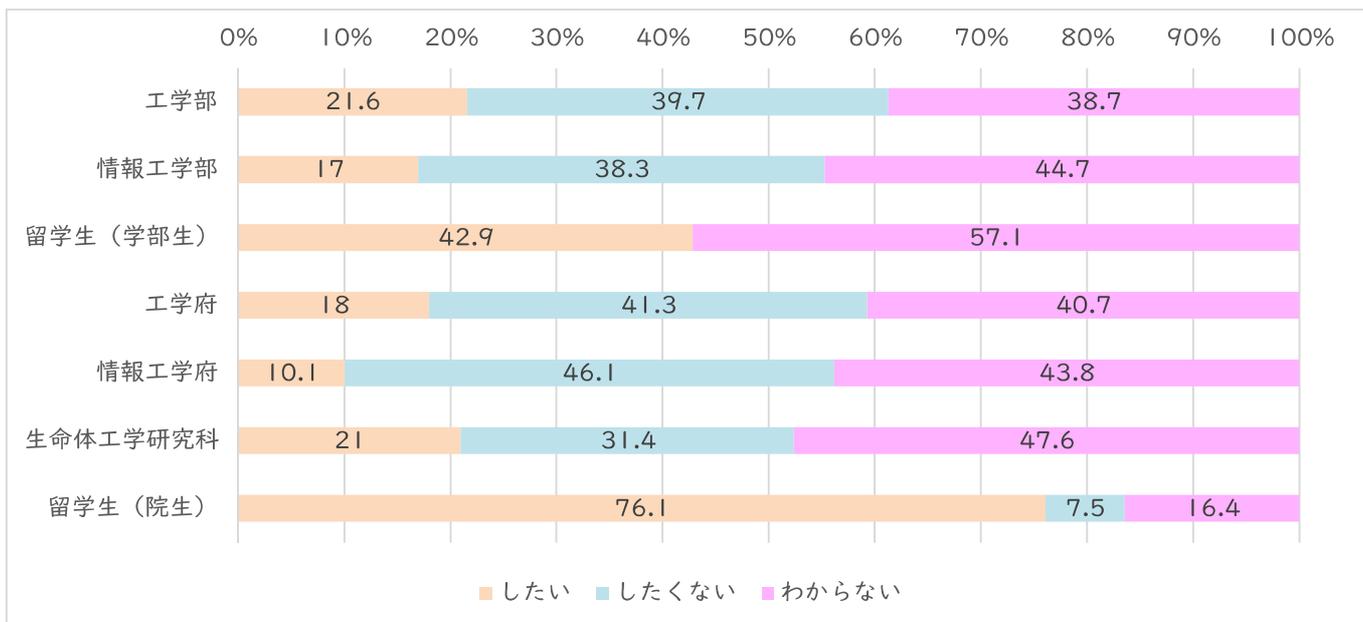
日本人学生については、学部生に比べ大学院生のほうが入居を希望している学生の割合が多いことがうかがえる。一方で、留学生は学部生・大学院生ともに学生寮への入居を希望している割合が高い。



#### 5. 留学生との混住寮が増えたら入居したいですか

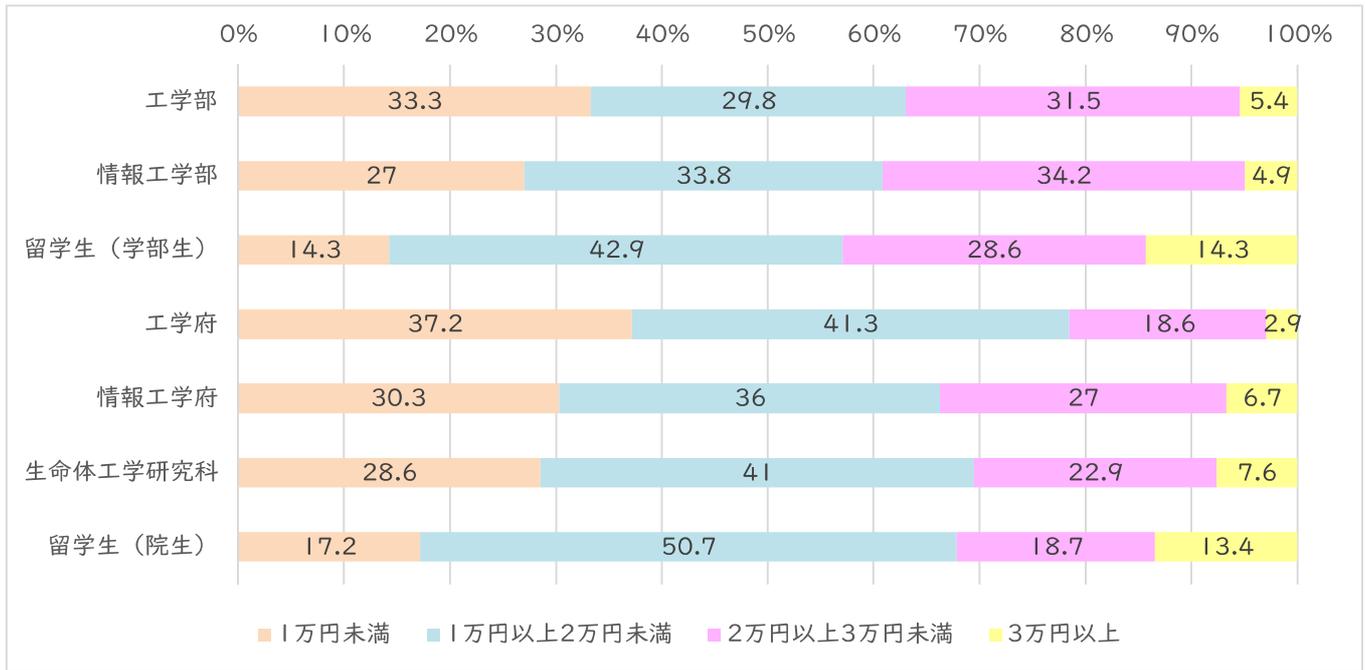
工学部を除き、留学生との混在寮に入居したいという学生の割合が前回調査時(工学部:18.4%、情報工学部:17.3%、工学府:22.4%、情報工学府:17.0%、生命体工学研究科:25.4%)に比べ下がっている。

また、外国人留学生のほうが、日本人学生・外国人留学生の混在寮を望んでいる割合が高い。



6. どれくらいの寮費(光熱水費込み)だったら入居してもいいですか

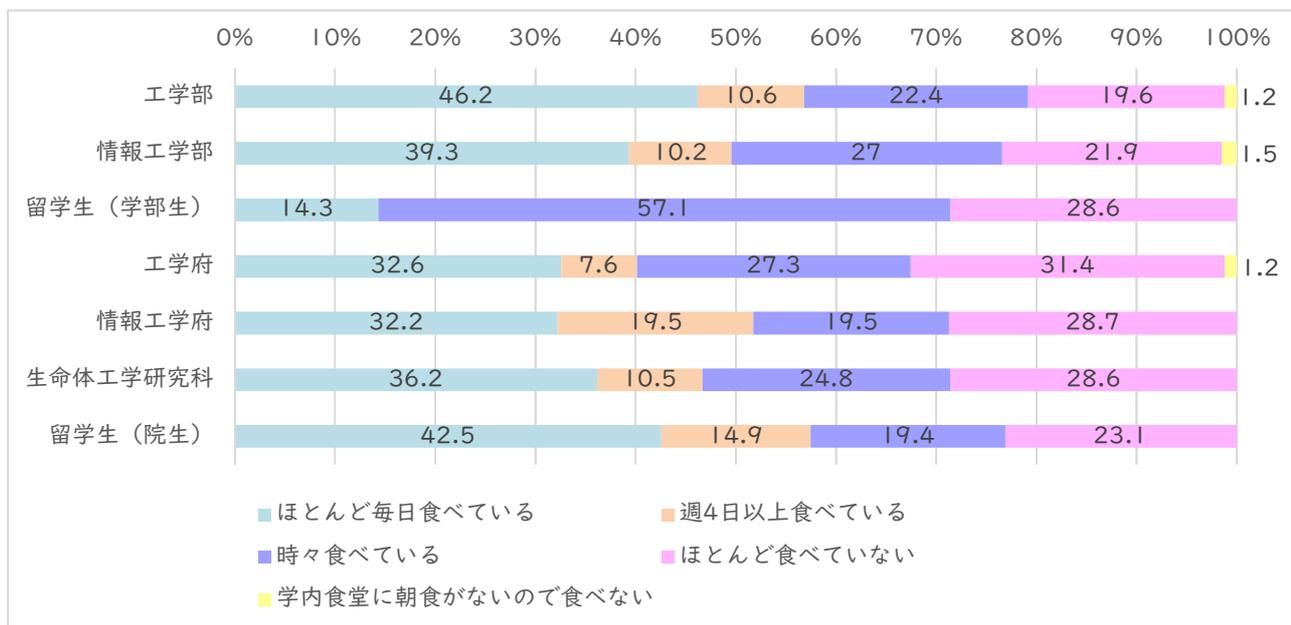
本学の学生寮(明専寮・スチューデントレジデンス)の寮費(光熱水費込み)「2万円以上～」の学生の割合が3割程度となっており、前回調査時と同程度の結果となっている。



### Ⅲ.食生活について

#### 1.朝食を食べていますか

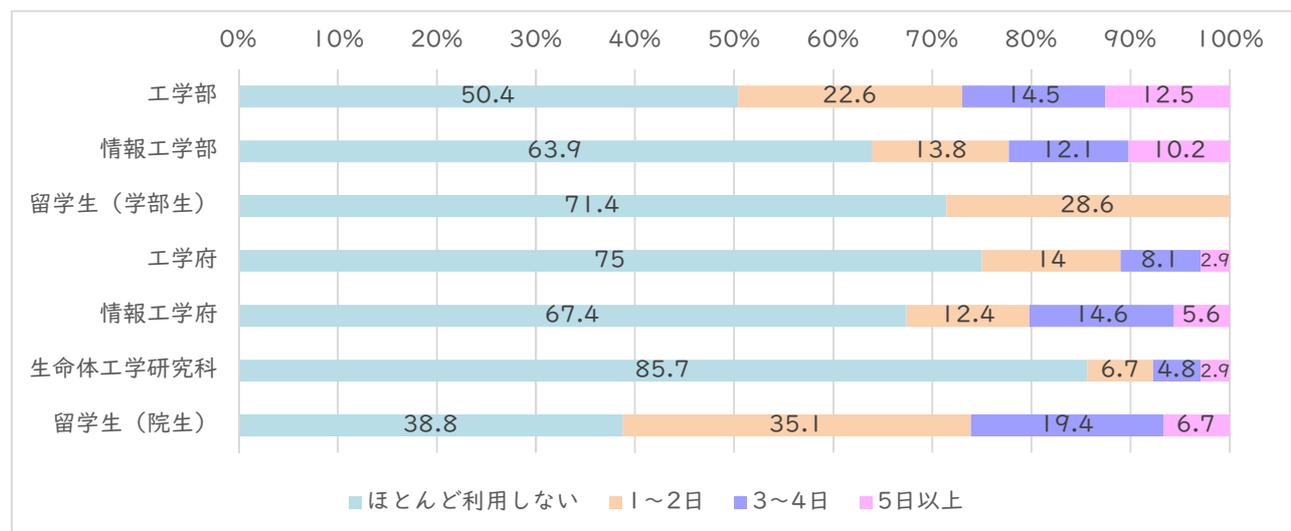
3キャンパスにおいて、朝食（ほとんど毎日、週4日以上）を食べている学生の割合は、半分にも満たない。



#### 2.学内食堂を1週間のうち何日くらい利用していますか

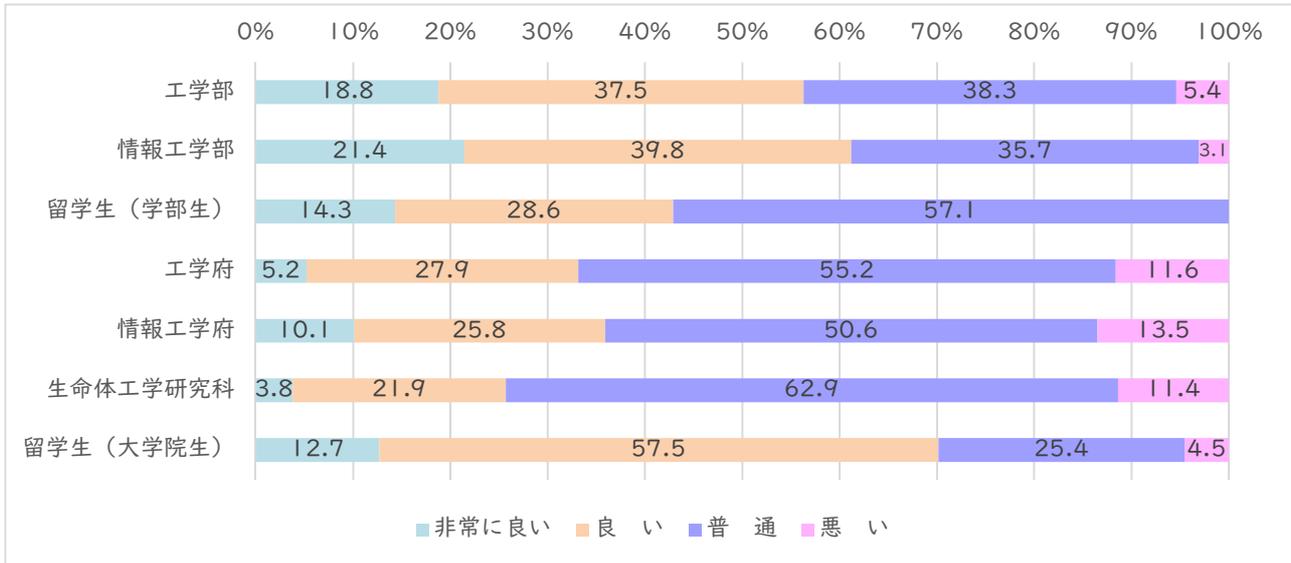
学部生において、学内食堂を「ほとんど利用しない」と回答した学生の割合が、前回調査時（工学部:26.5%、情報工学部:28.8%）約2倍増加している。コロナの感染拡大により、オンライン授業が実施されている影響がうかがえる。

また、大学院生に関しても前回調査時（工学府:49.8%、情報工学府:46.2%、生命体工学研究科:67.8%）と比較し、学内食堂を利用していない学生の割合が増加している。



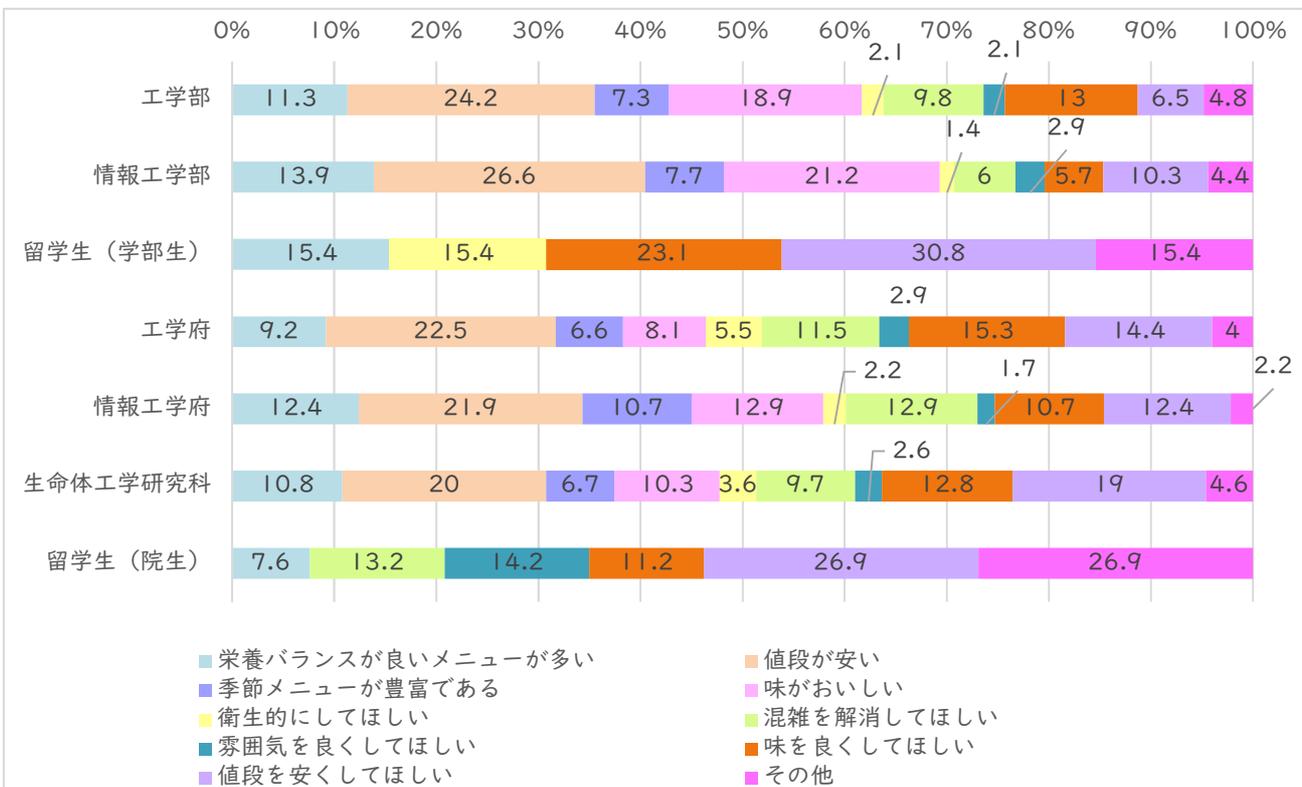
### 3. 学内の食堂に対するあなたの評価はどうか

学部生において、「非常に良い」「良い」と回答した学生の割合が前回調査時(工学部:30.8%、情報工学部:32.7%)よりも大幅に増加している。大学院生と留学生に関しては、前回調査時と同程度の結果となっている。



### 4. 学内食堂に対するあなたの意見や要望を教えてください。

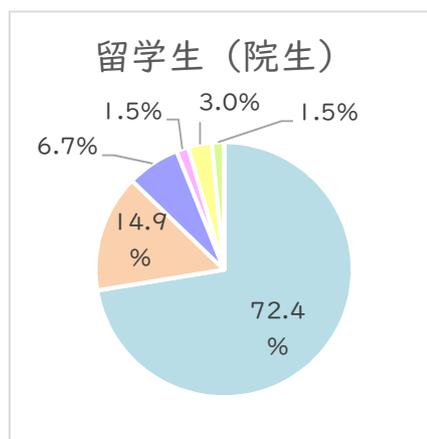
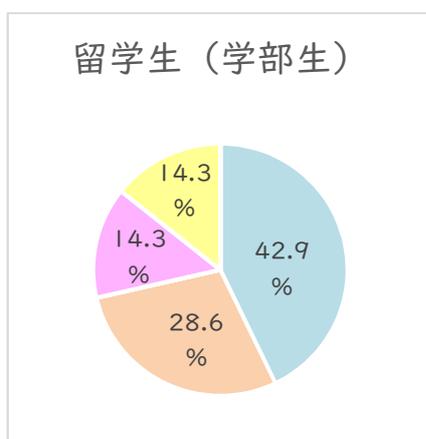
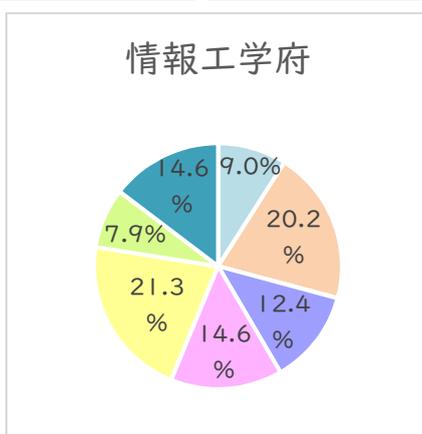
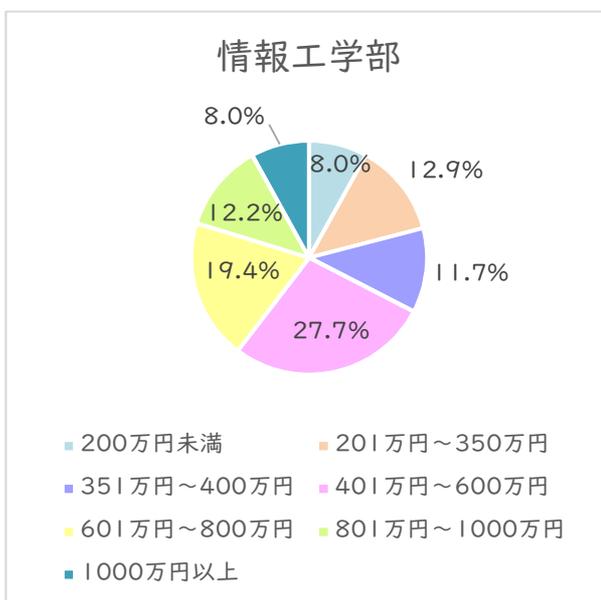
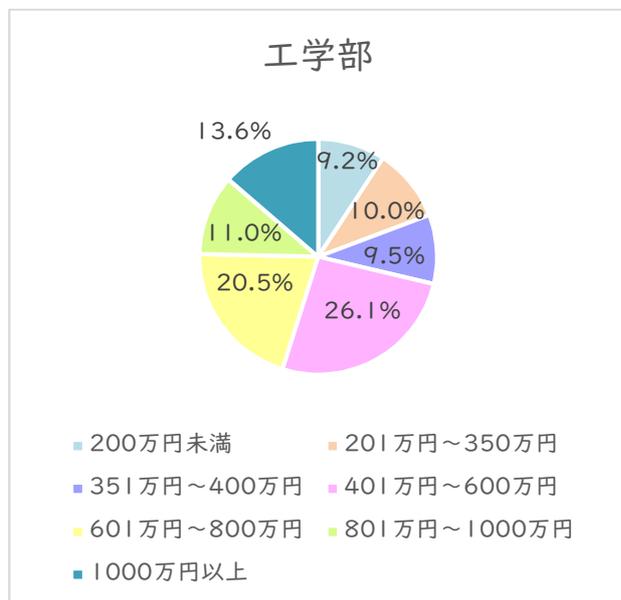
「値段が安い」「味がおいしい」といったポジティブな意見が多く、学内食堂に対する評価が上昇したと関係していることがうかがえる。



## IV. 経済状況について

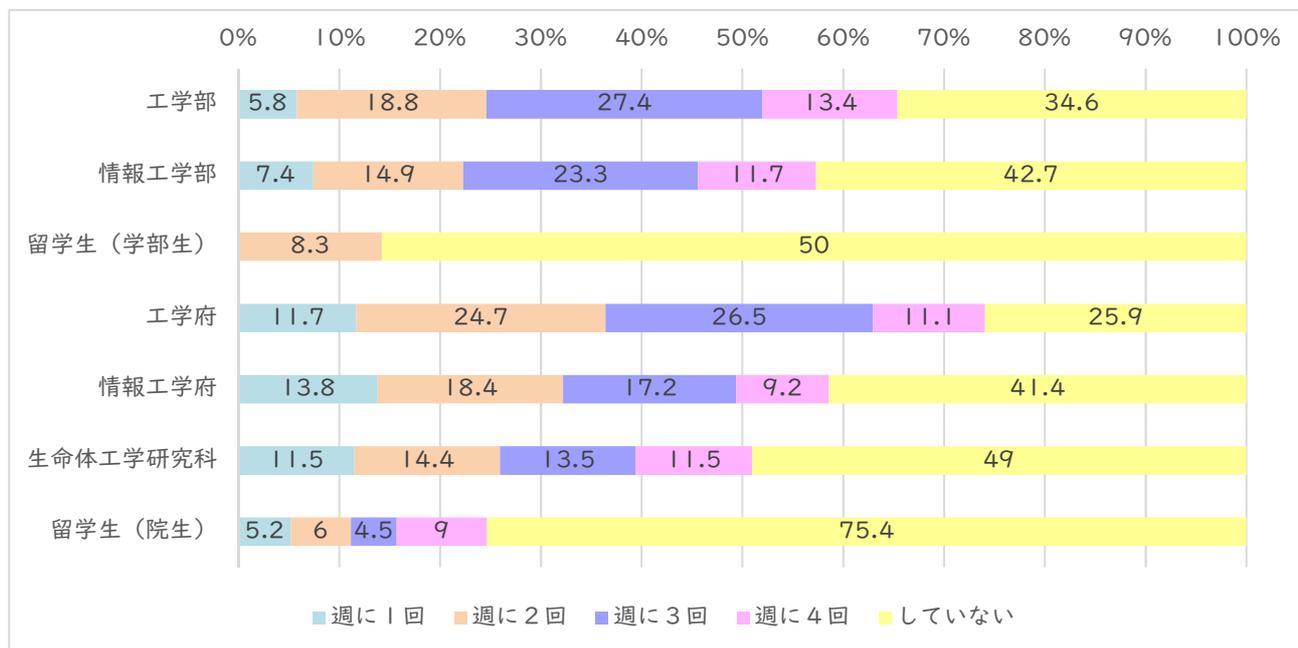
### 1. 家庭の年間収入額(税込)はおよそいくらですか

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。



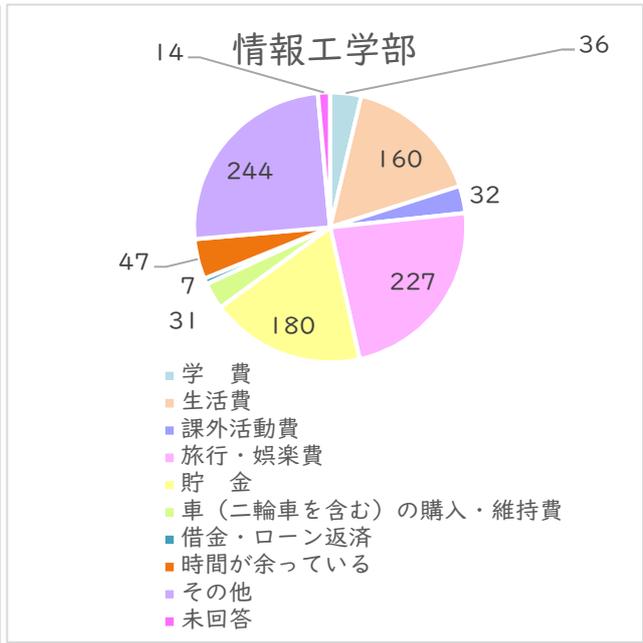
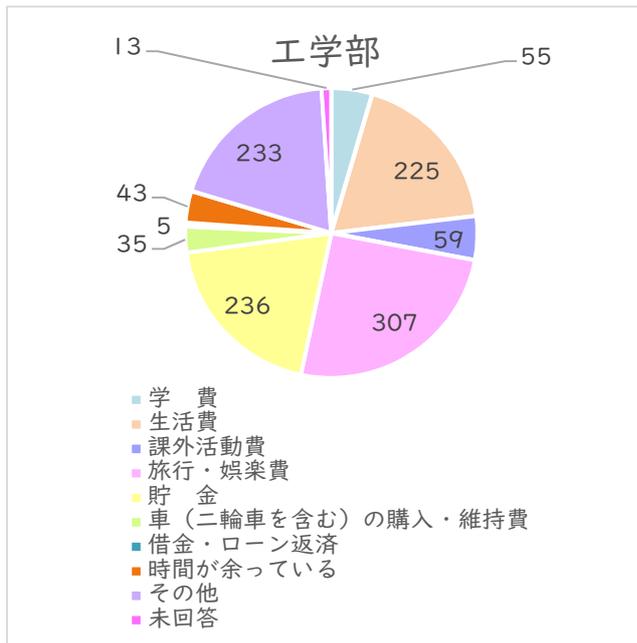
## 2. アルバイトをしていますか

学部生、大学院生ともに半数以上が何らかのアルバイトをしていることがわかる。



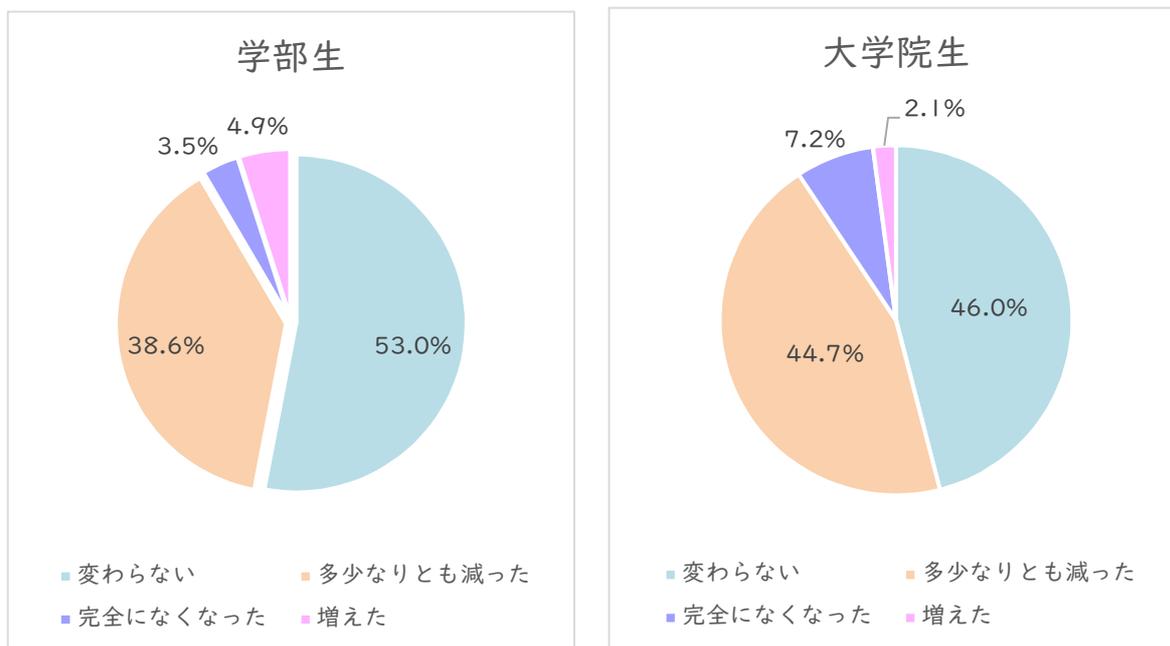
3. アルバイトをする理由は何ですか(アルバイトをしている方)(主なもの2つ)

学部生、大学院生ともに、「生活費」「娯楽費」を稼ぐことが主な理由となっており、前回調査時と同様の結果となっている。



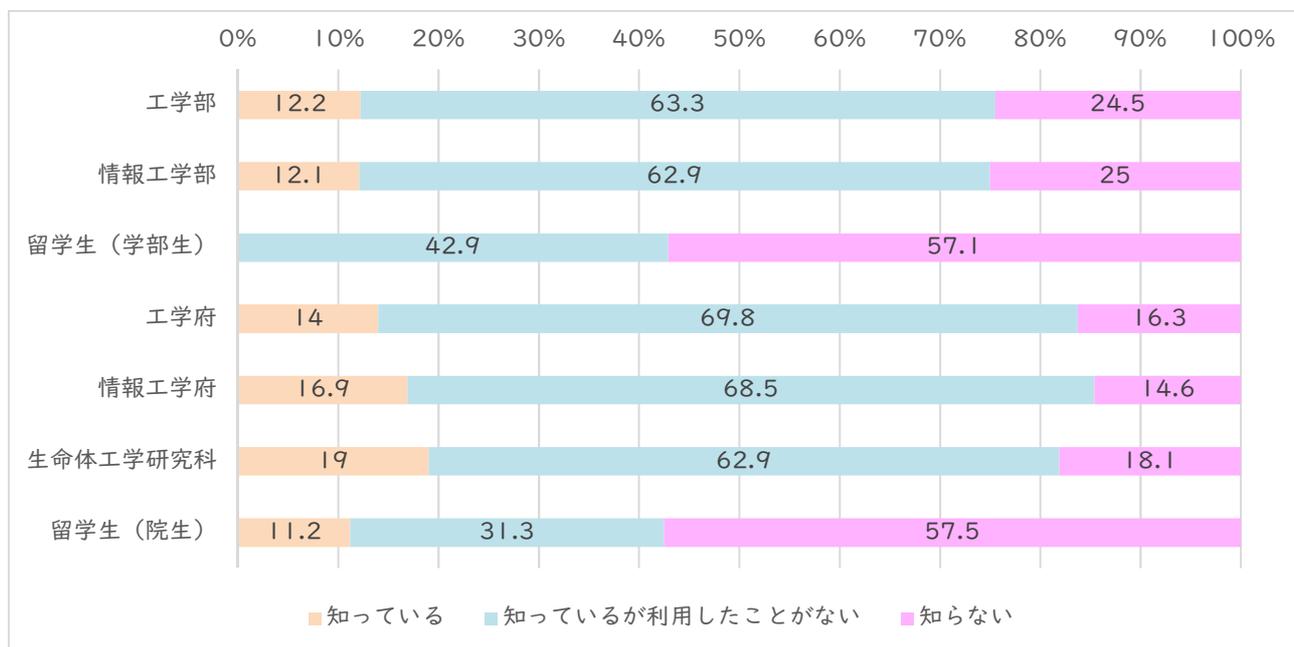
#### 4. コロナの影響によりアルバイト収入は減りましたか

今回初めて追加した設問事項であるが、学部生に比べ大学院生のほうがアルバイト収入が減少した学生の割合が多い。



#### 5. インターン型アルバイトを知っていますか

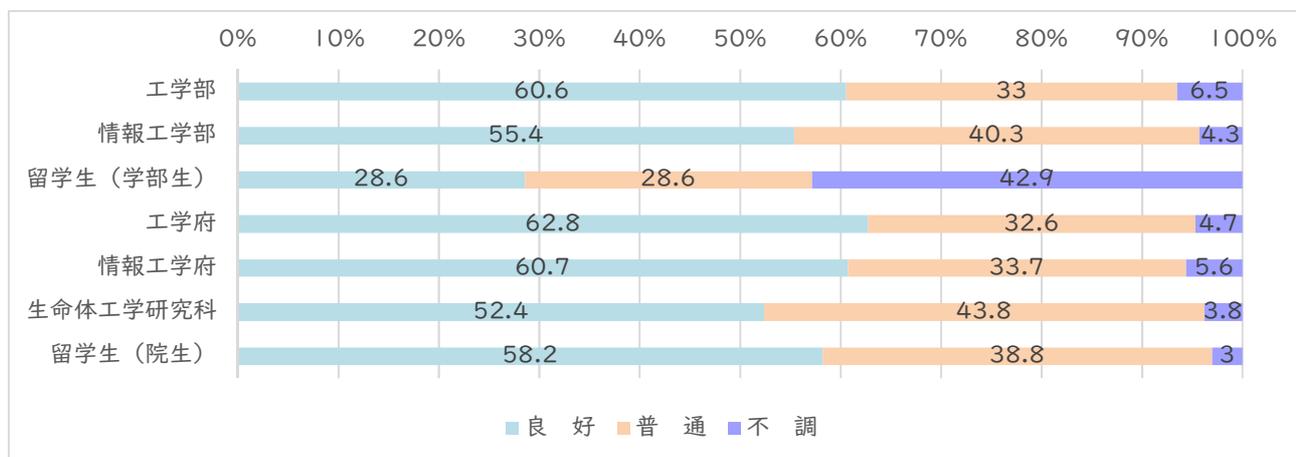
学部生、大学院生ともに6割程度の学生が「知っているが利用したことがない」と回答しており、認知度は高いが利用されていないことがうかがえる。



## V. 学生生活について

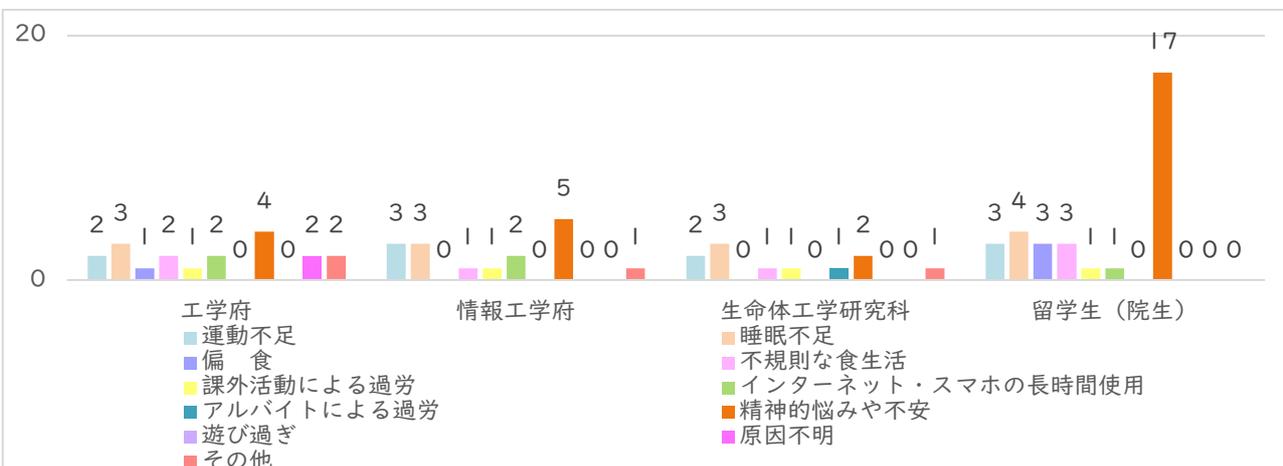
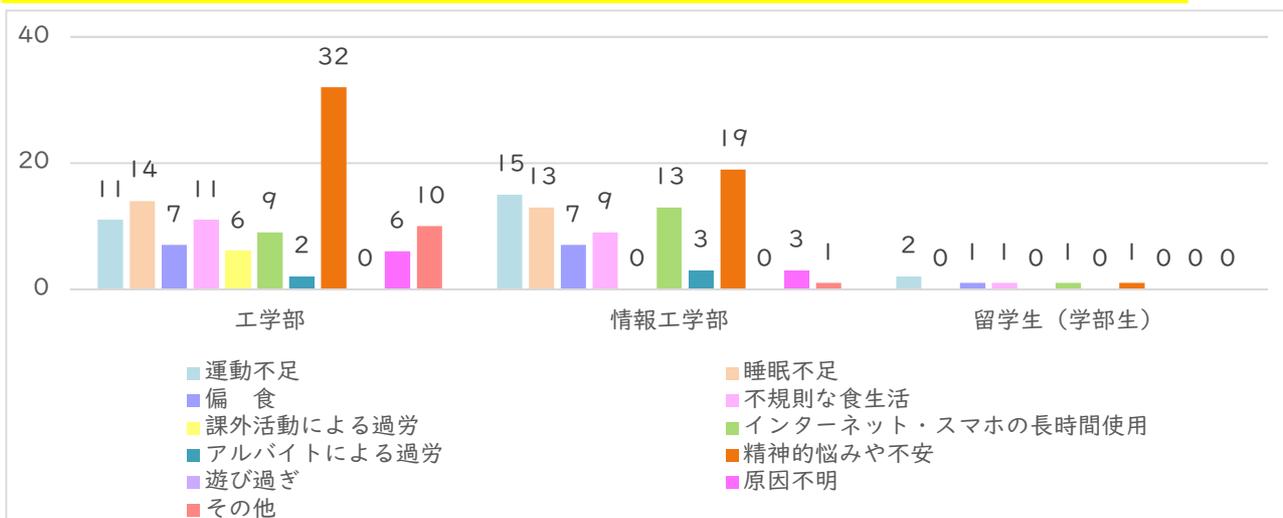
### 1. 現在の健康状態はどうか

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。



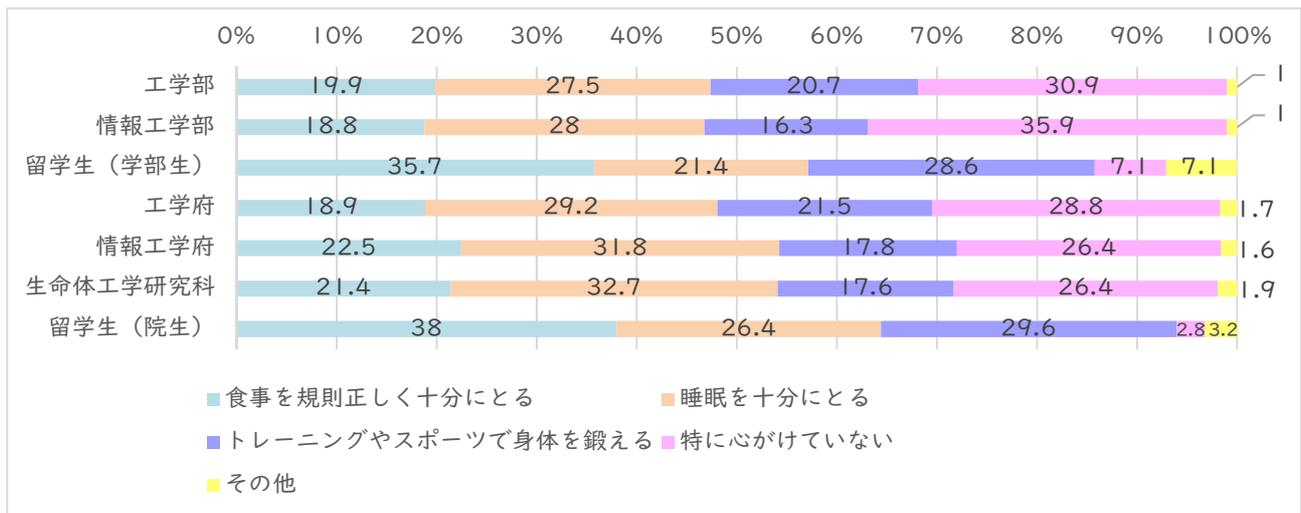
### 2. 不調の原因は何だと思いますか(健康状態が不調の方)(複数回答可)

前回実施時と比べ、「精神的悩みや不安」と回答している学生の割合が増加している。コロナ禍におけるオンライン授業の増加等により、学校に来ることができず不安を抱えている学生が多いことがうかがえる。



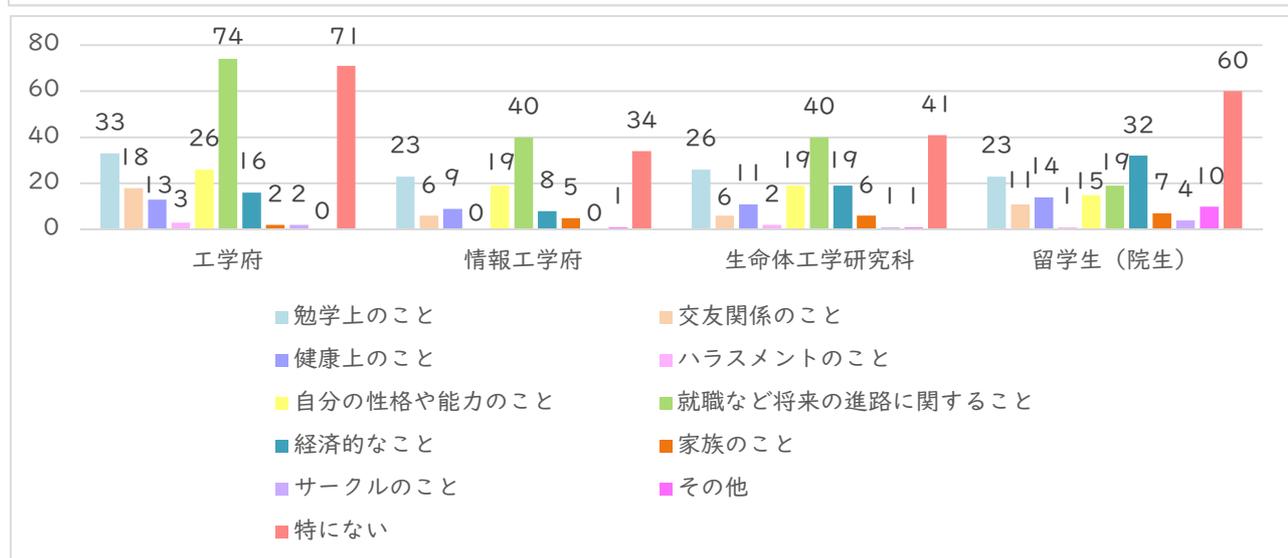
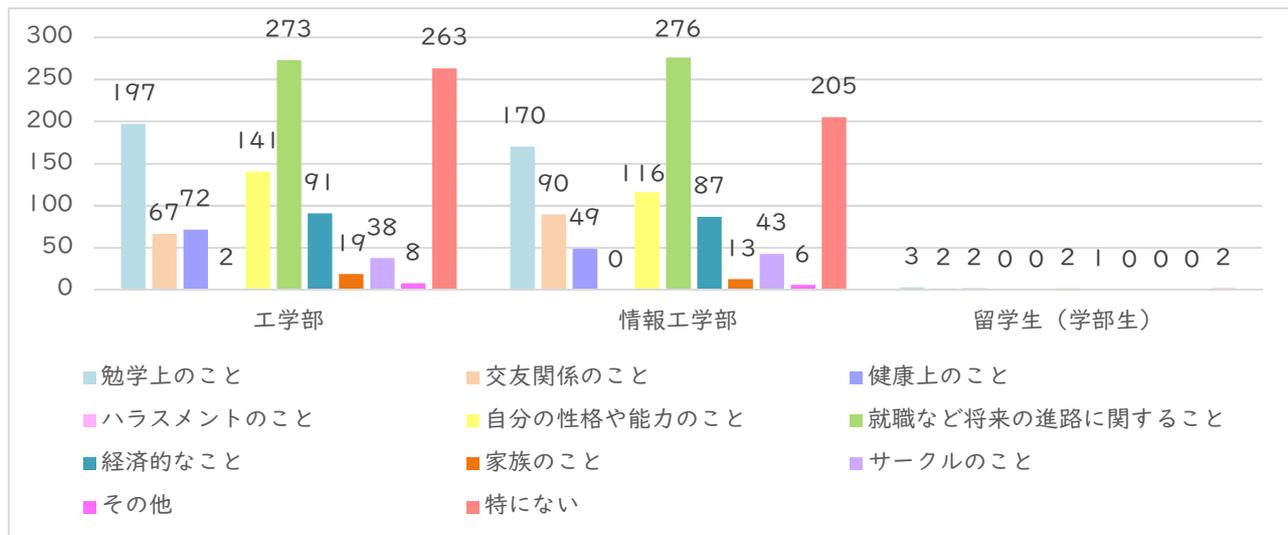
### 3. 自分の健康について何か実行していることがありますか

学部生、大学院生ともに「睡眠を十分にとる」の割合が増加し、「特に心がけていない」の割合が減少している。



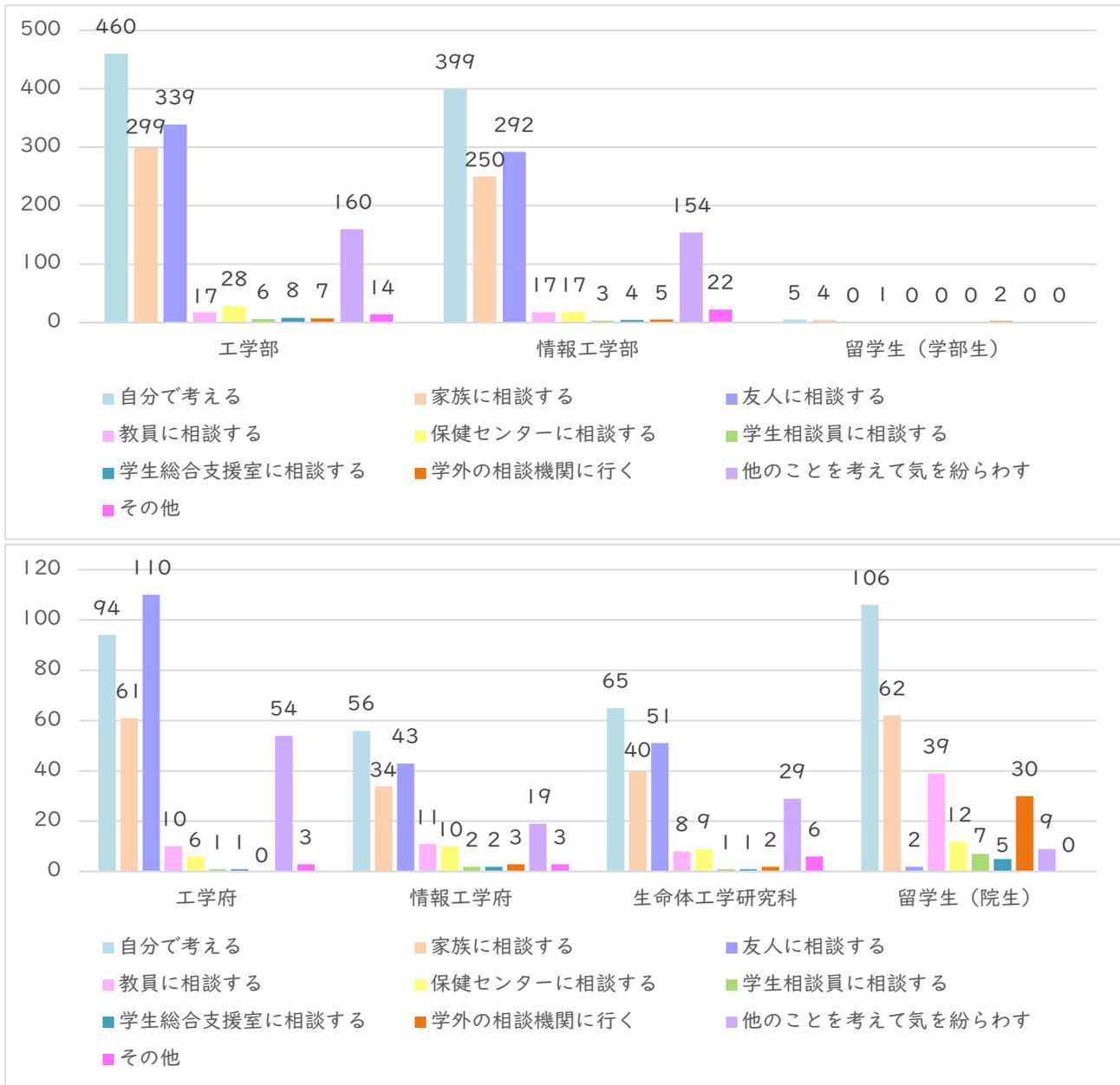
### 4. 今、何か悩みを抱えていますか（複数回答可）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。



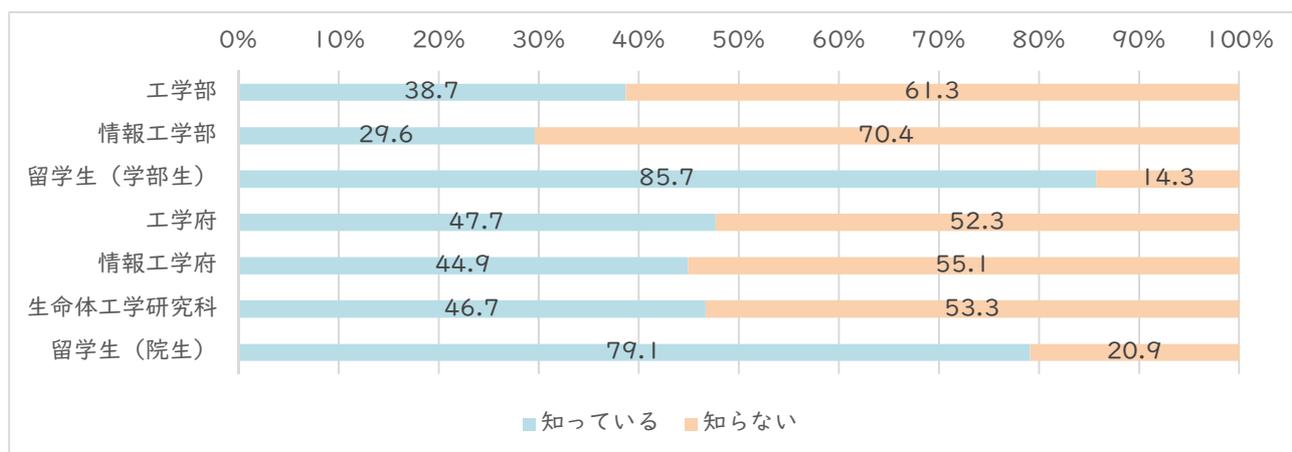
5. 身体面、心理面で何らかの悩みが生じたときどのように解消しますか(複数回答可)

学部生、大学院生ともに前回調査時と同程度の結果となっている。



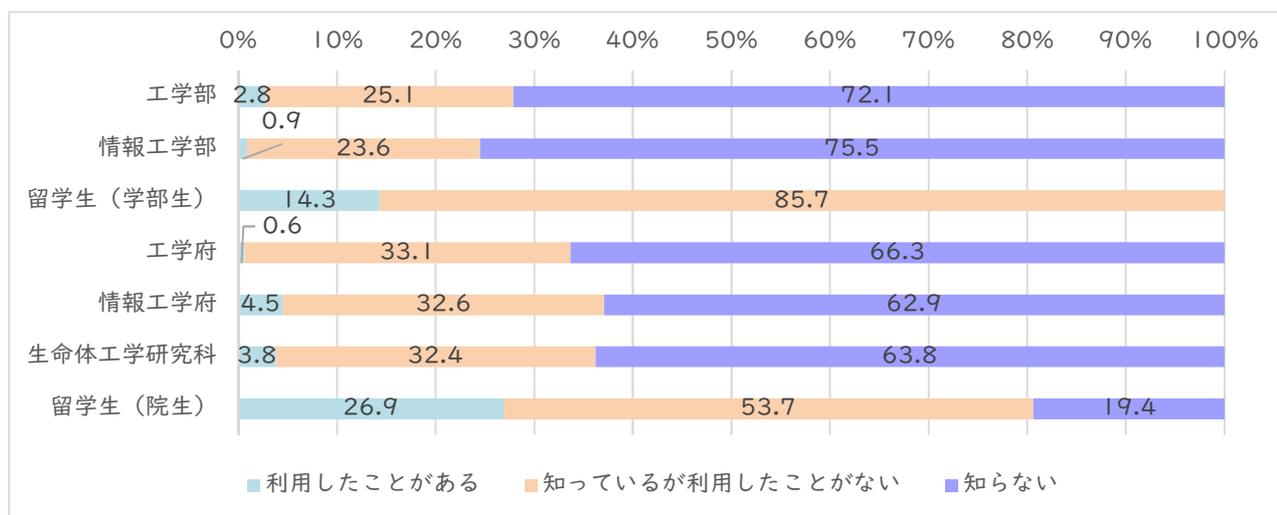
## 6. 学生支援室を知っていますか

学部生、大学院生ともに、半数以上の学生が学生総合支援室への認知度が低い。  
また、日本人学生に比べ留学生のほうが認知度は高くなっている。



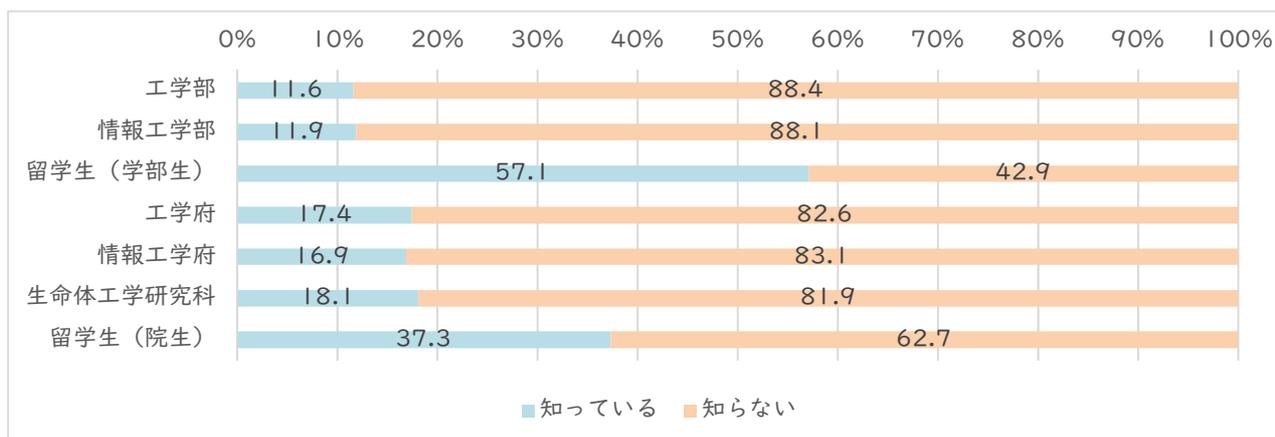
## 7. 学生総合支援室の「なんでも相談」を利用したことがありますか

学部生、大学院生ともに、全体的に学生総合支援室の「なんでも相談」に対する認知度が低下しており、学生総合支援室の周知に努める必要がある。



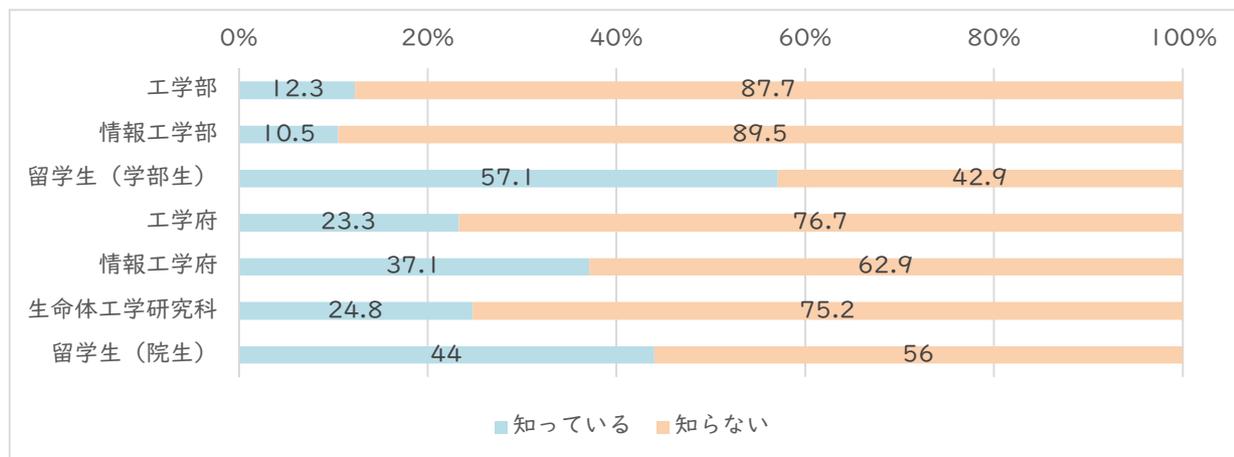
## 8. 学生総合支援室に障がい学生相談窓口があることを知っていますか

学部生、大学院生ともに、前回調査時と比べ、障がい学生相談窓口についての認知度は上昇しているが、2割に満たないため、周知に努める必要がある。



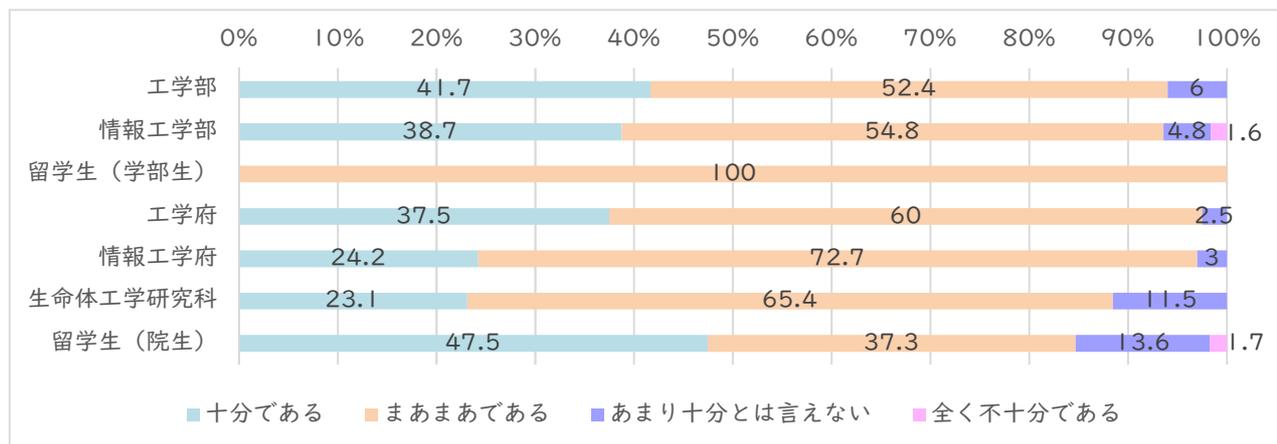
### 9. 学生相談員という制度を知っていますか

学部生、大学院生ともに、前回調査時と比べ大幅に認知度が低下しており、周知に努める必要がある。



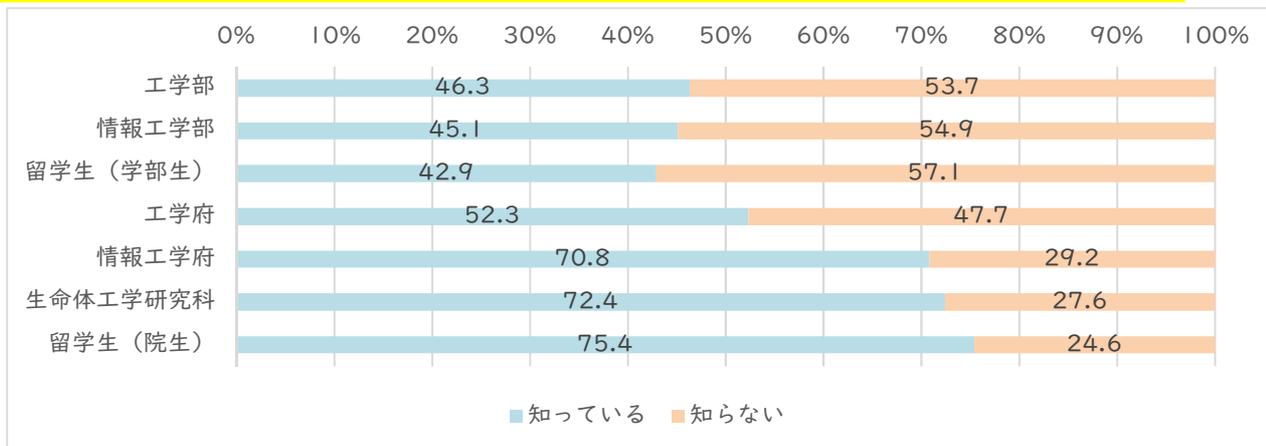
### 10. 学生相談員制度についての満足度・充実度

利用したことがある学生からの満足度は、学部生、大学院生ともに前回調査時より上昇している。



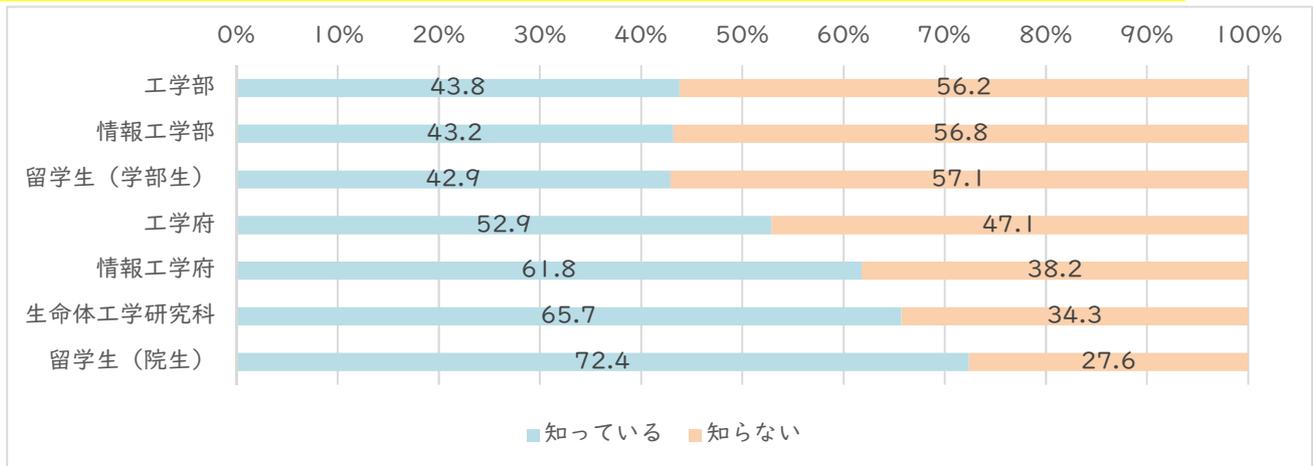
### 11. 専門の心理カウンセラーに相談ができることを知っていますか

学部生、大学院生ともに前回調査時と同程度の結果となっており、引き続き周知に努める必要がある。



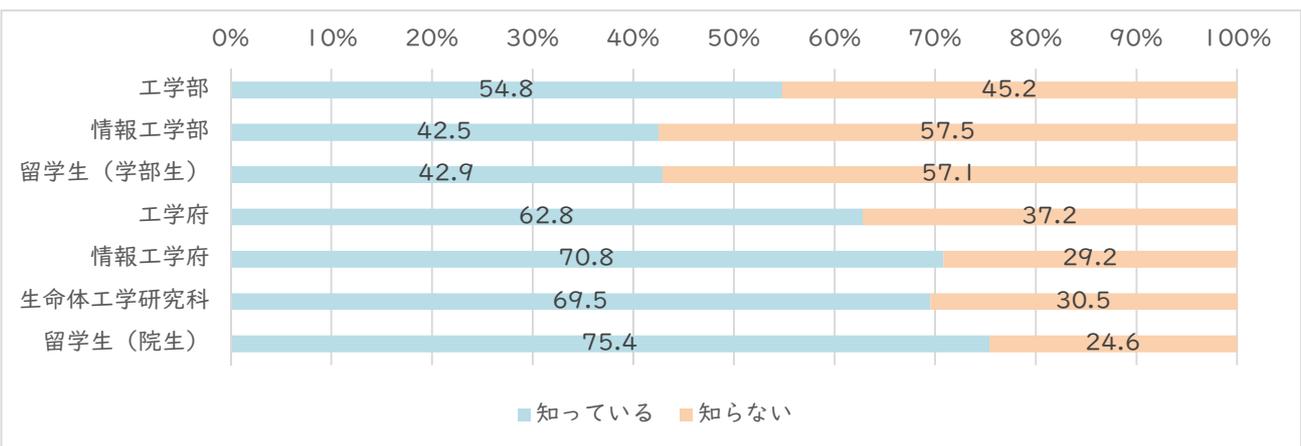
12. 学校医によるメンタルヘルスの相談ができることを知っていますか

学部生、大学院生ともに前回調査時と同程度の結果となっており、引き続き周知に努める必要がある。



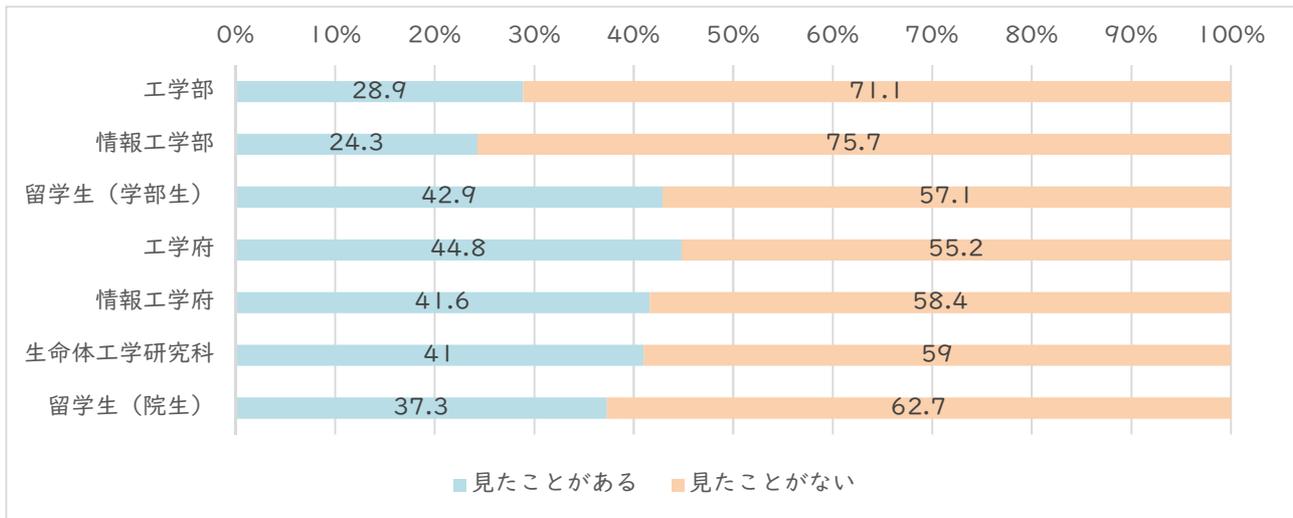
13. 医師や保健師による健康相談ができることを知っていますか

学部生においては前回調査時よりも認知度が低下している一方で、大学院生の認知度は上昇している。



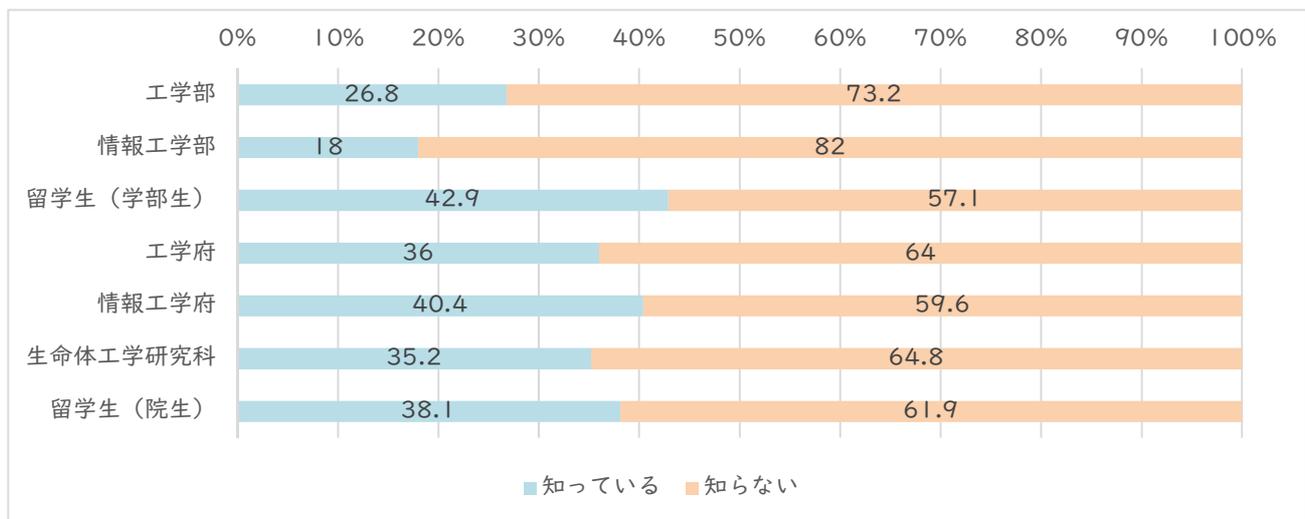
14. 保健センターのホームページを見たことがありますか

学部生、大学院生ともに前回調査時より約10%ほどの割合で保健センターのHPをみたことがある学生が増加している。



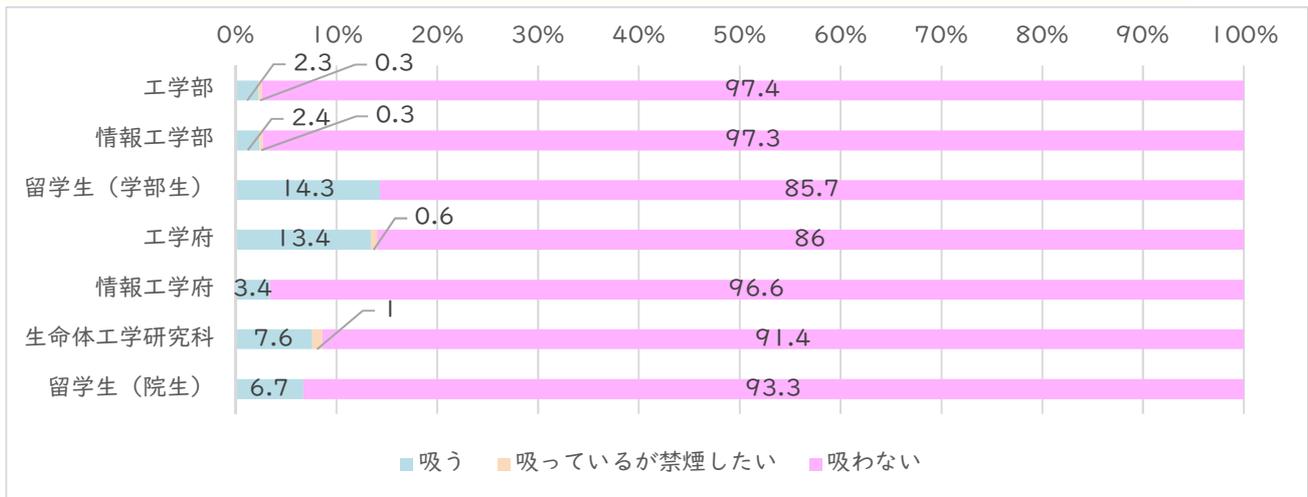
15. 保健センターのホームページからカウンセリングの予約ができることを知っていますか

情報工学部を除き、前回調査時と比べ認知度が上昇していることがわかる。引き続き保健センターのHPとあわせて周知を進めていくことが有効である。



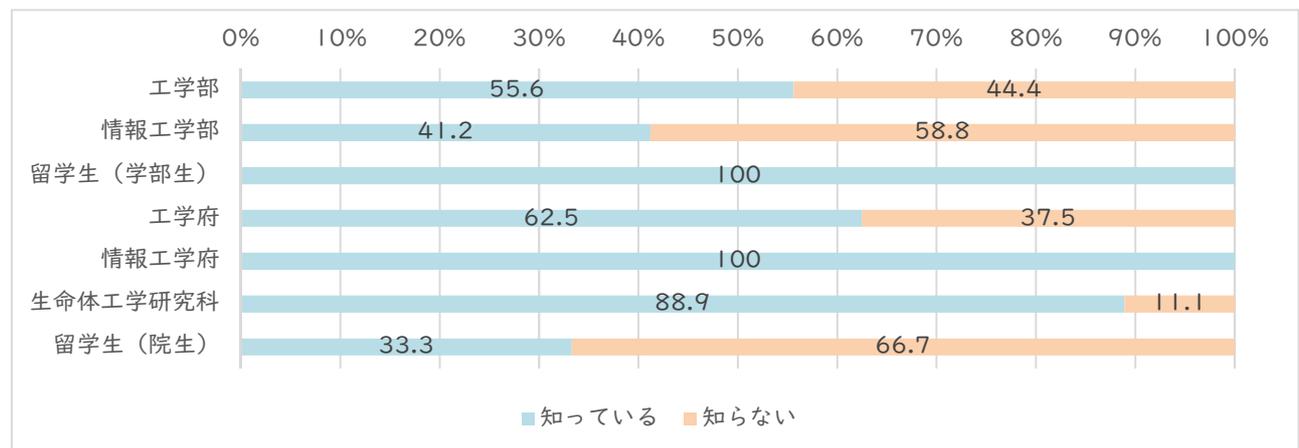
### 16. タバコを吸いますか

学部生、大学院生ともに前回調査時と比べ喫煙している学生の割合が若干ではあるが減少している。



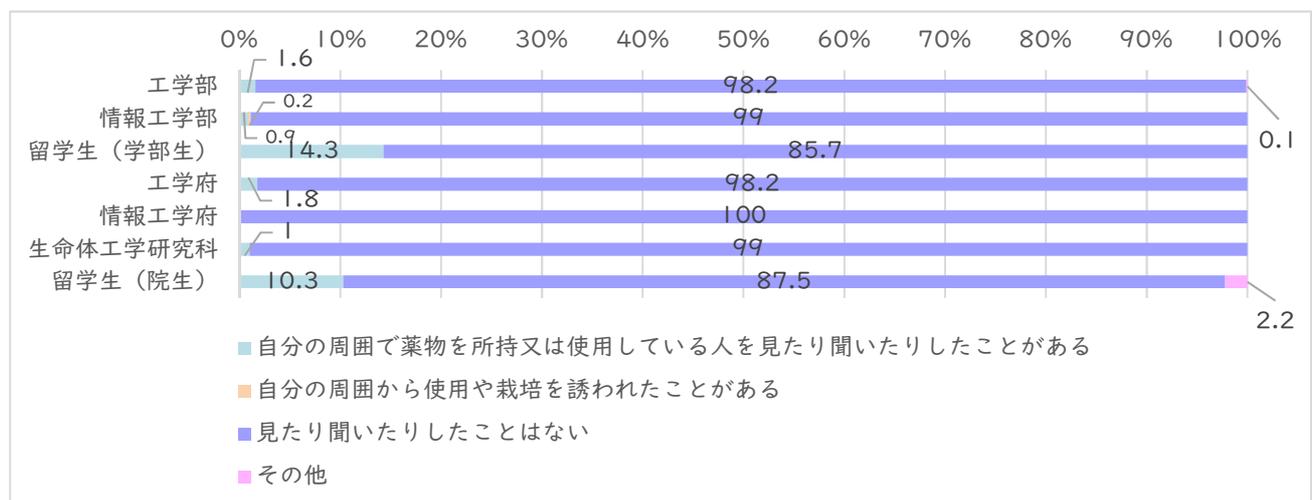
### 17. (喫煙している方) 保健センターで禁煙プログラムを実施していることを知っていますか

禁煙プログラムについての認知度は、大学院生のほうが高くなっており、さらに周知を進めていく必要がある。



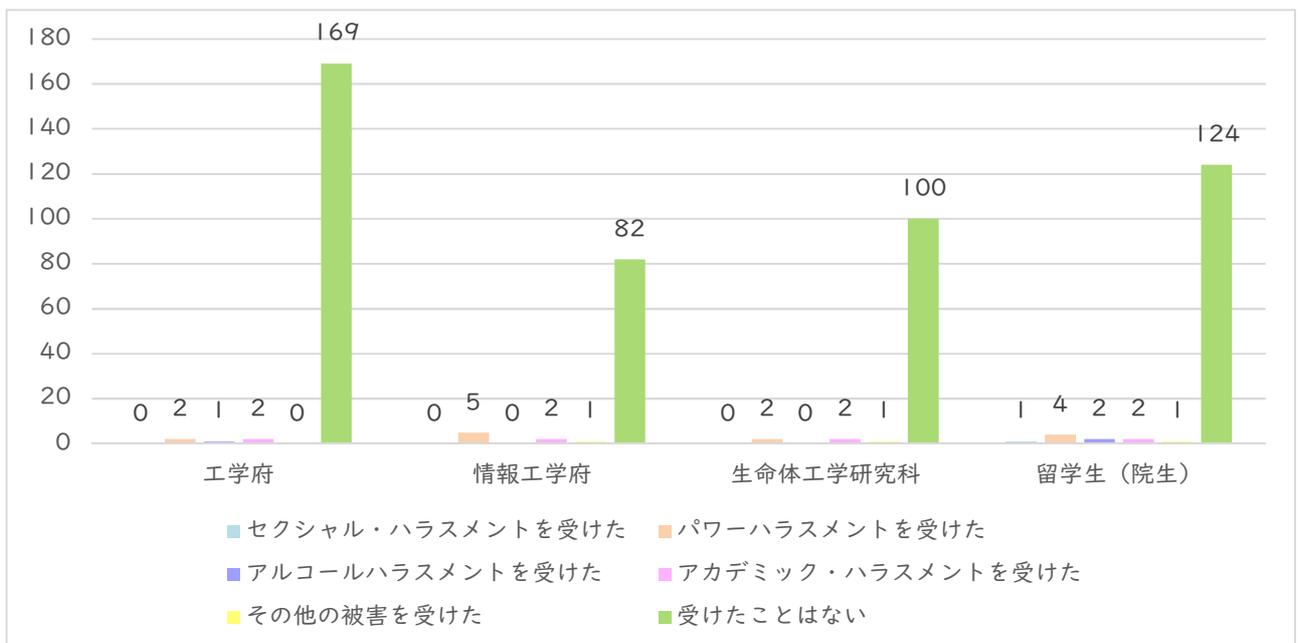
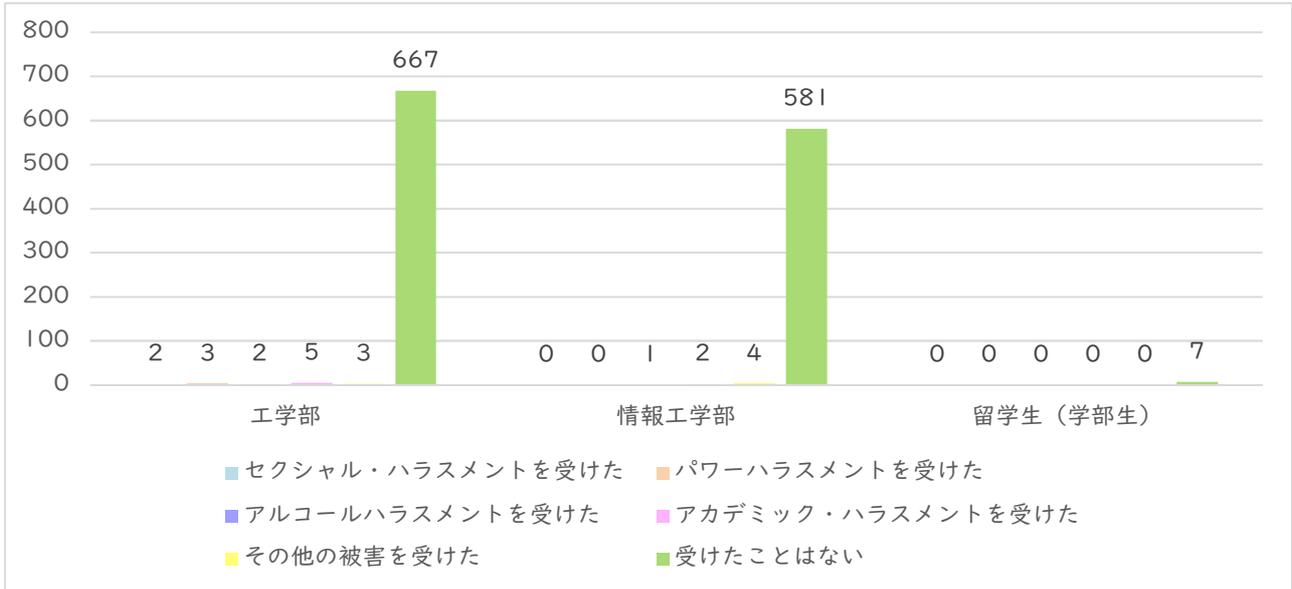
### 18. 薬物 (大麻・覚せい剤・危険ドラッグ等) について該当するものを選択してください。

少数ではあるが、薬物について危険な場面に遭遇したことのある学生もおり、引き続き注意喚起に努める必要がある。



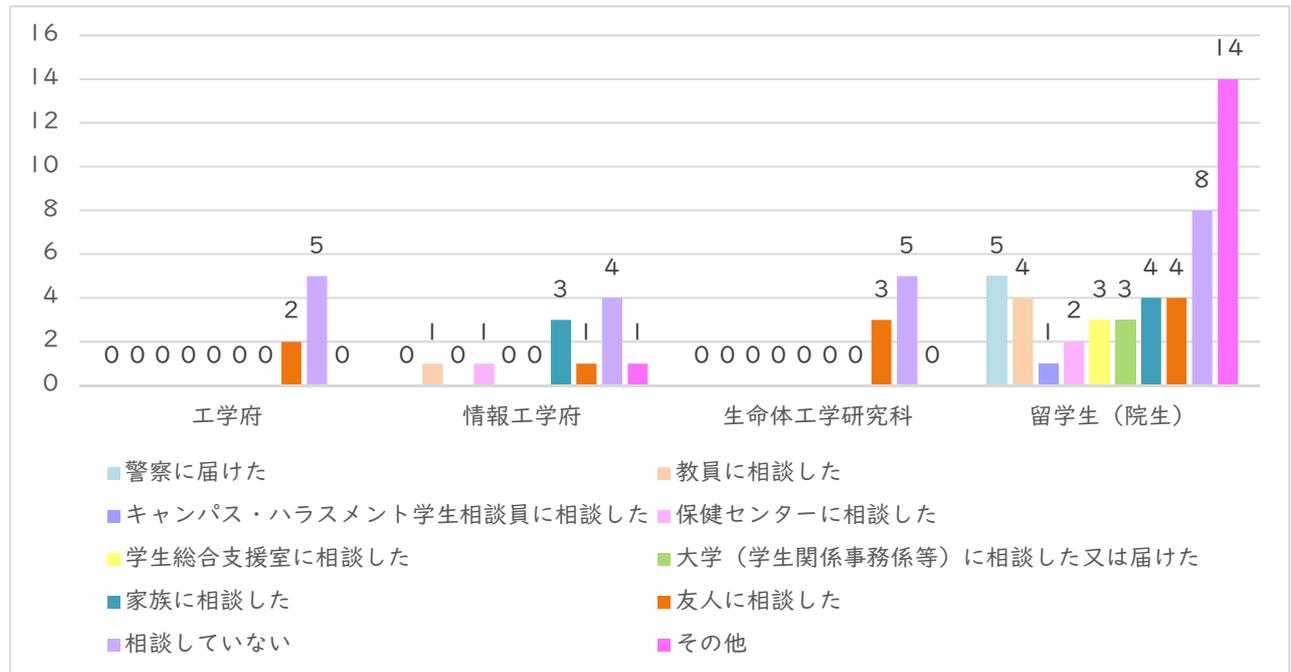
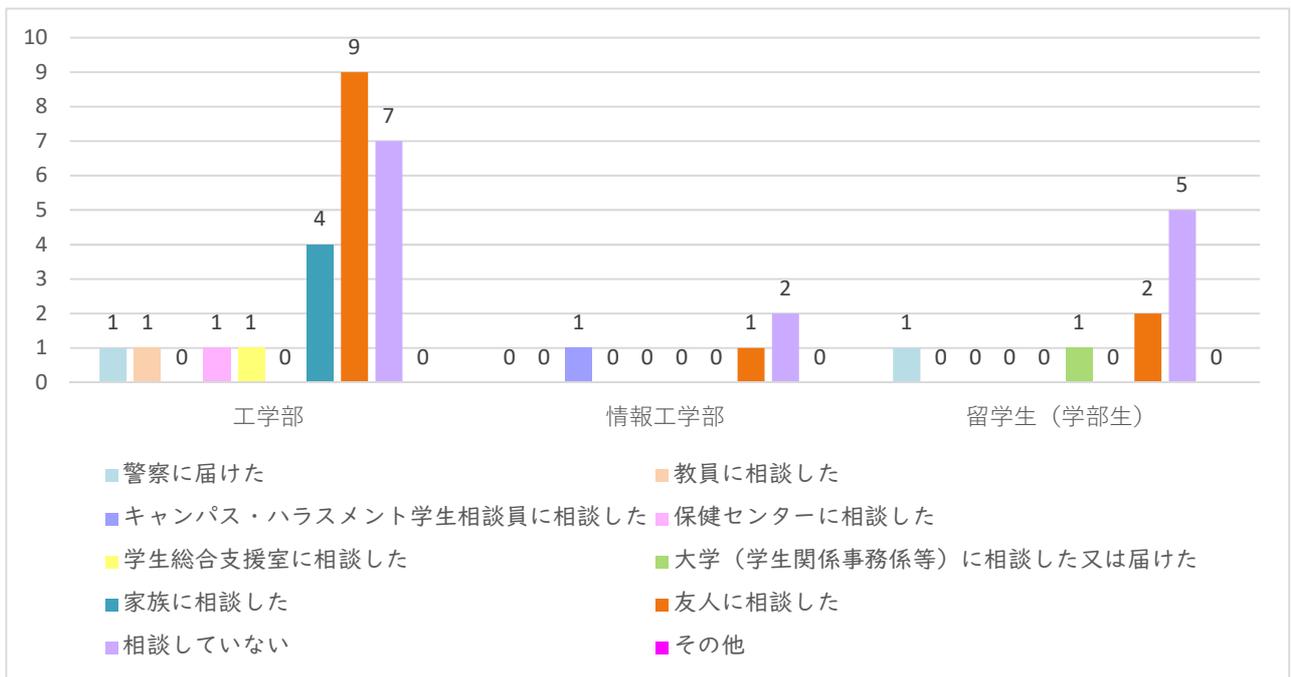
19. 学生生活において、犯罪被害や迷惑行為を受けたことがありますか（複数回答可）

ハラスメントを受けたことがある学生もおり、ハラスメントの相談窓口の案内はもちろん心のケア等にも努めていく必要がある。



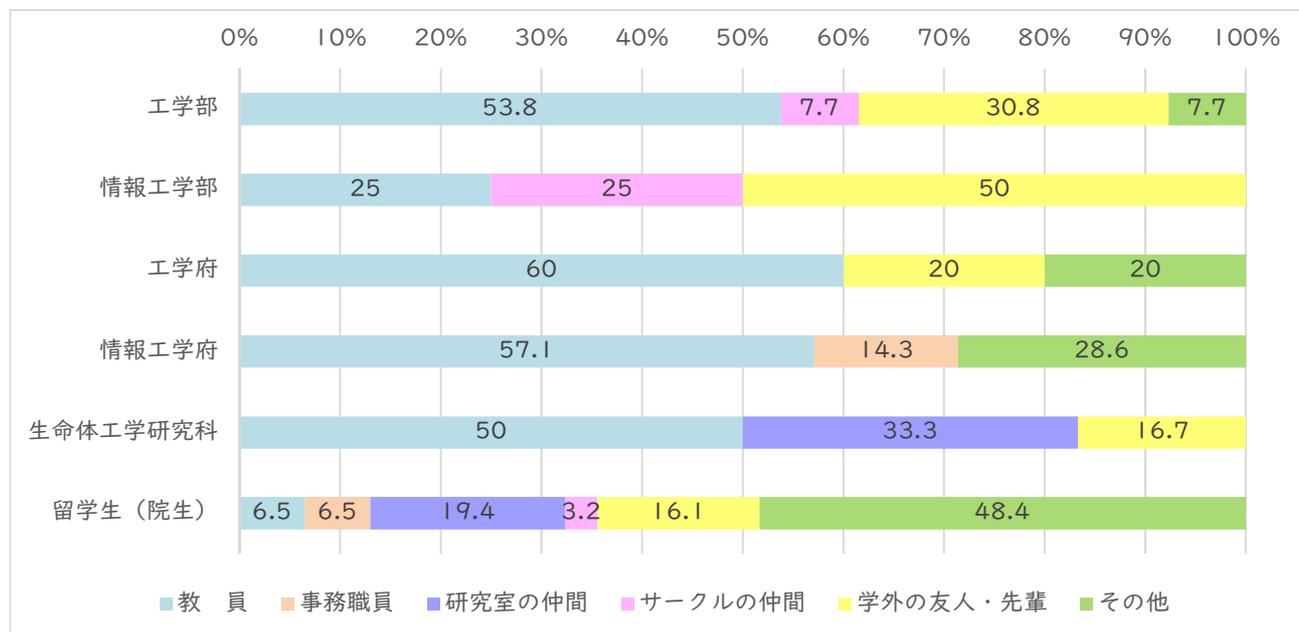
20. 上記被害を受けたとき、どのように対処しましたか(複数回答可)

「相談していない」と答えた学生も多く、ハラスメント相談窓口の周知に努める必要がある。



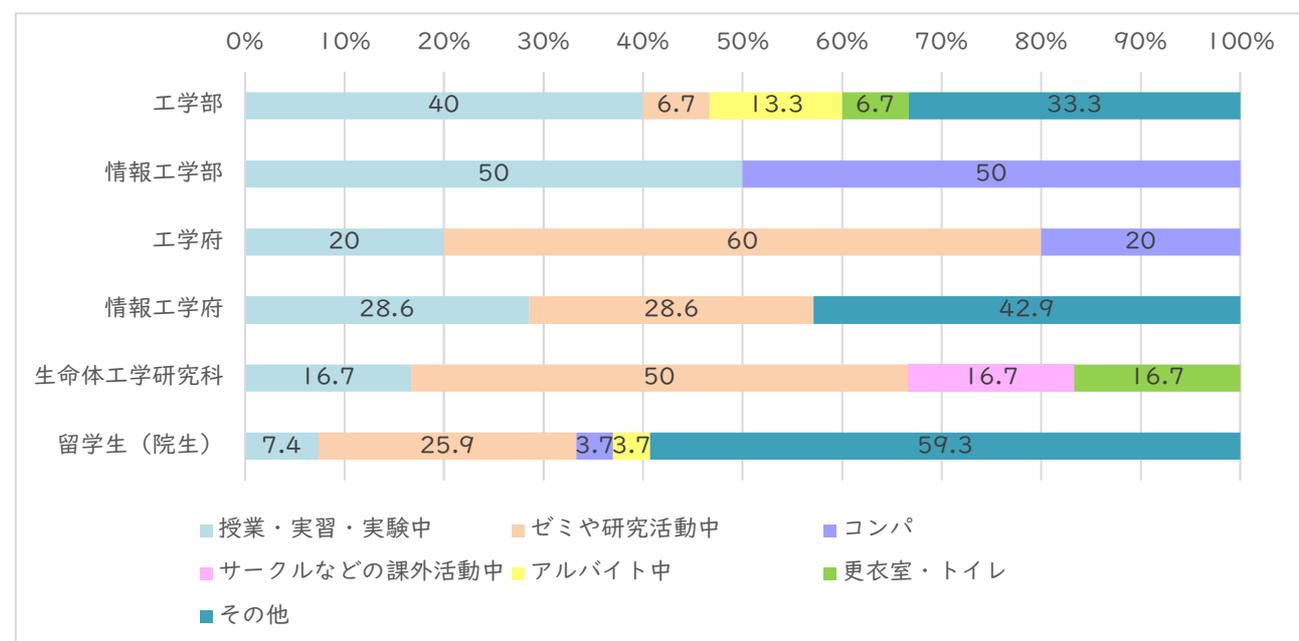
## 21. 行為者は誰ですか（「19」でハラスメントを受けたと答えた方）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、教員の割合が多いため、引き続きハラスメント予防に努めていく必要がある。



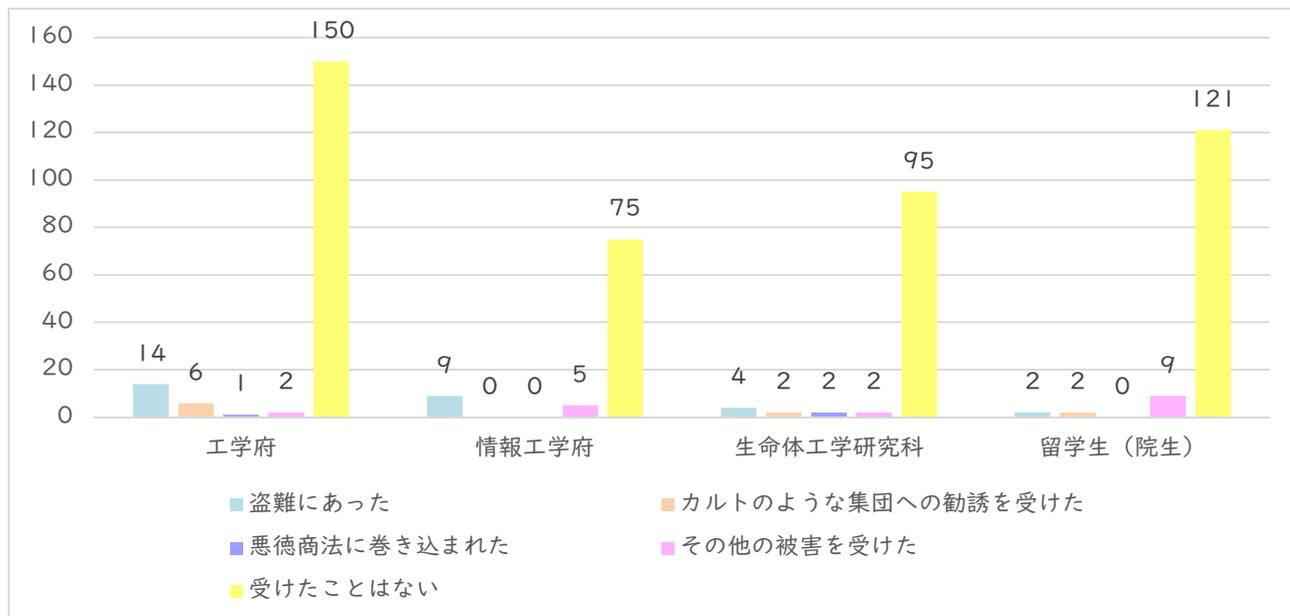
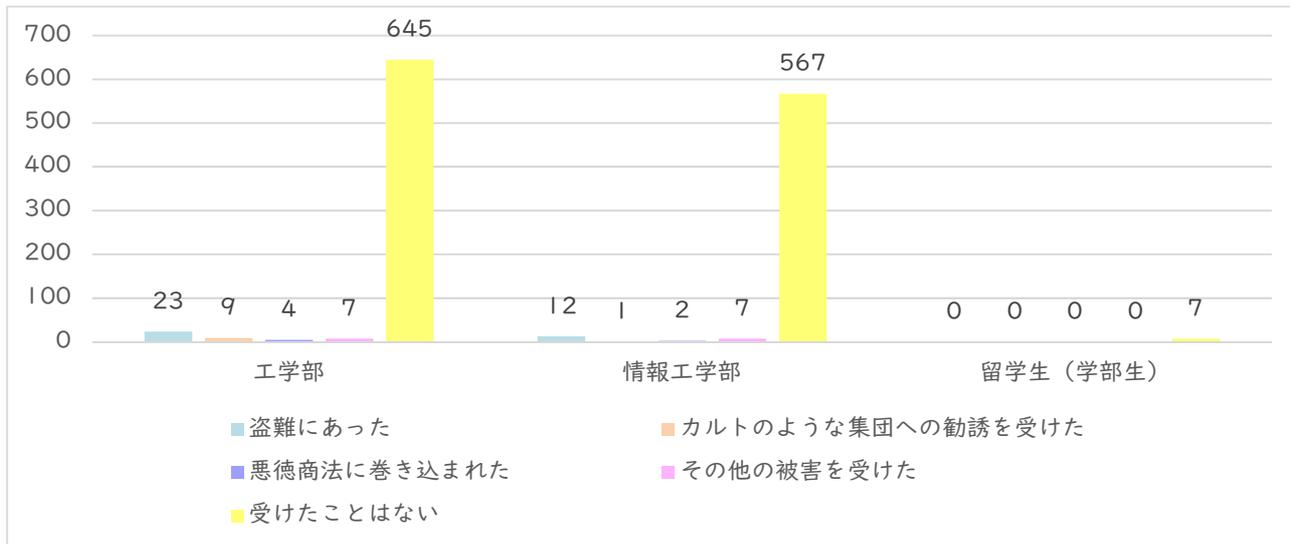
## 22. 場所はどこですか（「19」でハラスメントを受けたと答えた方）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様、正課活動中にハラスメントを受けている例が多いことがうかがえる。



23. その他学生生活において犯罪被害を受けたことはありますか(複数回答可)

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、学生生活における犯罪被害について注意喚起に努める必要がある。

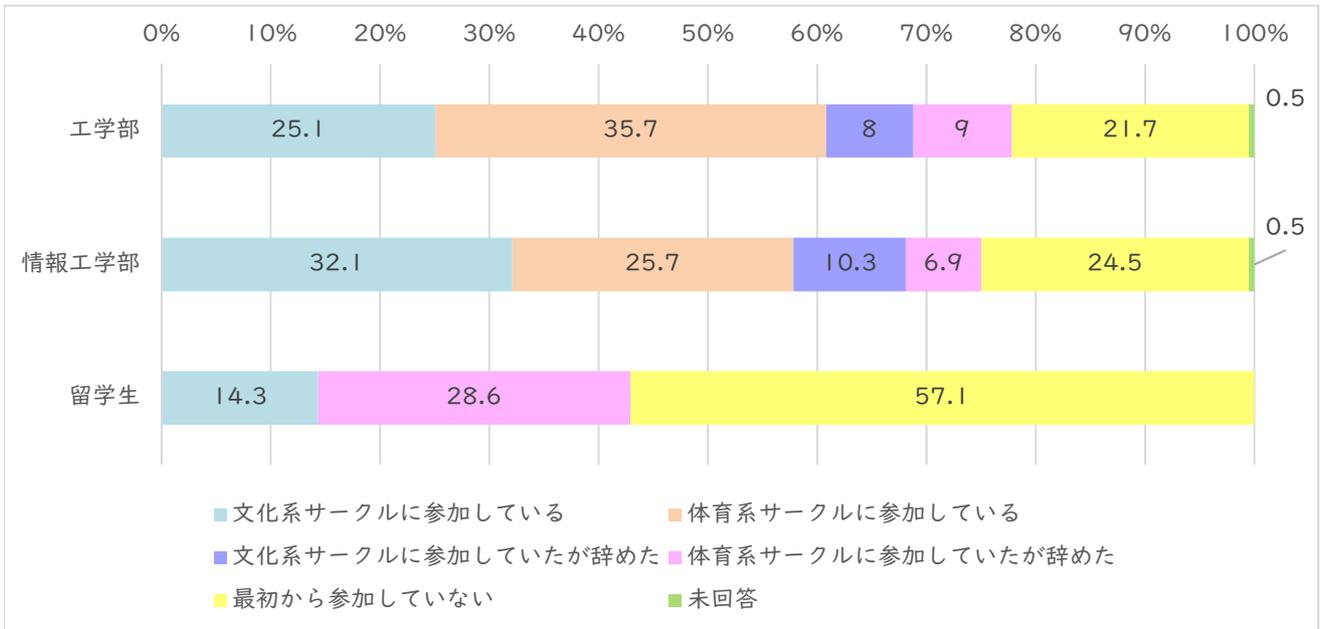


## VI. 課外活動について

### I. サークル活動について(学部生のみ回答)

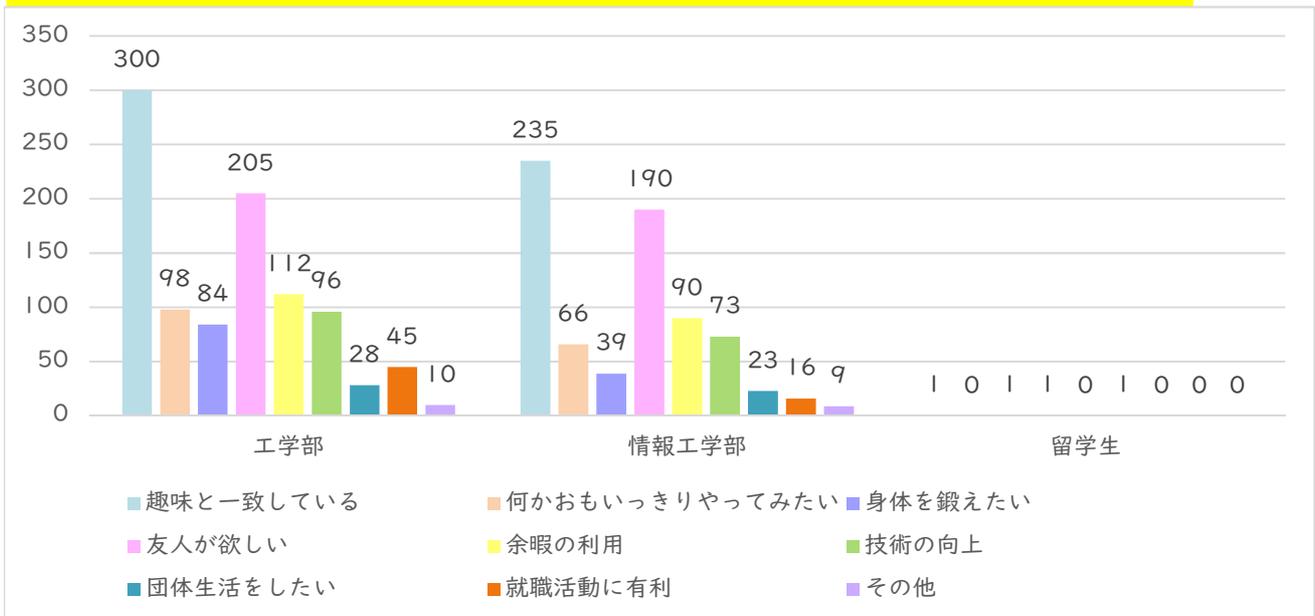
#### 1. サークルに参加していますか

「最初から参加していない」と回答した学生の割合が、前回調査時(工学部:18.5%、情報工学部:16.2%)に比べ、増加している。コロナ禍において、対面での部活動勧誘が難しい状況が影響しているとうかがえる。



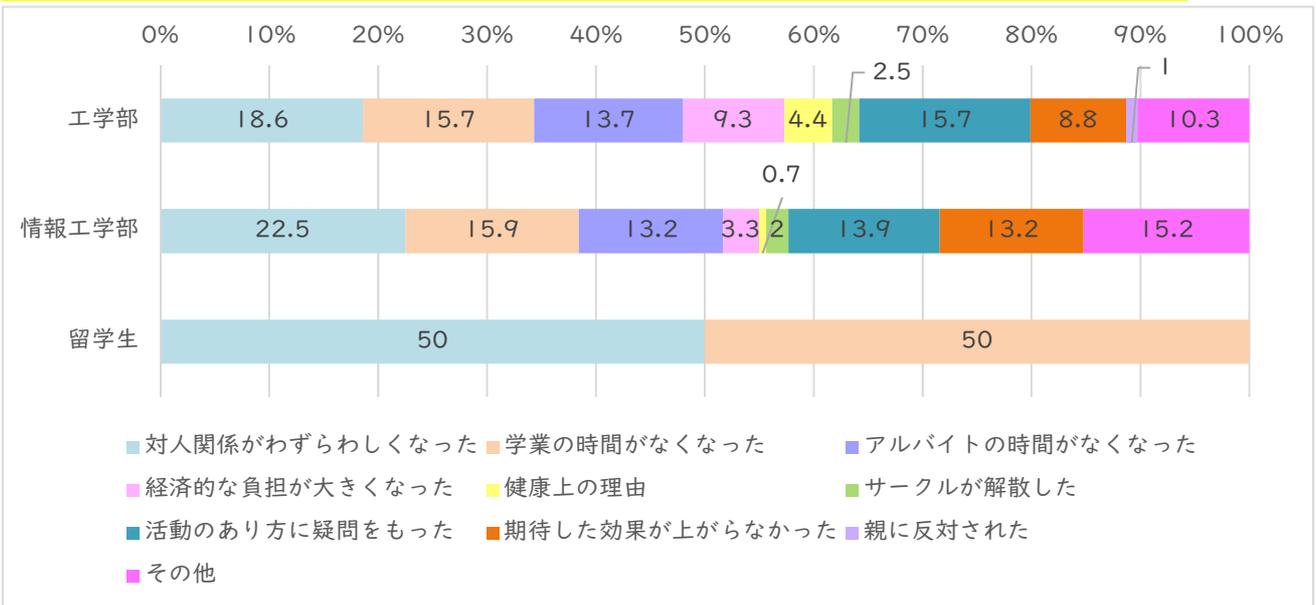
#### 2. サークルに加入した動機は何ですか(サークル活動に参加している方)(複数回答可)

「趣味と一致している」と回答した学生が最も多く、学業の息抜きになっているとうかがえる。次いで「友人が欲しい」という回答が多いが、コロナ禍で友人を作る場が減っている中、サークル活動が重要な友人づくりの場となっているとうかがえる。



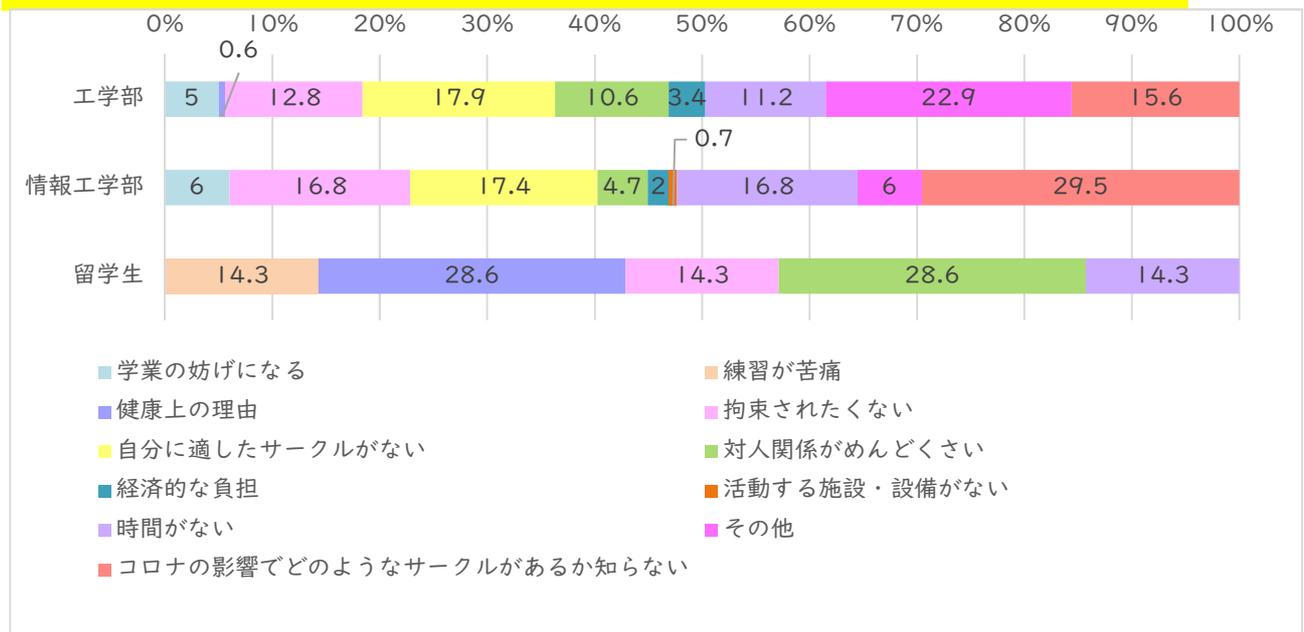
### 3. 辞めた主な理由は何ですか（サークル活動を辞めた方）

前回調査時と同様の結果となっている。



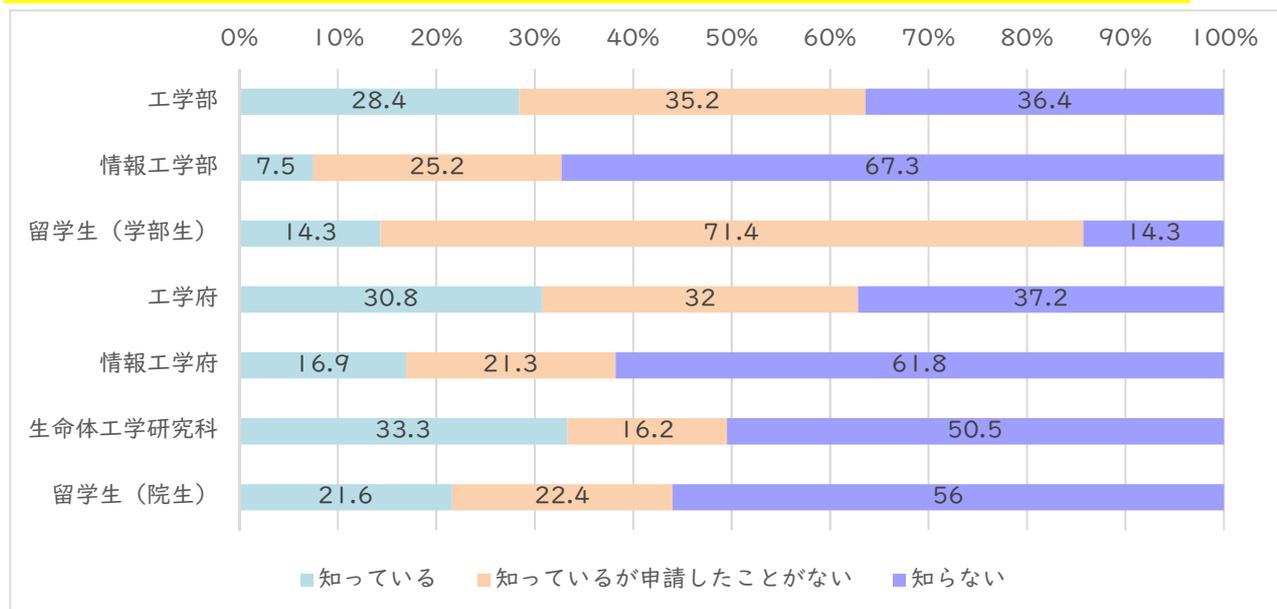
### 4. 加入しなかった主な理由は何ですか（サークルに加入しなかった方）

前回調査時と同様の結果となっている。



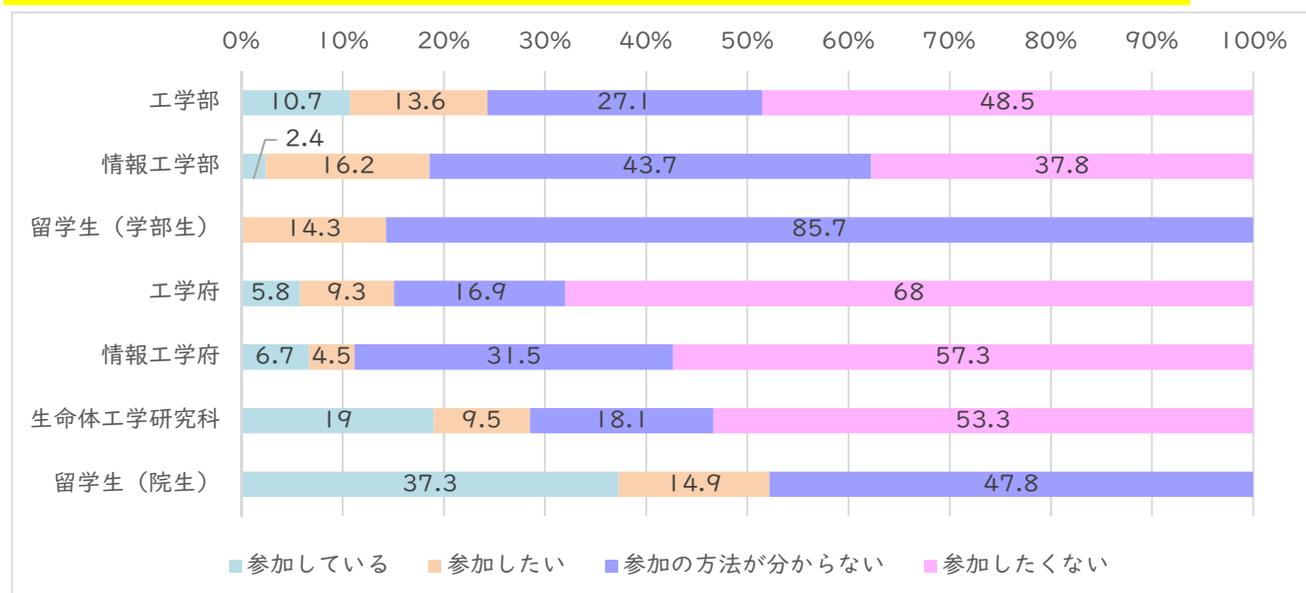
### 5. 学生プロジェクトを知っていますか

戸畑、若松キャンパスにおいて、前回調査時より認知度が上昇している。  
飯塚キャンパスに関しては前回調査時と同様の結果となっている。



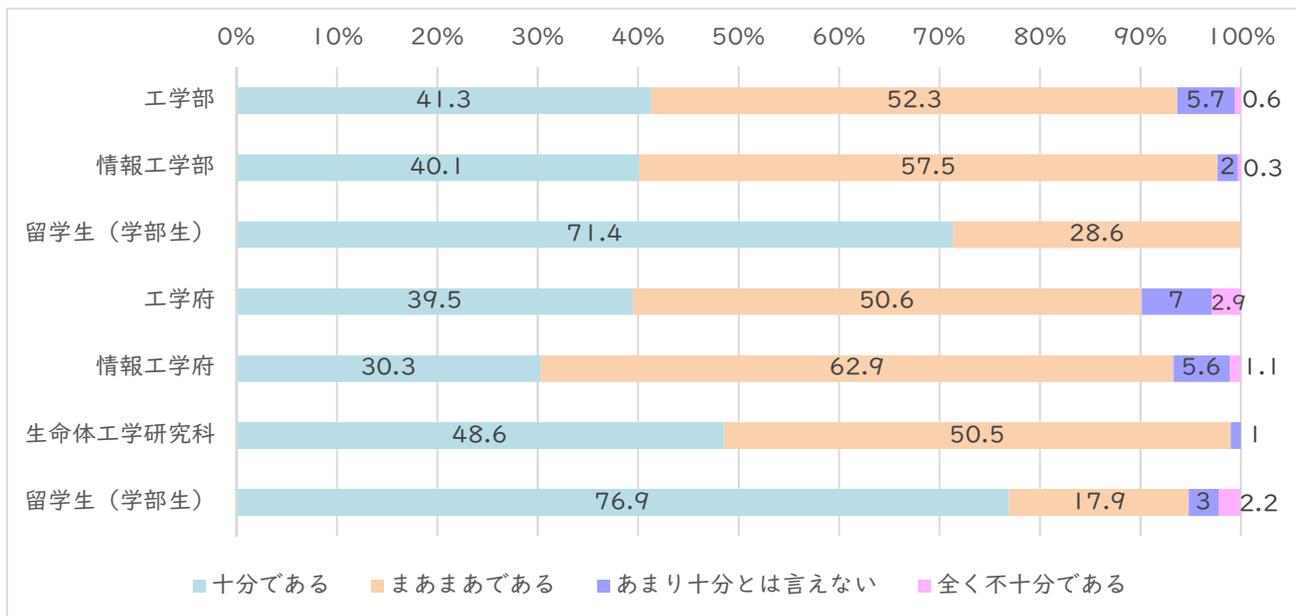
### 6. 参加したいですか

飯塚キャンパスにおいて、「参加したいが参加の方法がわからない」と答えている学生の割合が増加しており、特に周知に努める必要がある。



7. キャンパス内での安全対策（警備員の配置、外灯の増設、女子トイレの非常ベルの設置など）について  
 前回調査時と同様の結果となっており、おおむね安心して学生生活を送れているように見受けられる。

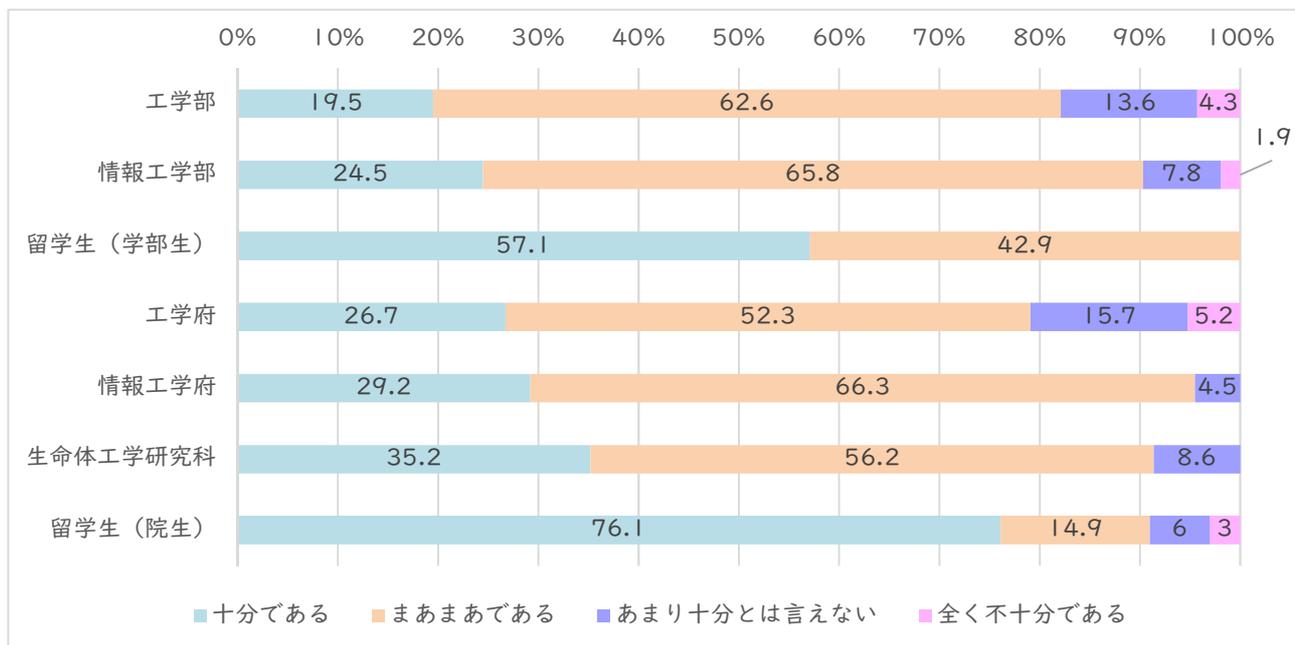
(1) 満足度・充実度



8. 消火訓練、避難訓練などの防災訓練の実施について

前回調査時と同程度の結果となっているが、「全く不十分である」と回答した学生からは、消火訓練、避難訓練が実施されていることを知らないという意見も挙がっていた。

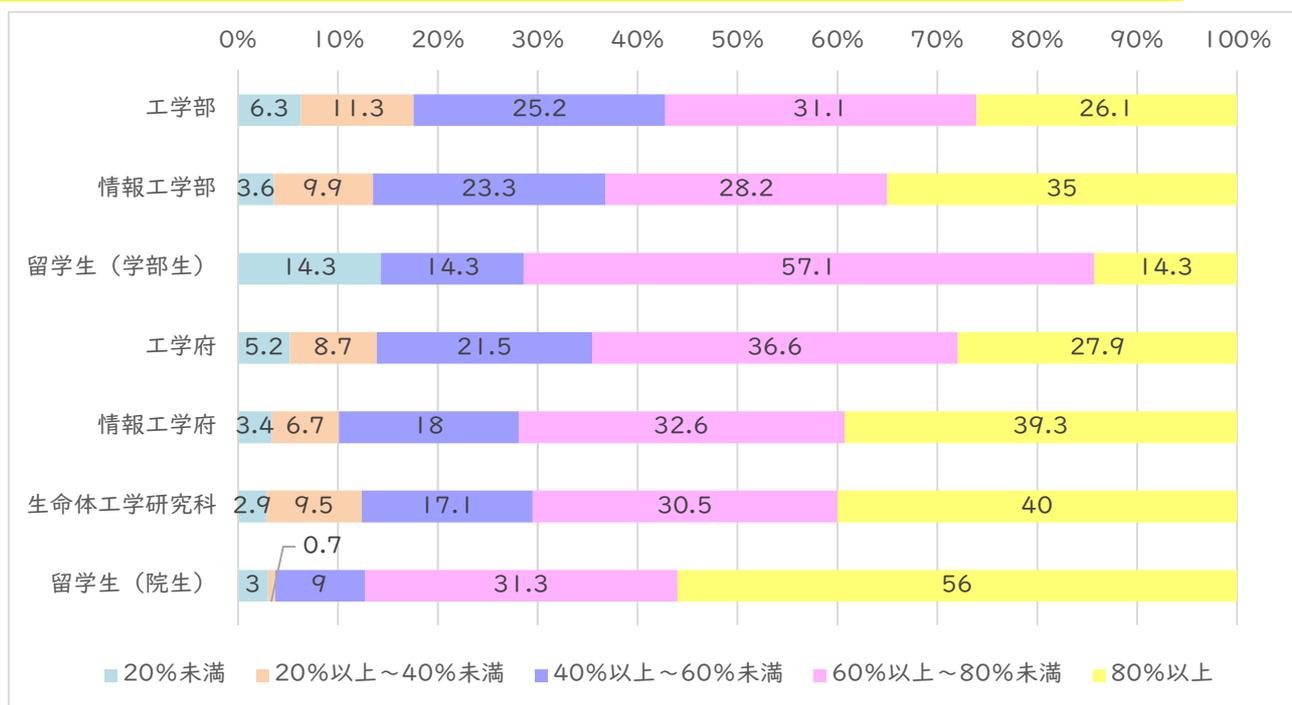
(1) 満足度・充実度



## VII. 学習状況・学習支援について

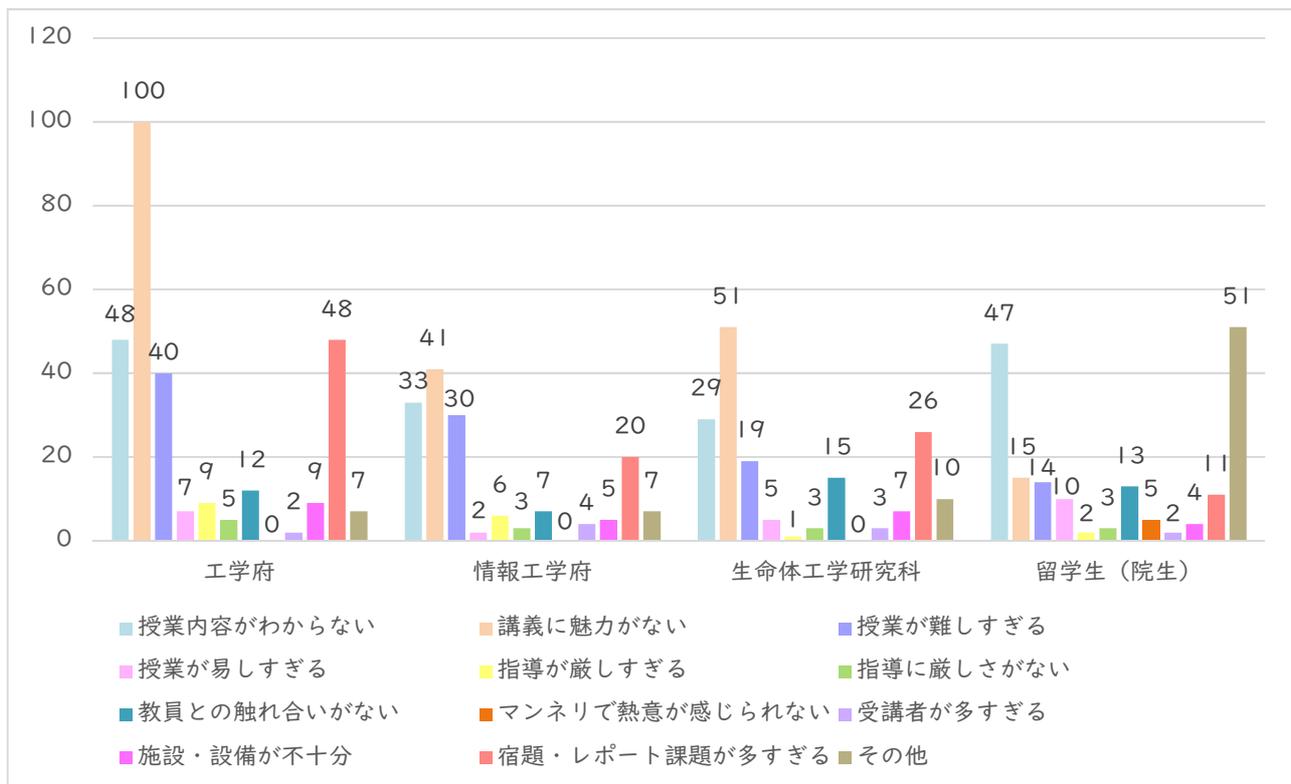
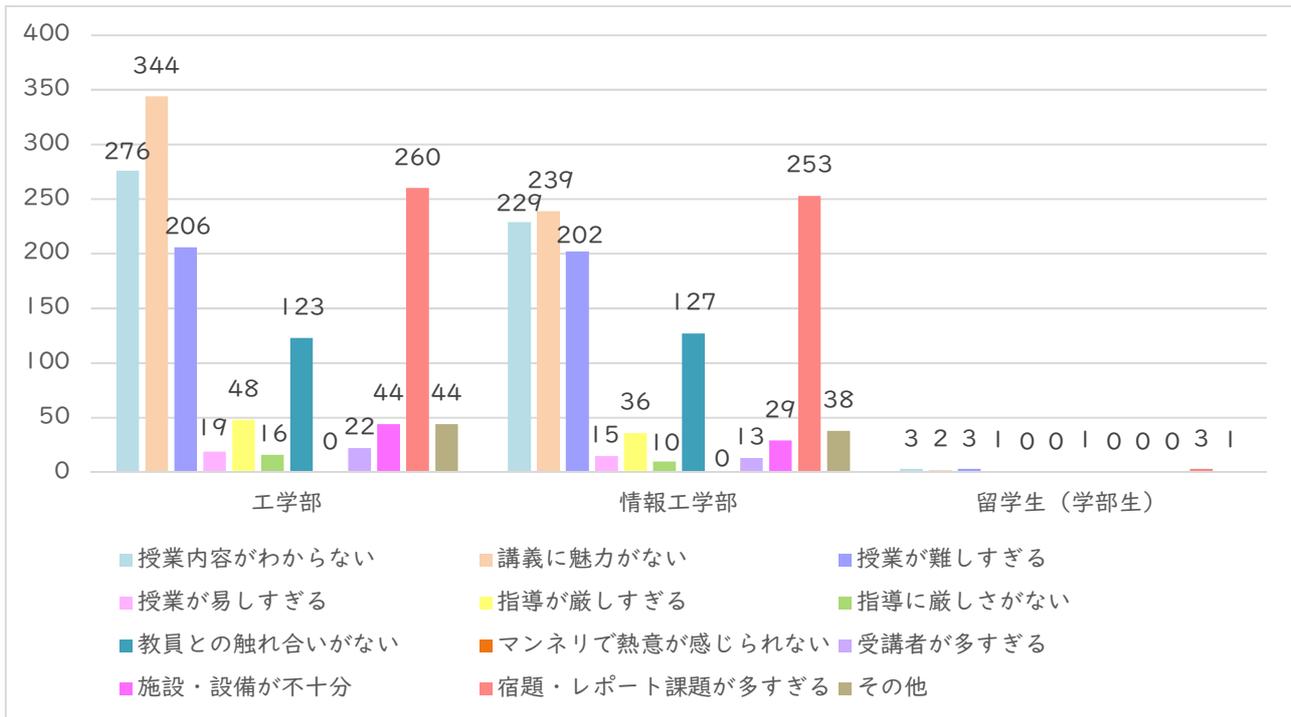
### 1. 満足できる授業は全体のどのくらいですか

学部生、大学院生ともに前回調査時と比べて、「40%未満」と回答している学生の割合が低下しており、講義に対する満足度が上昇していることがうかがえる。



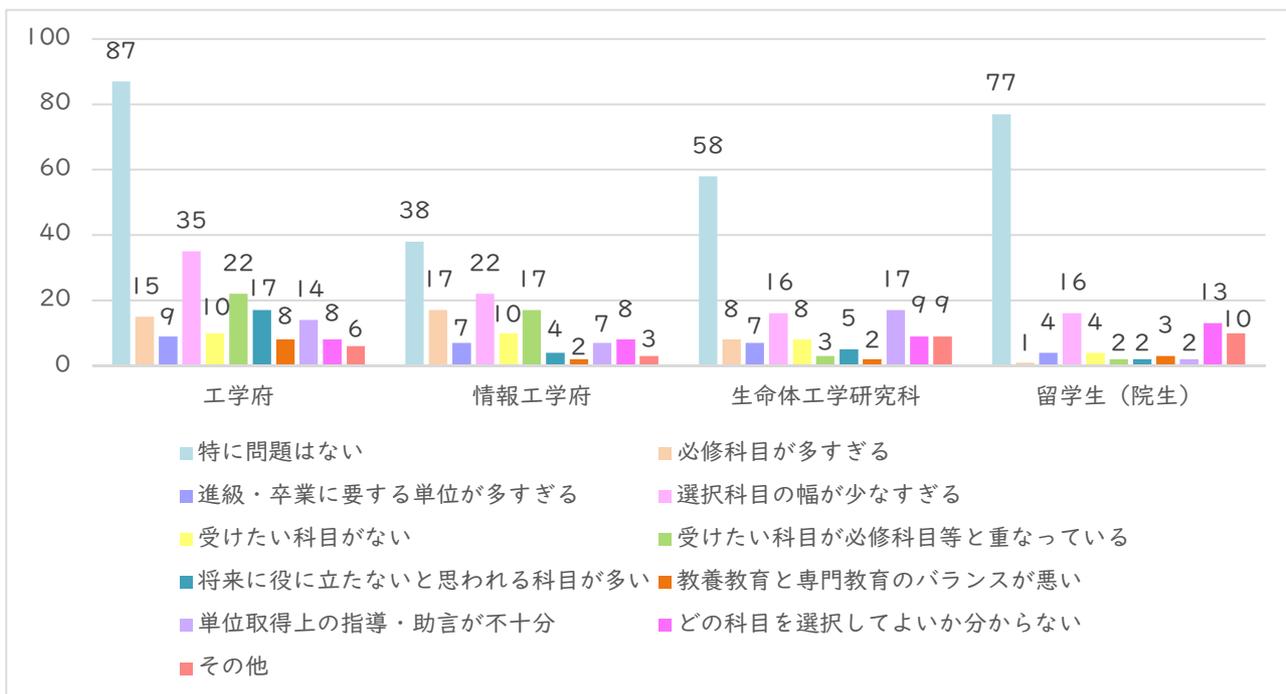
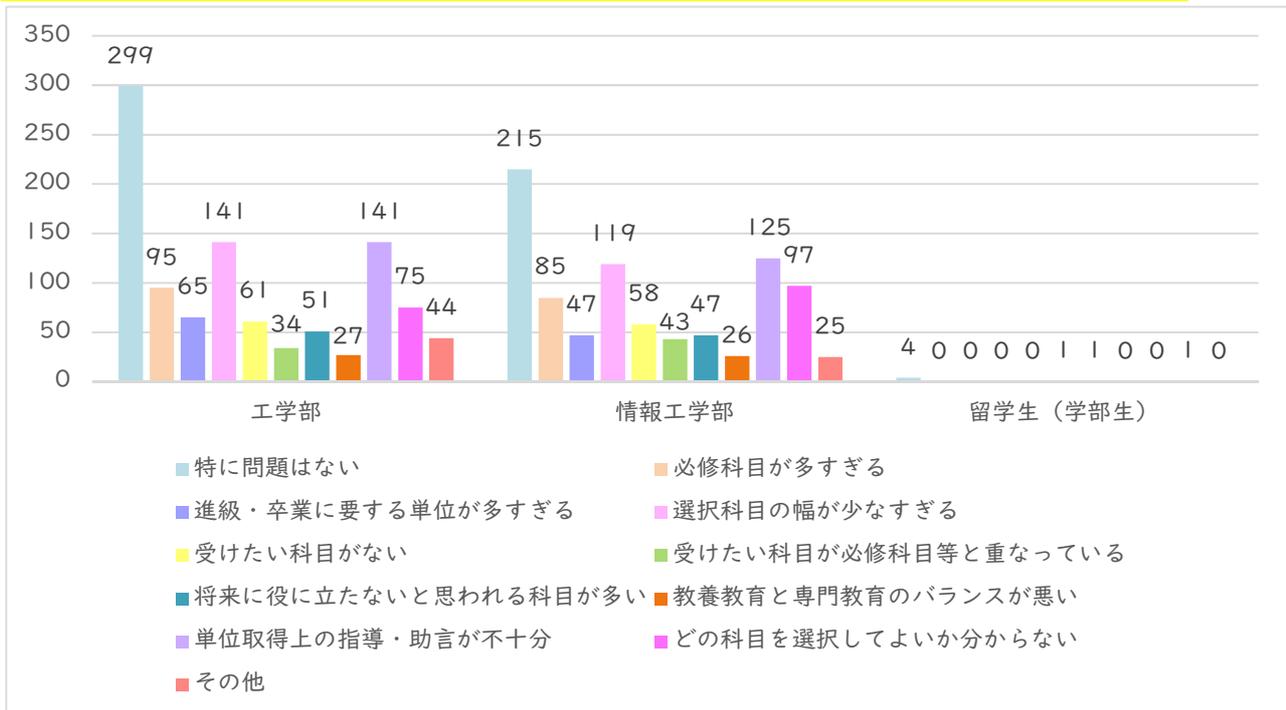
2. 満足できない授業があるとするば、理由は何ですか(複数回答可)

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、引き続き講義内容の充実に努めていく必要がある。



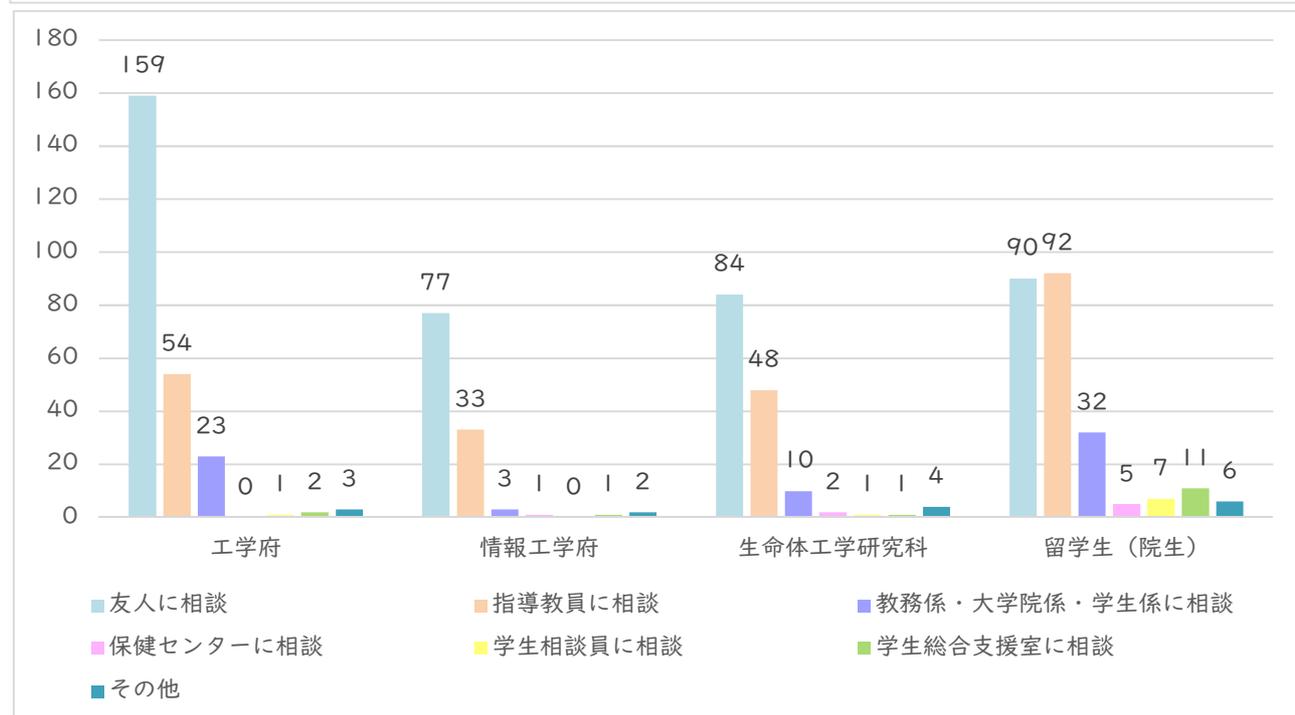
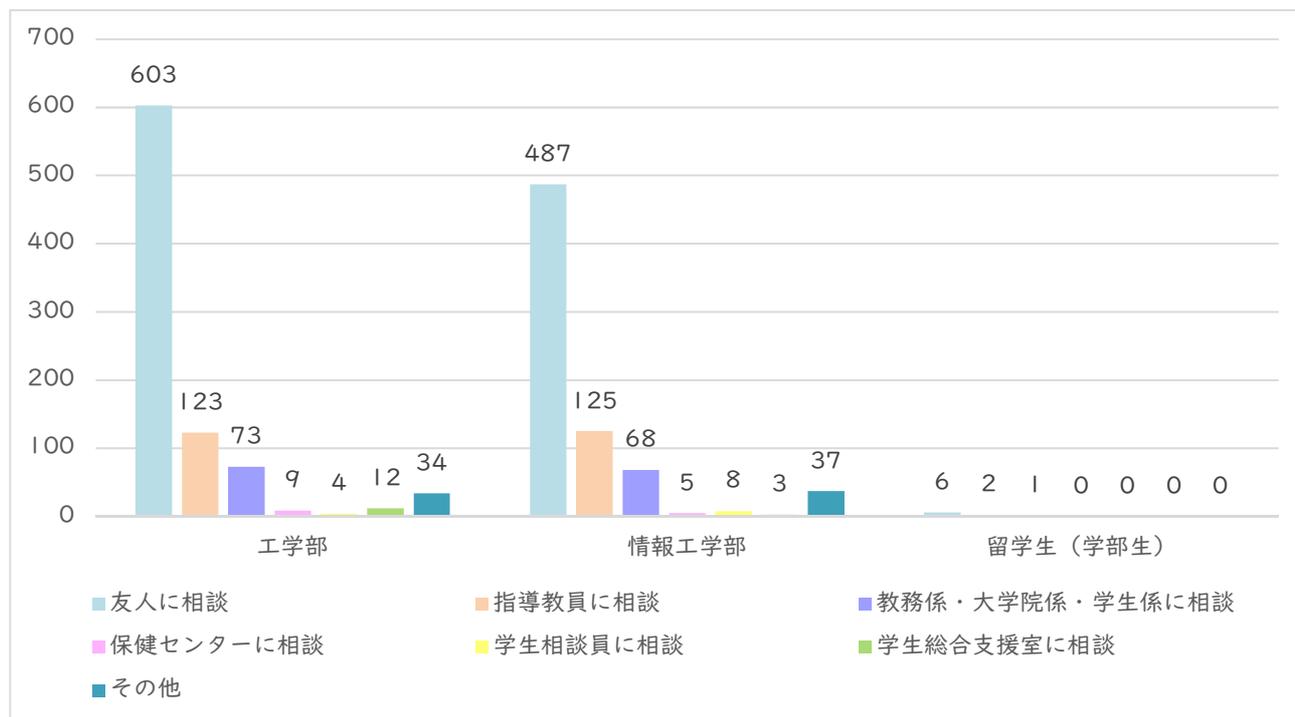
### 3. 現在のカリキュラムについて感じている問題点は何ですか（複数回答可）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。

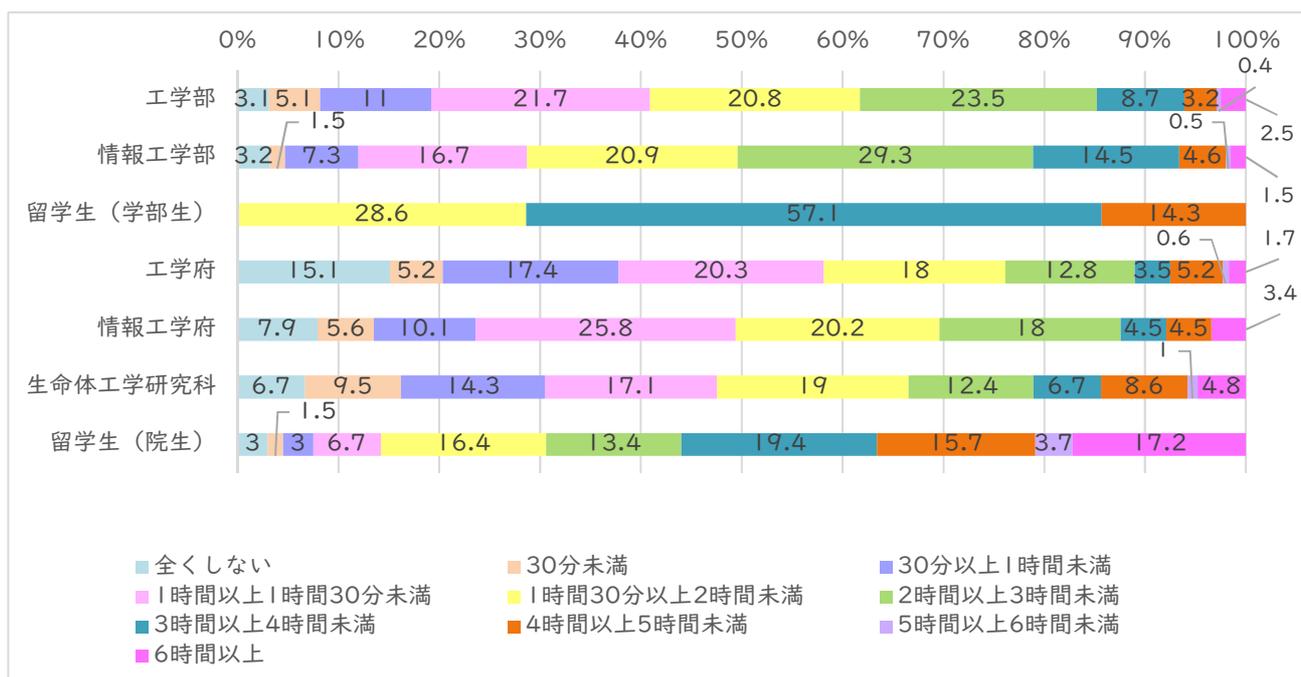


4. 修学上の問題を抱えた場合、どのように解消していますか（複数回答可）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、「友人に相談する」学生が多い。大学における相談体制についても周知に努める必要がある。

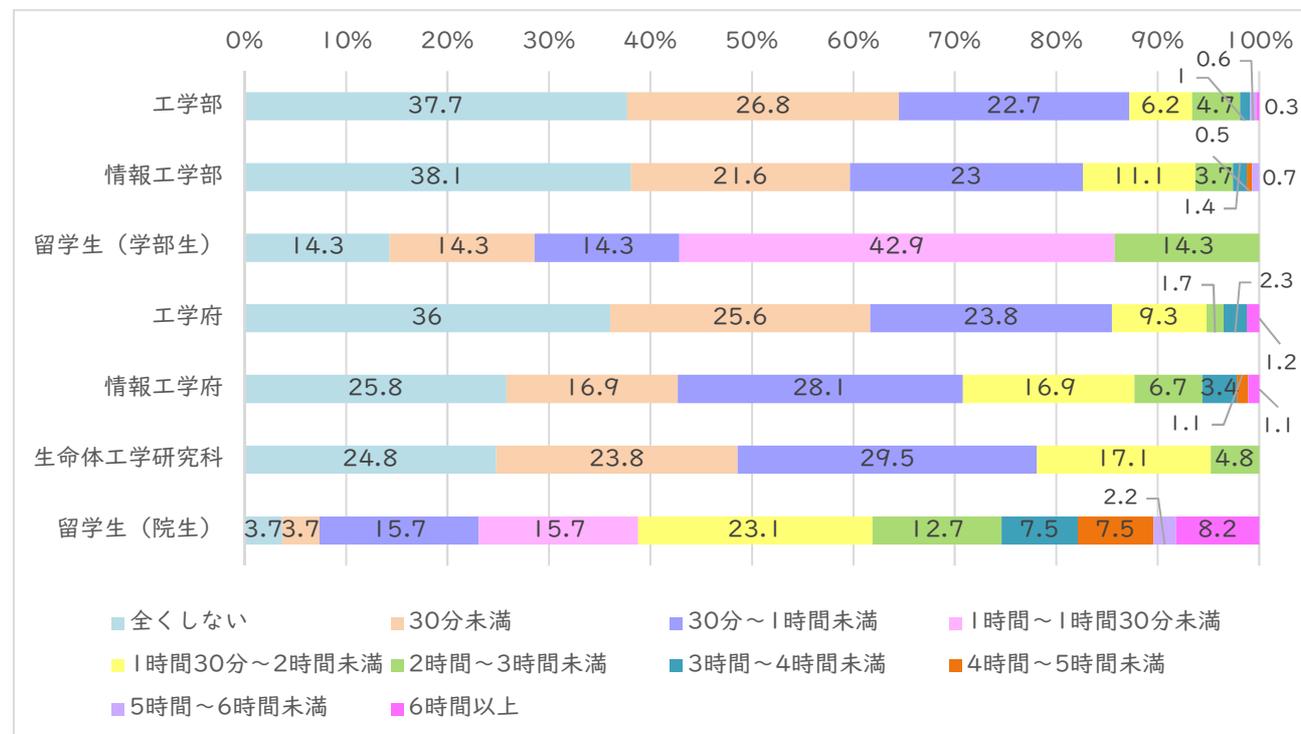


5. 授業時間以外に、予習、復習、課題、レポート(実験レポート含む)作成等で1日平均何時間勉強していますか  
 学部生において、「2時間以上」と答えている学生の割合が前回調査時(約3割)と比べ、上昇している。  
 大学院生においては前回調査時と同様の結果となっている。



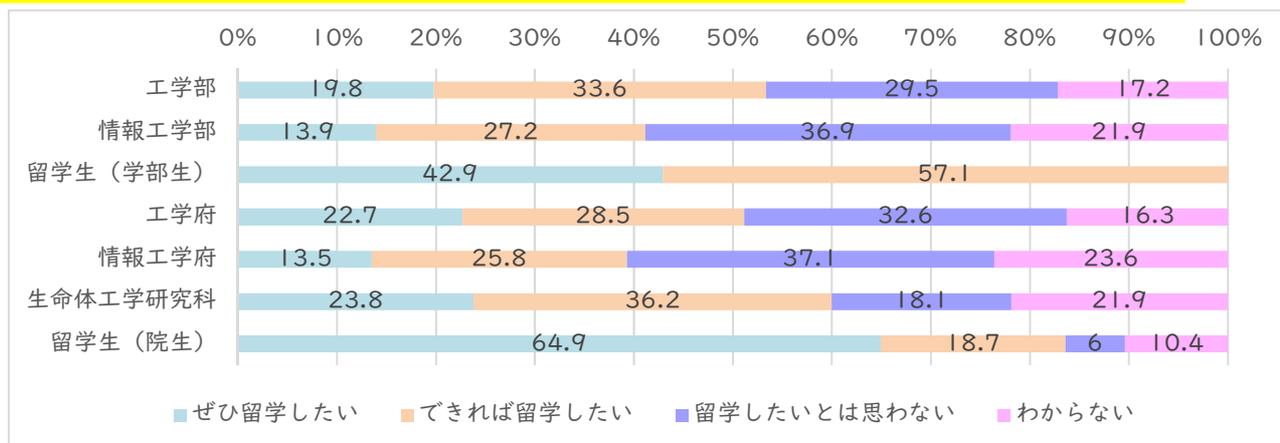
6. 講義・実験・研究に直接関連しないこと(例:英会話スクール、資格取得のための勉強等)で  
 1日平均何時間勉強していますか

学部生、大学院生ともに、前回調査時と比べ「全くしない」と回答した学生の割合が低下しており、  
 資格取得等に励んでいることがうかがえる。



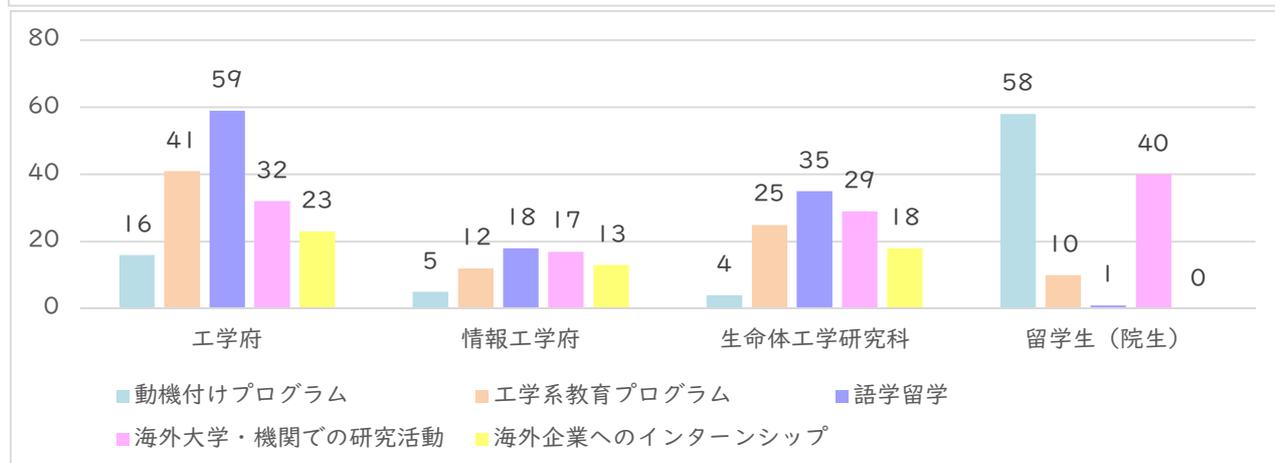
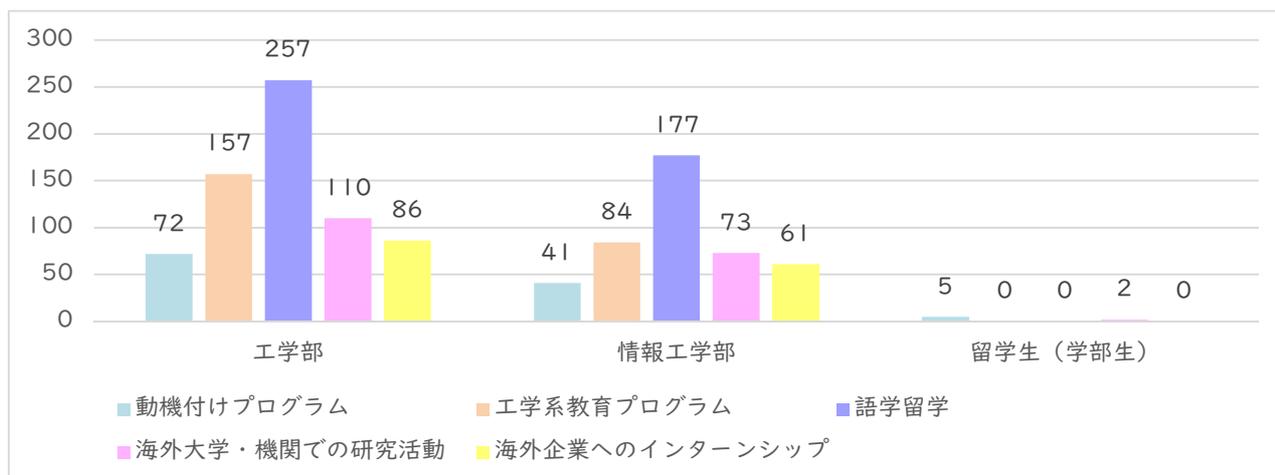
### 7. 海外留学に興味がありますか

学部生、大学院生ともに「ぜひ留学したい」と回答した学生の割合が低下しており、コロナ禍で現地へ赴くことが難しい環境が影響しているとうかがえる。

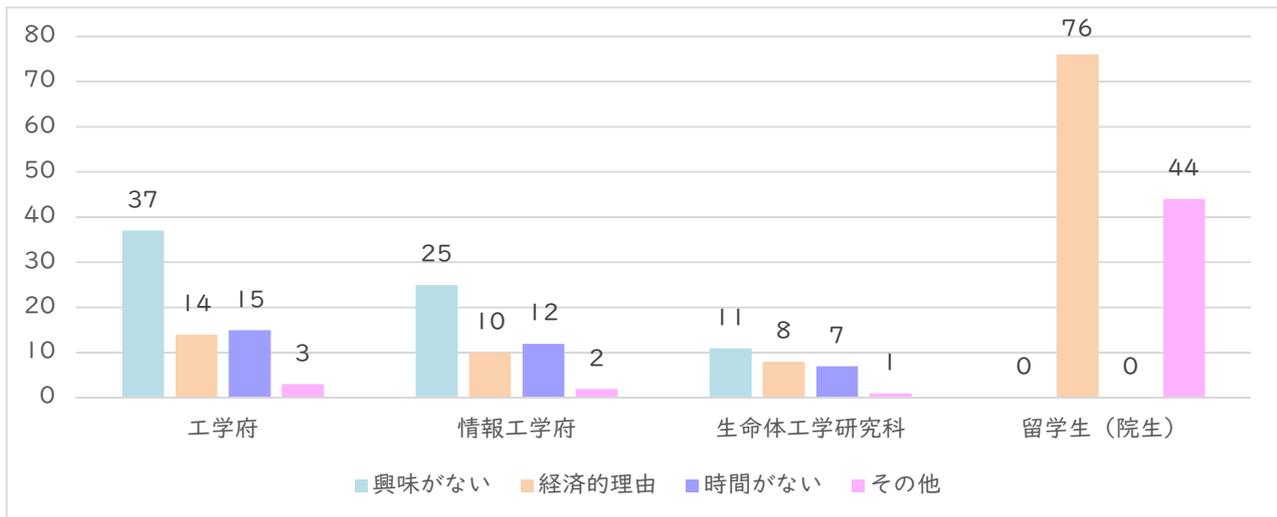
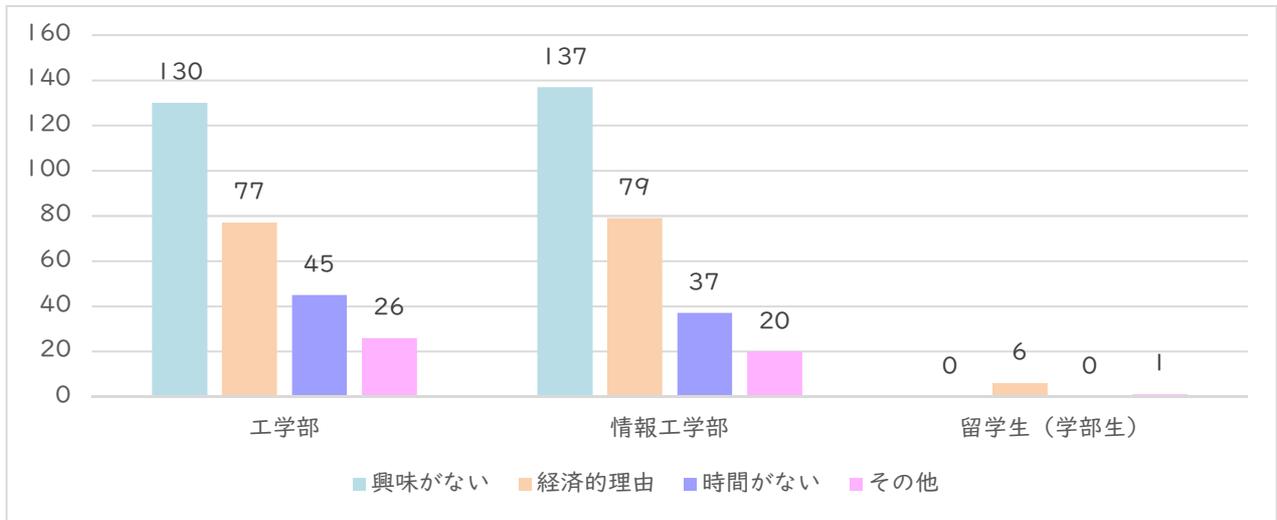


### 8. (7で「ぜひ留学したい」、「できれば留学したい」に回答した方) どんなプログラムに参加したいですか(複数回答可)

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、「語学留学」を希望する学生が最も多い。一方で、留学生に関しては、「海外大学・機関での研究活動」を希望している学生が多く、自らの専攻分野をより極めたいという学生が多いことがうかがえる。

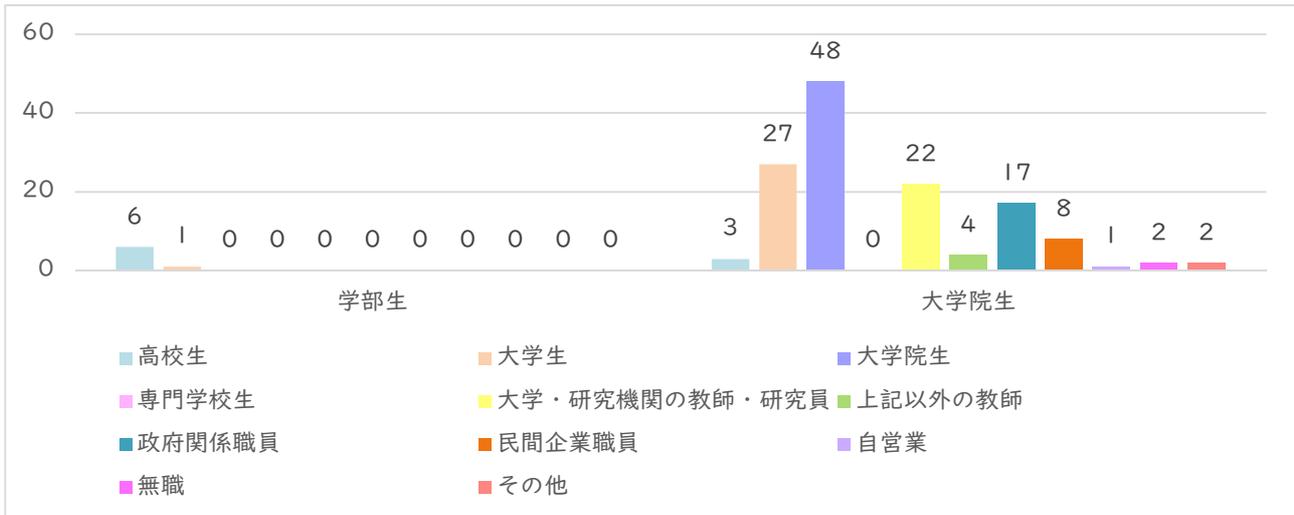


9. 海外留学を考える際、不安に考えることはありますか(留学したいとは思わない方)(複数回答可)  
 学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、「興味がない」学生に対して意識  
 づけが必要であるとうかがえる。



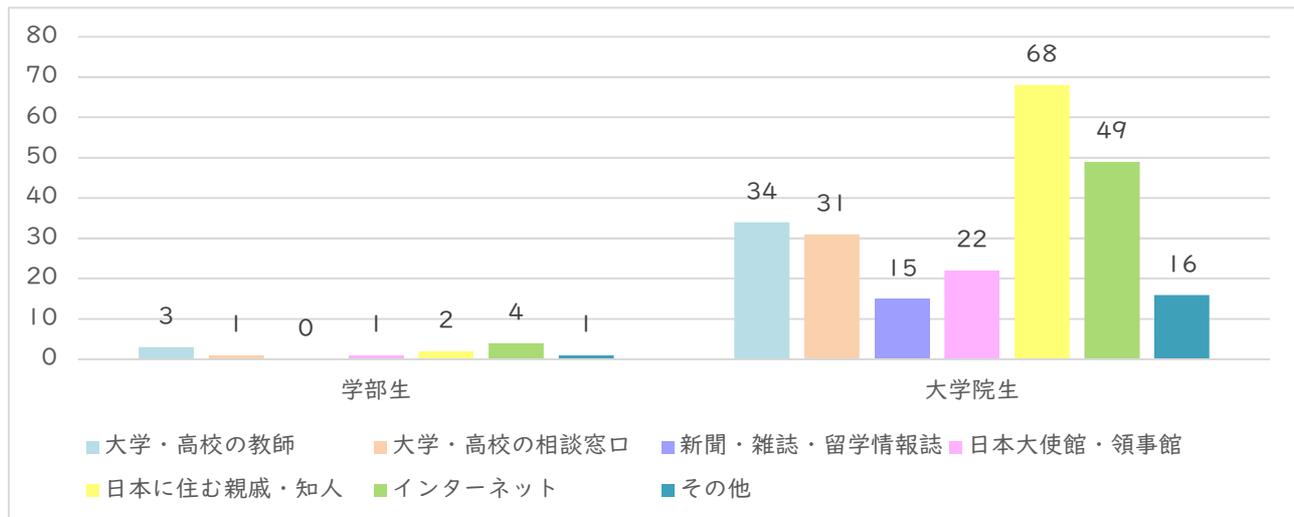
10. (留学生のみ) 日本へ留学する前の職業はなんですか

学部生は「高校生」、大学院生は「大学院生」と回答している学生が最も多い。大学院においては前職は様々である。



11. (留学生のみ) 日本に留学するための情報をどこで得ましたか (複数回答可)

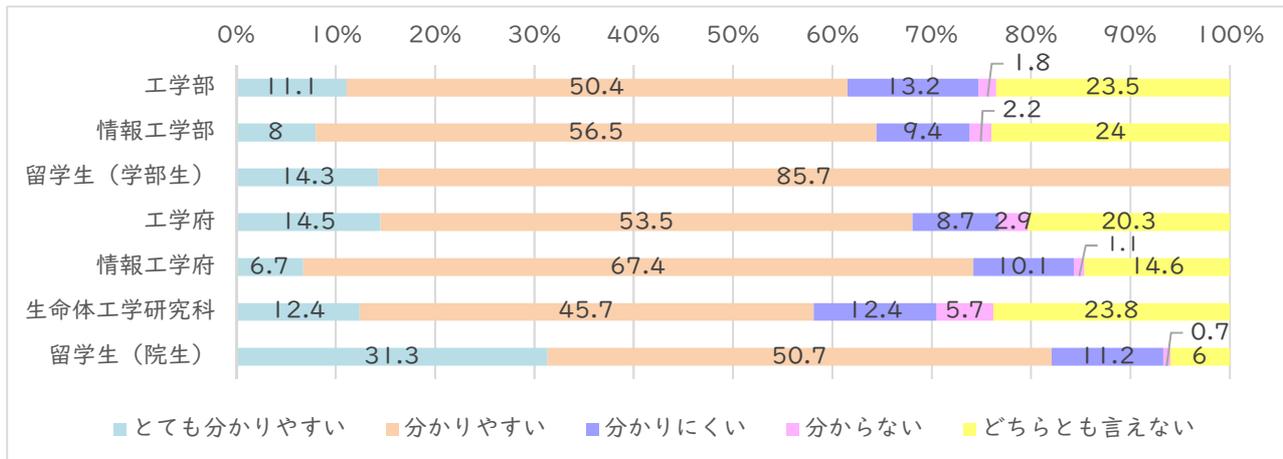
「日本に住む親戚・知人」と「インターネット」が多くなっており、積極的に情報発信を続けていくことが重要であるとうかがえる。



## 12. 授業・履修に関するガイダンスやオリエンテーションなどの内容について

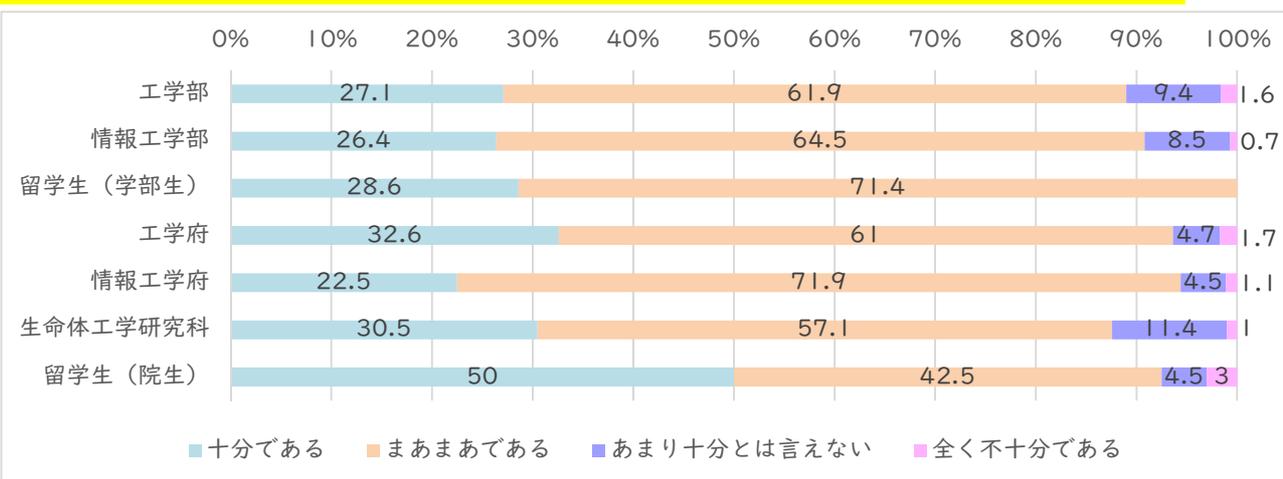
学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。

### (1) 難易度



### (2) 満足度・充実度

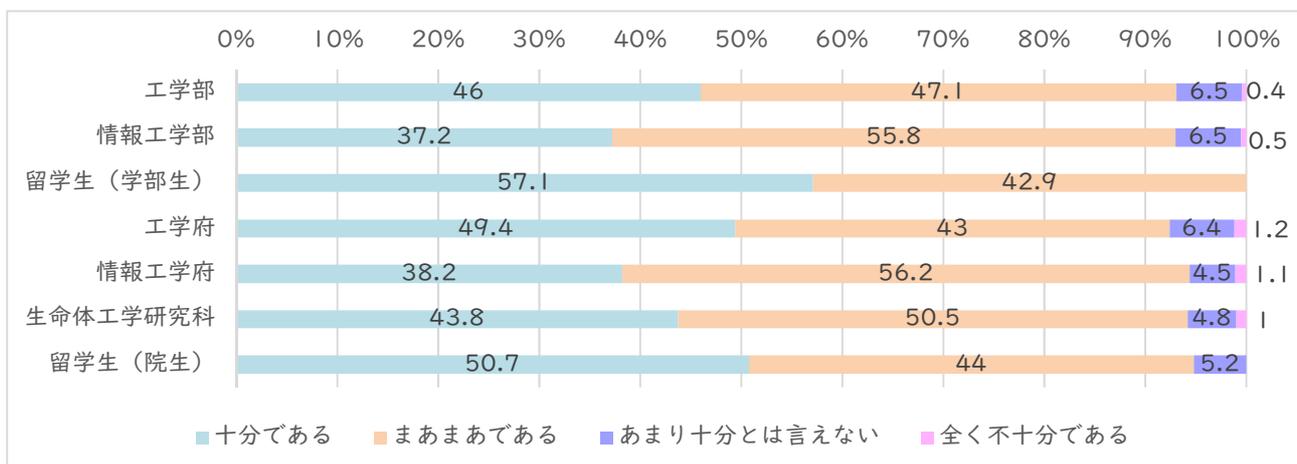
学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。



## 13. 学生便覧やシラバスの活用について

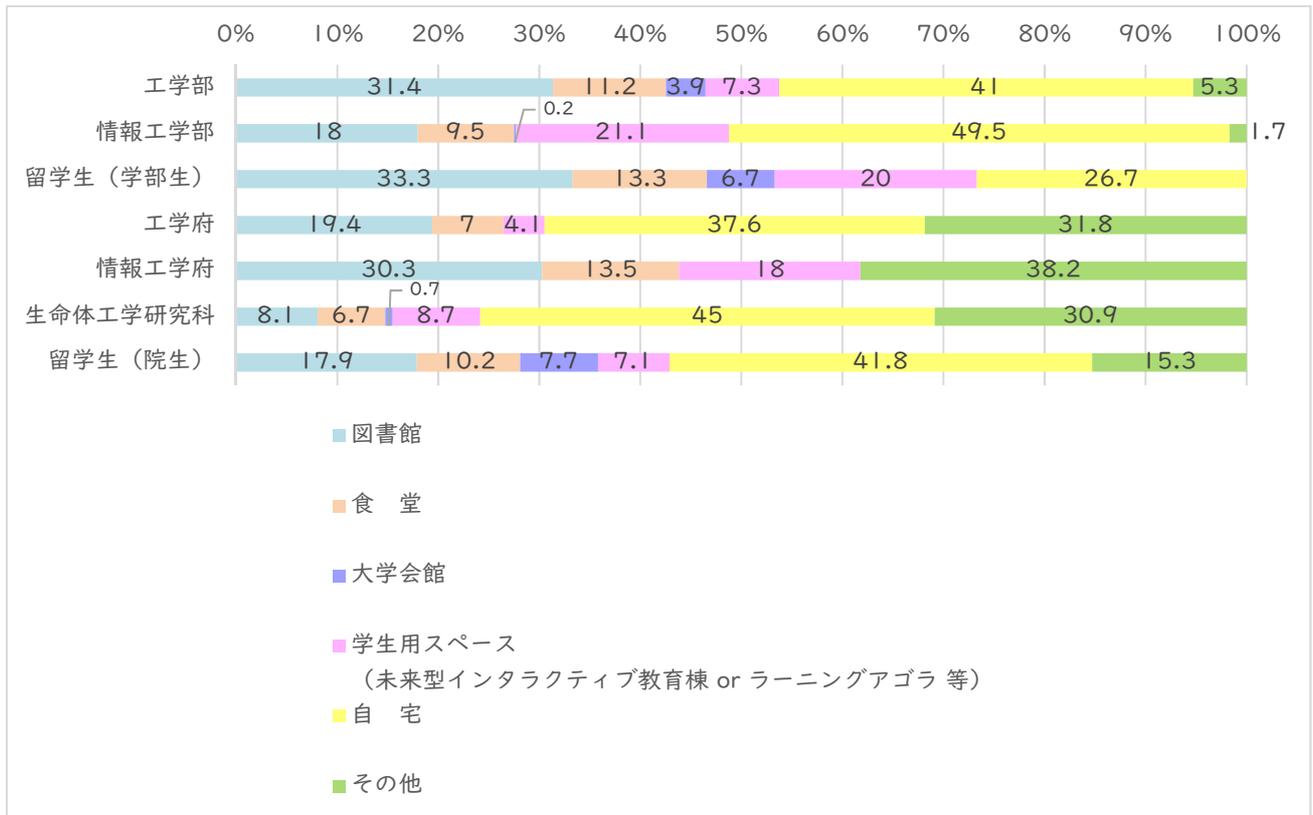
### (1) 満足度・充実度

学部生、大学院生ともに、「十分である」と回答した学生の割合が上昇しており、満足度が上昇していることがわかる。



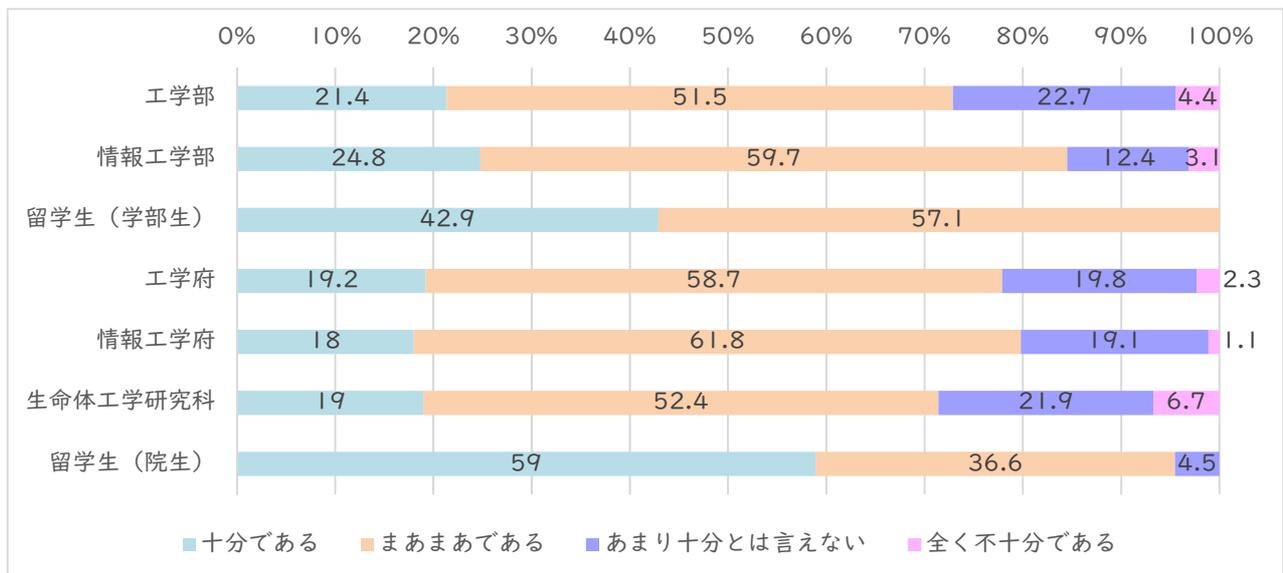
14. 講義がない時間はどこで過ごしていますか（複数回答可）

学部生においては、「学生用スペース」で過ごしている学生の割合が増加している。一方で、大学院生においては、「図書館」で過ごしている学生の割合が増加している。



15. キャンパス内の憩いの空間の充実度について

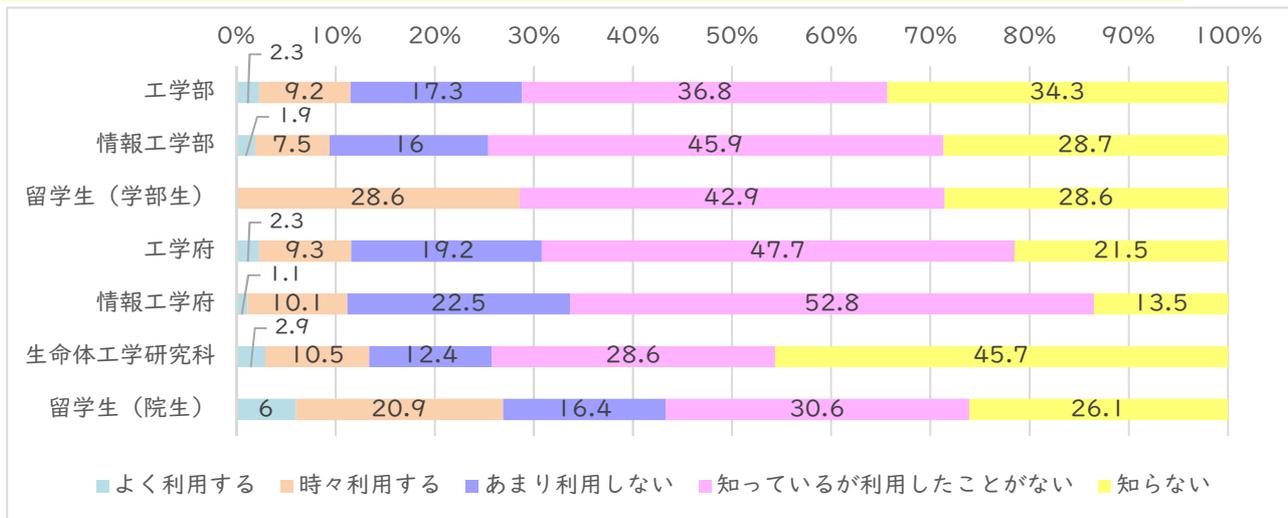
学部生、大学院生ともに約8割の学生がキャンパス内の憩いの場に特段不満を抱いていないようである。



16. 本学の図書館に設置している学習支援室（情報工学部では学習コンシェルジュ・ステーション）について

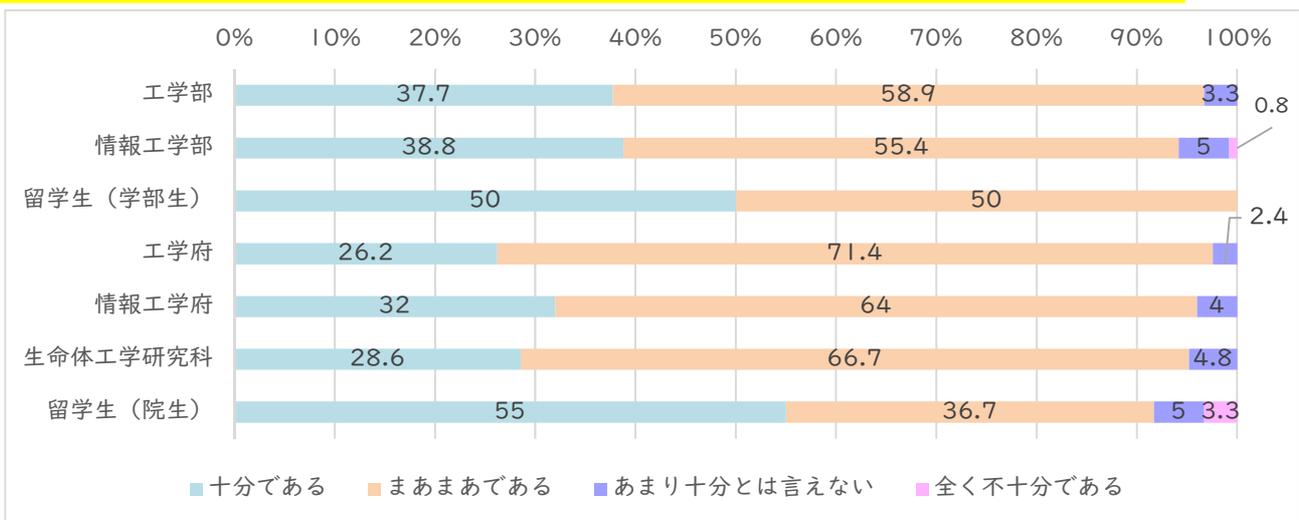
(1) 利用の頻度

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、「知っているが利用したことがない」と回答している学生の割合が最も多いことから、気軽に利用できる体制づくりに努める必要がある。



(2) 満足度・充実度

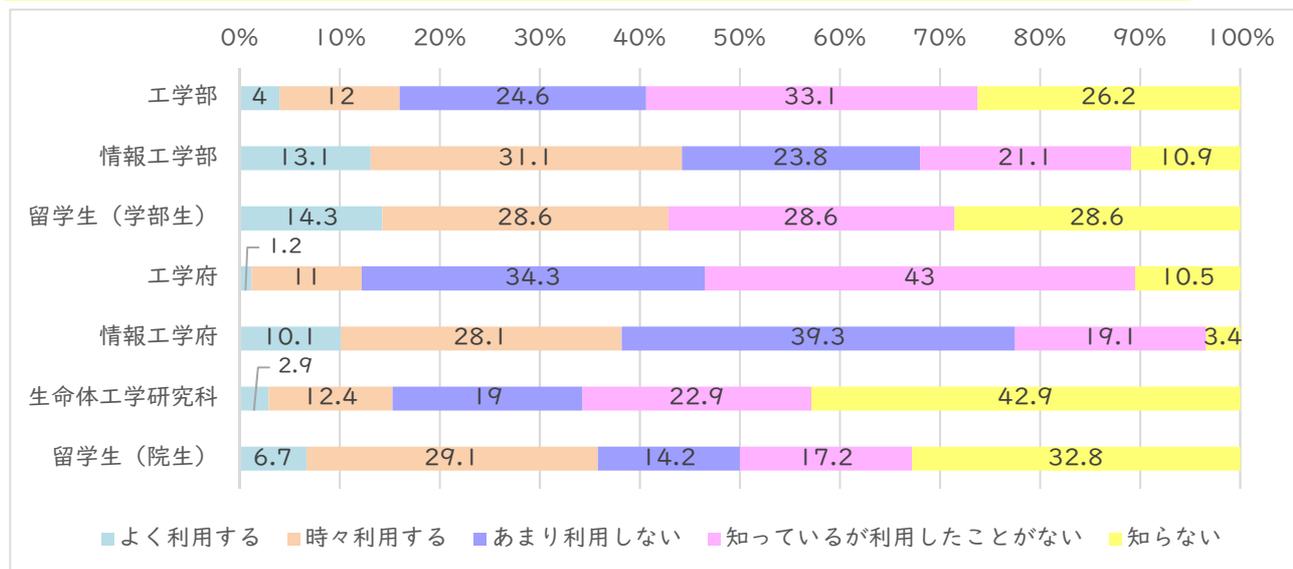
学部生、大学院生ともに、利用したことがある学生に関してはおおむね満足していることがわかる。



17. 図書館ラーニング・コモンズ、MILAiS、デザイン工房、ラーニングアゴラ、未  
来型インタラクティブ棟等、学内の自主学習スペースについて

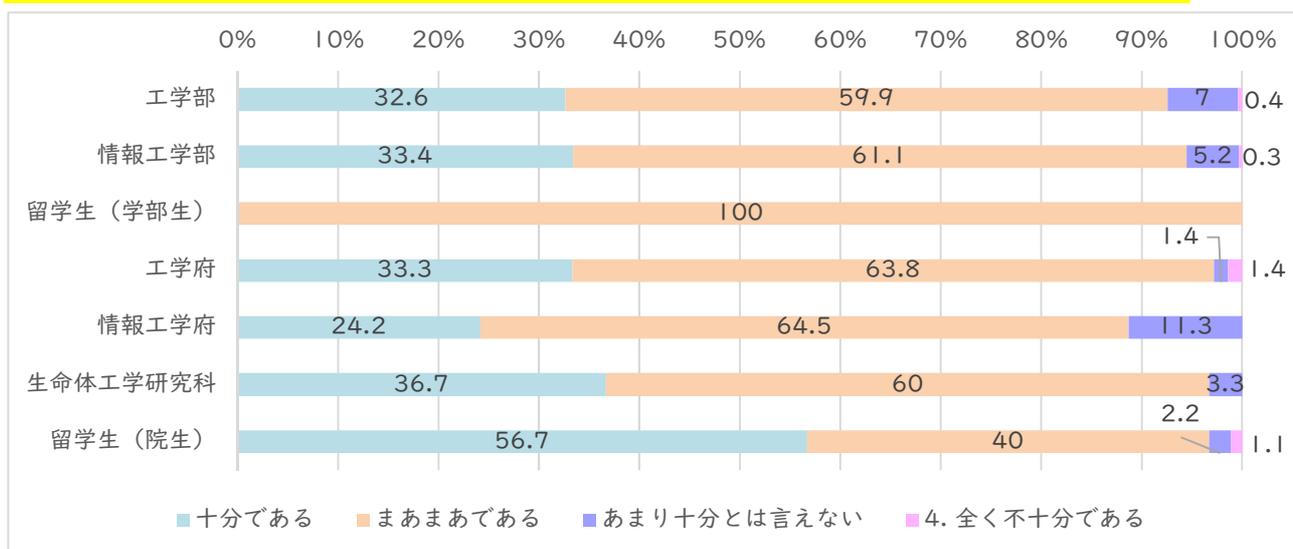
(1) 利用の頻度

学部生において、「利用したことがない」学生の割合が増加しているが、コロナ禍で学校に来ることができていないことが影響しているとうかがえる。



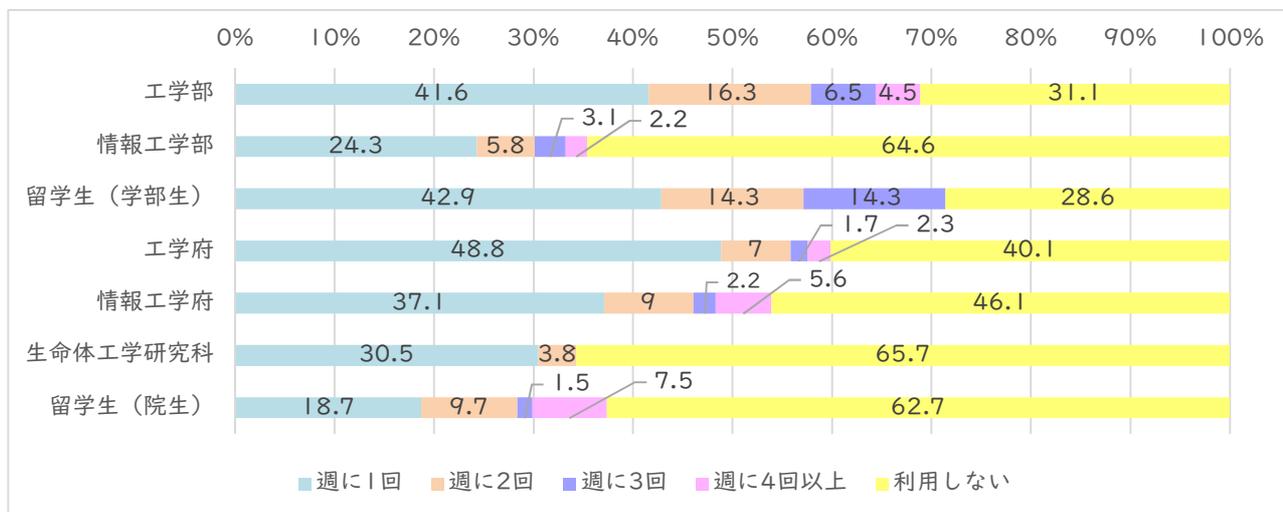
(2) 満足度・充実度

学部生、大学院生ともに利用したことがある学生はおおむね満足していることがうかがえる。



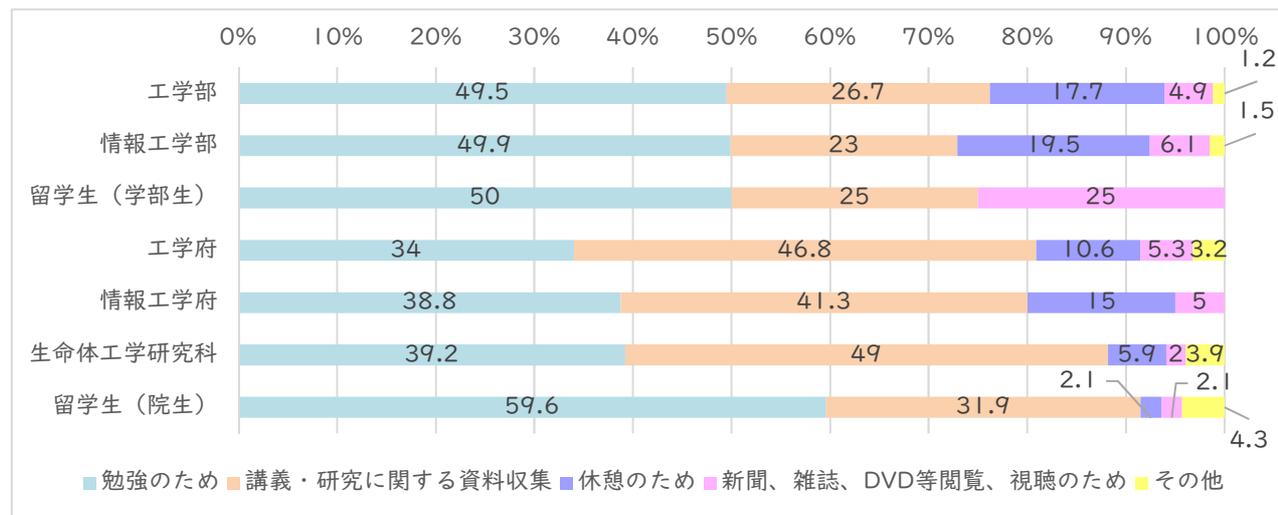
## Ⅷ. 図書館（北九州学術研究都市の図書館を含む）について

1. 本学の図書館（図書館分館あるいは北九州学術研究都市の図書館）をどの程度利用していますか  
 前回調査時と比べ、学部生、大学院生ともに「利用しない」と回答している学生の割合が増加しており、コロナ禍で大学に来ることができていないことが影響しているとうかがえる。



2. 図書館を利用する目的は何ですか（図書館を利用する方）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。学部生においては、「勉強のため」が、大学院生は「講義・研究に関する資料収集」と答えた学生の割合が最も多い。

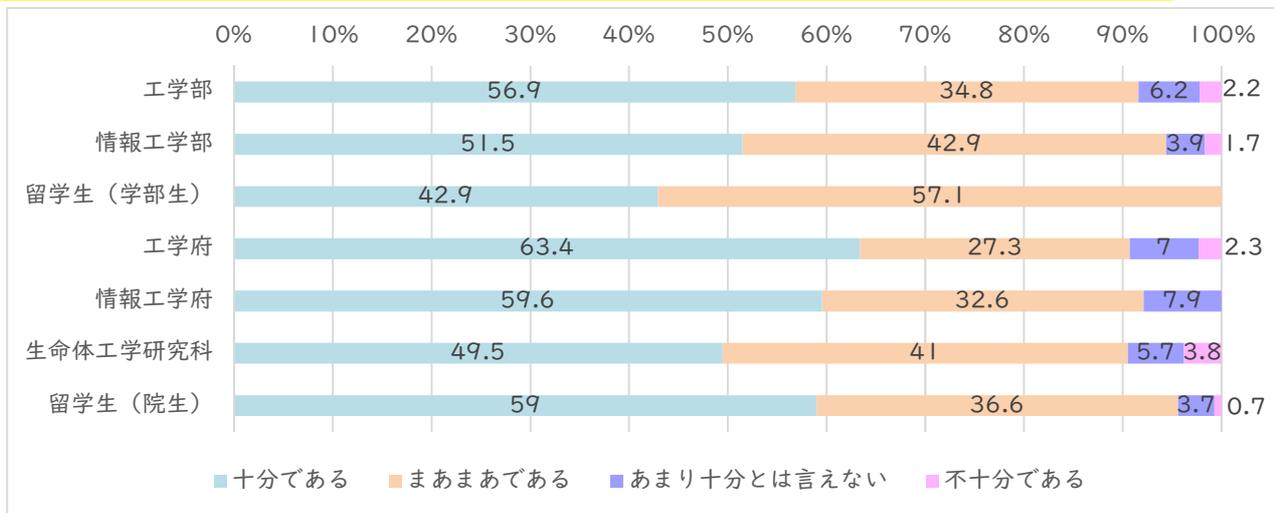


### 3. 下記図書館の充実度・満足度について

図書館（戸畑・飯塚）…平日夜間（午後8時まで）及び土曜日

北九州学術研究都市（若松）…平日夜間（午後8時まで）及び土日祝日

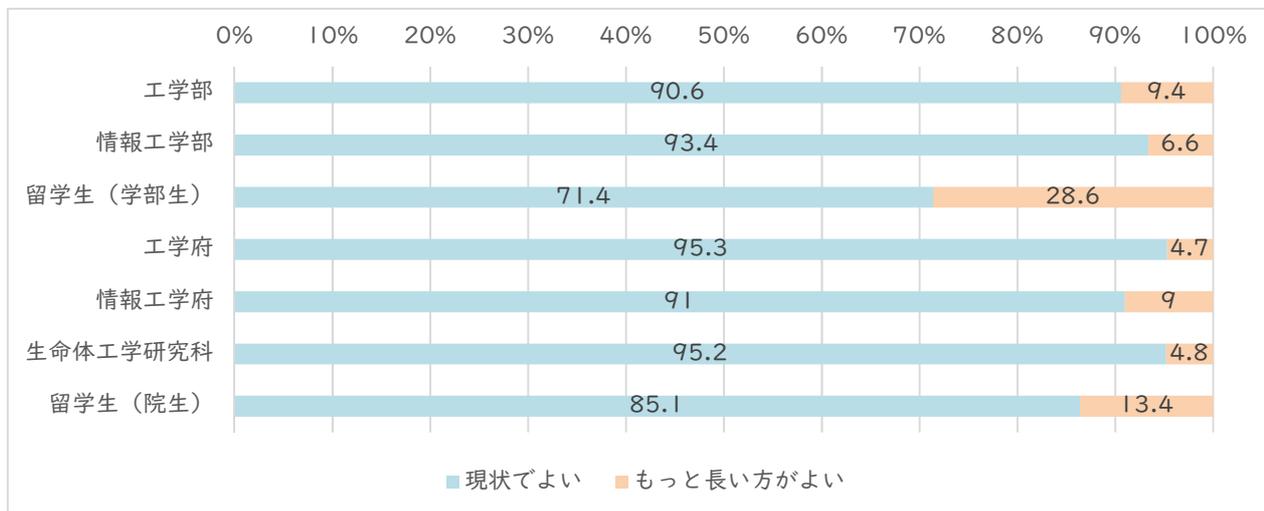
開館時間については、おおむね満足しているとうかがえる。



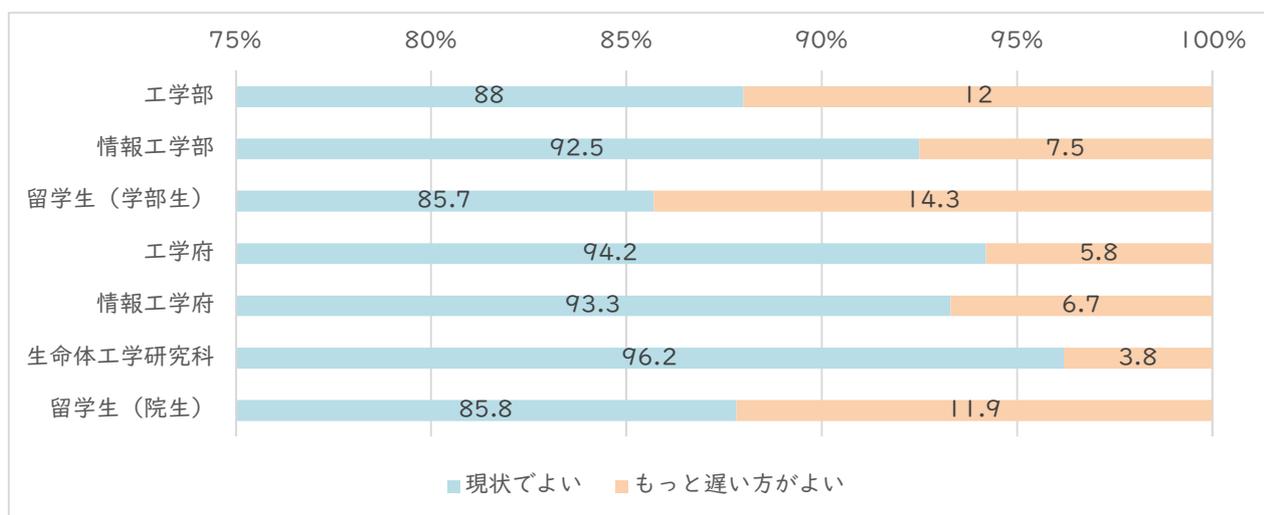
### 4. 戸畑・飯塚キャンパスの図書館について希望する開館時間はどの位ですか

戸畑・飯塚キャンパスともに、「もっと遅いほうがよい」と回答している学生の割合が増加しているが、コロナ禍で開館時間を短くしている影響があるとうかがえる。一部、「24時間開けてほしい」といった要望もあった。

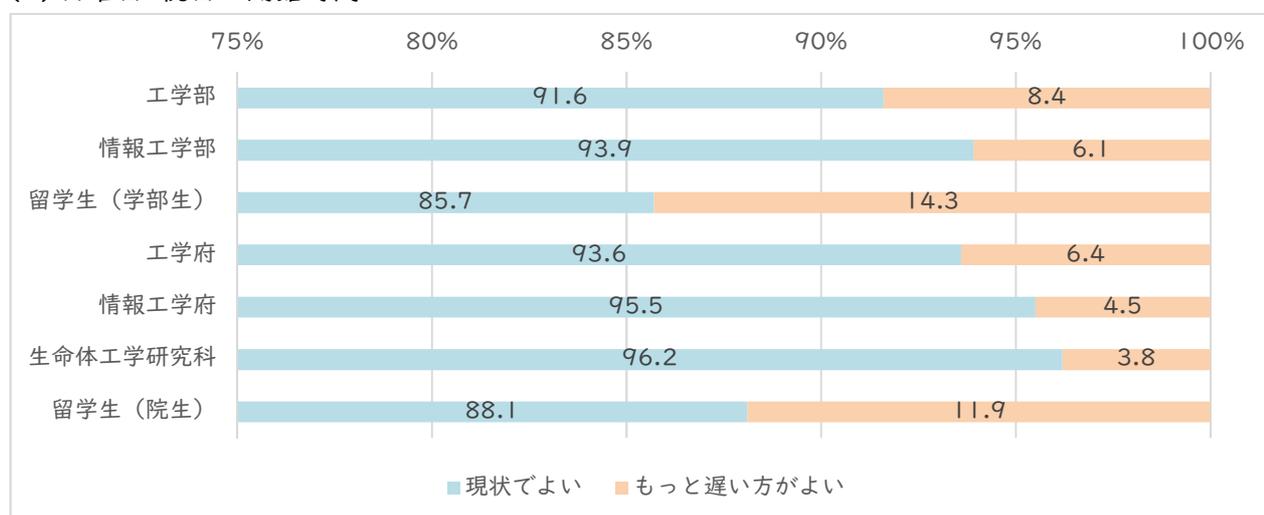
#### (1) 平日（月～金）の開館時間について



## (2) 土曜日の開館時間について

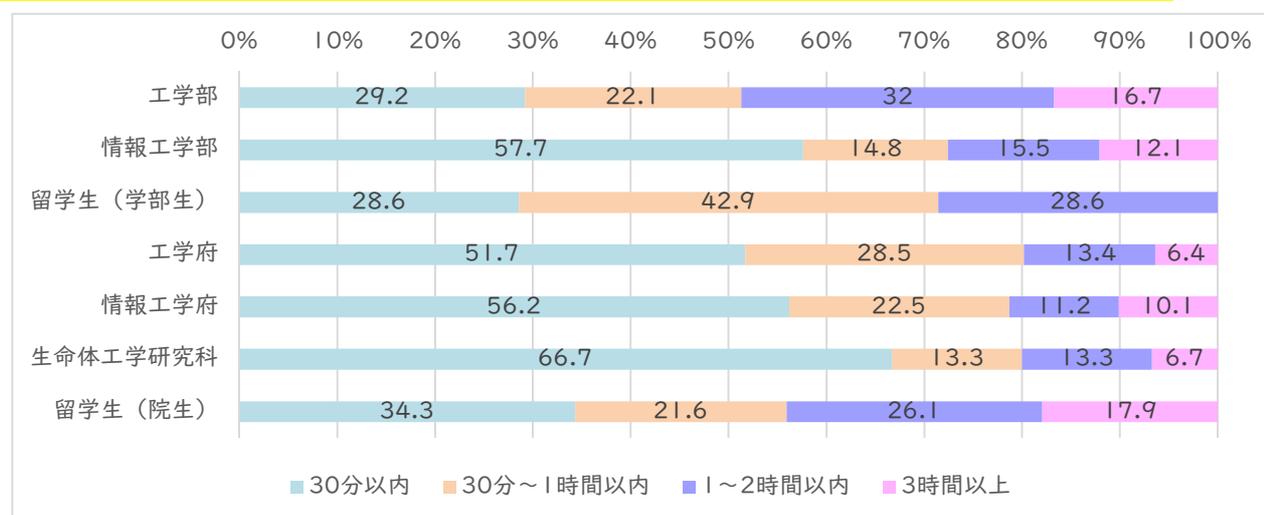


## (3) 日曜日・祝日の開館時間について



## 5. 1回の平均利用時間はどの位ですか

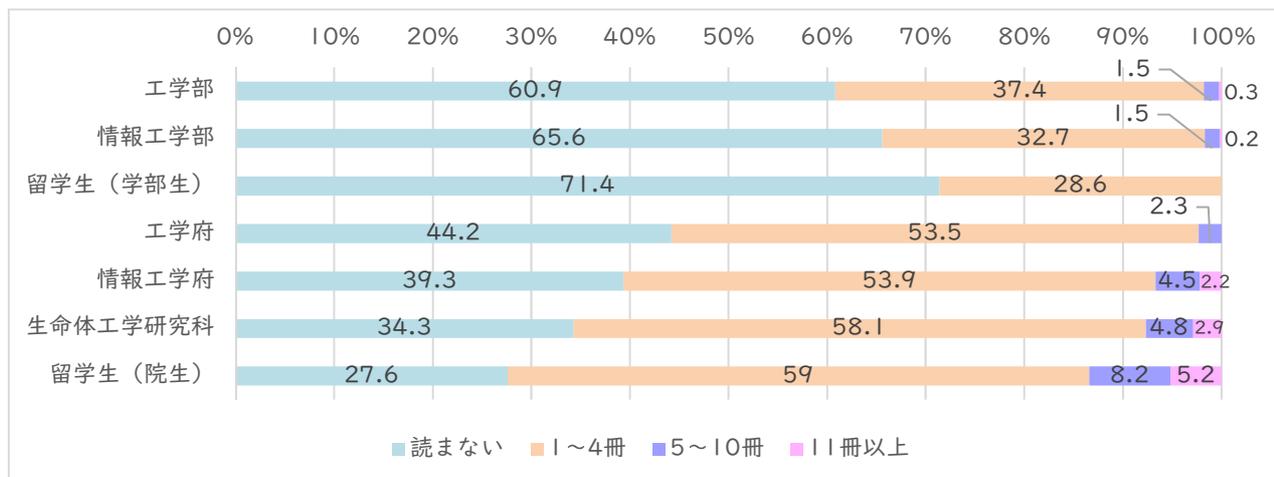
学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。



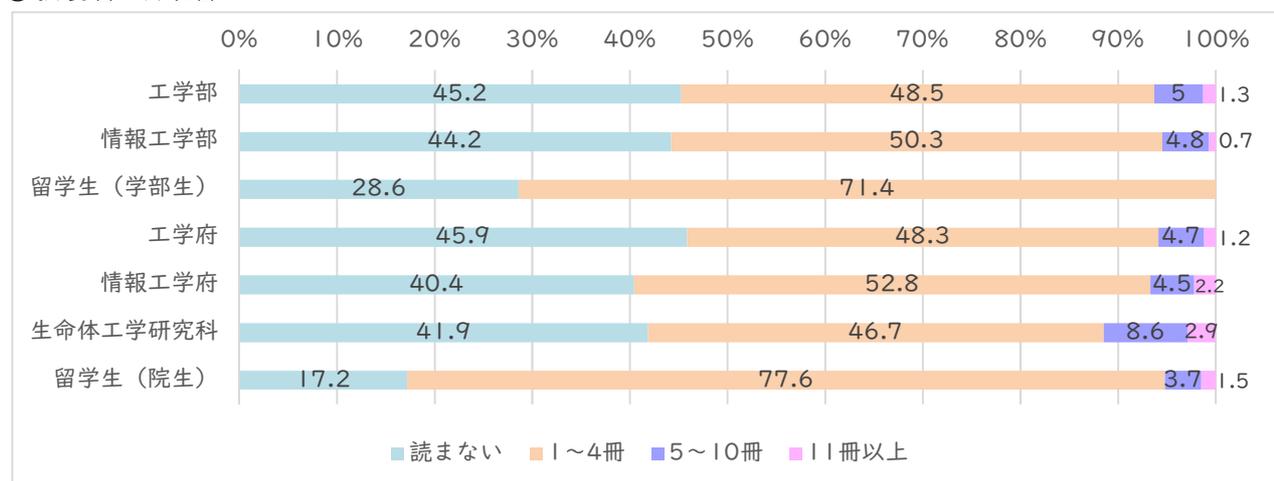
## 6.月に何冊くらい本を読みますか

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっている。

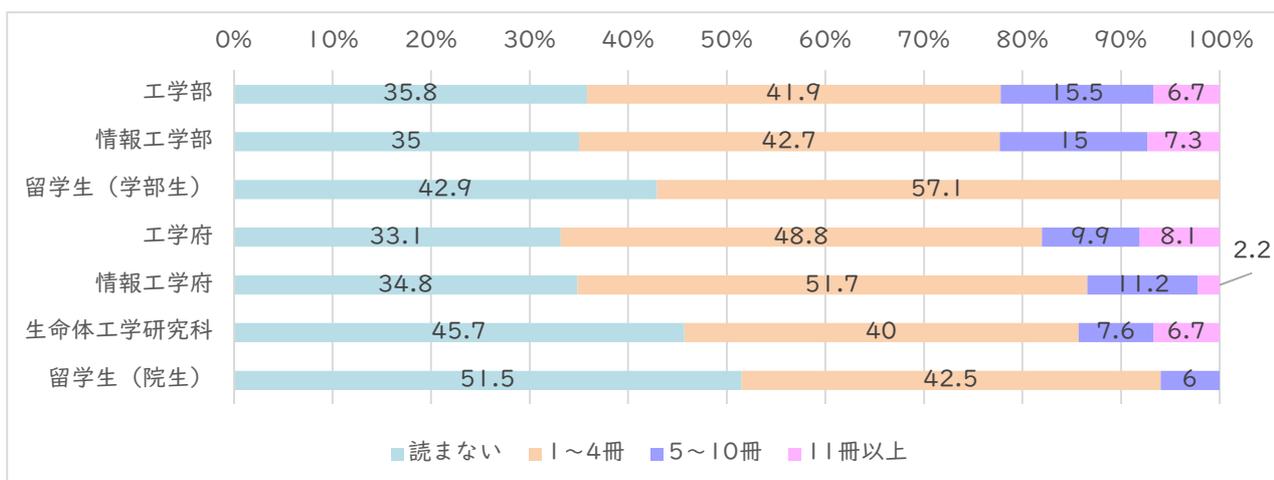
### ①専門書・専門雑誌



### ②教養書・娯楽書

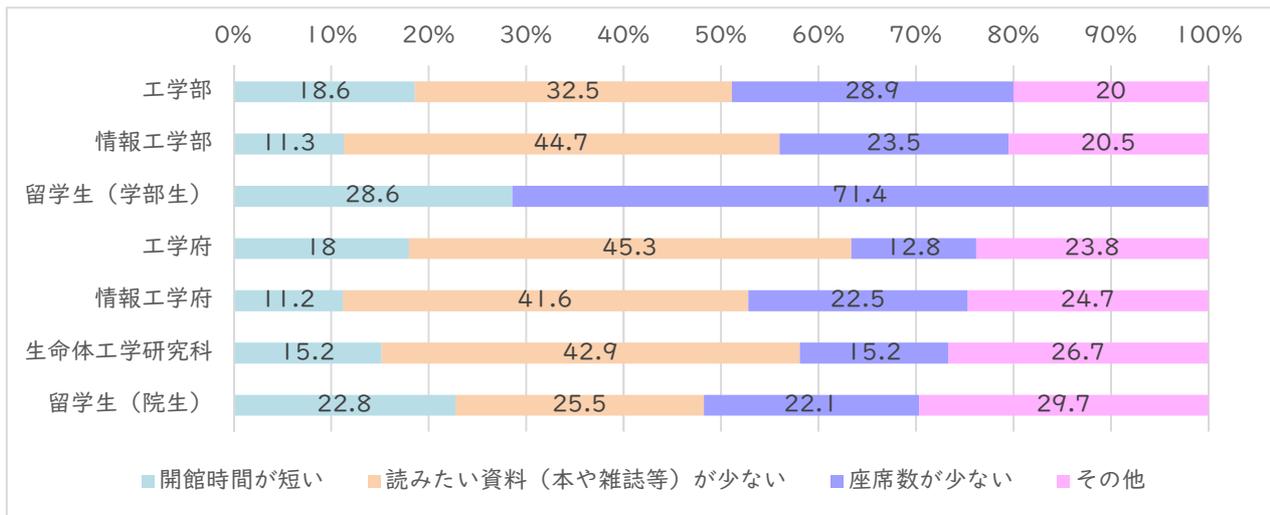


### ③雑誌・漫画



### 7. 図書館の改善すべき点はどこですか

「読みたい資料（本・雑誌等）が少ない」と回答している学生の割合が最も多くなっているが、本の取り寄せやリクエストができる点の周知に努める必要がある。

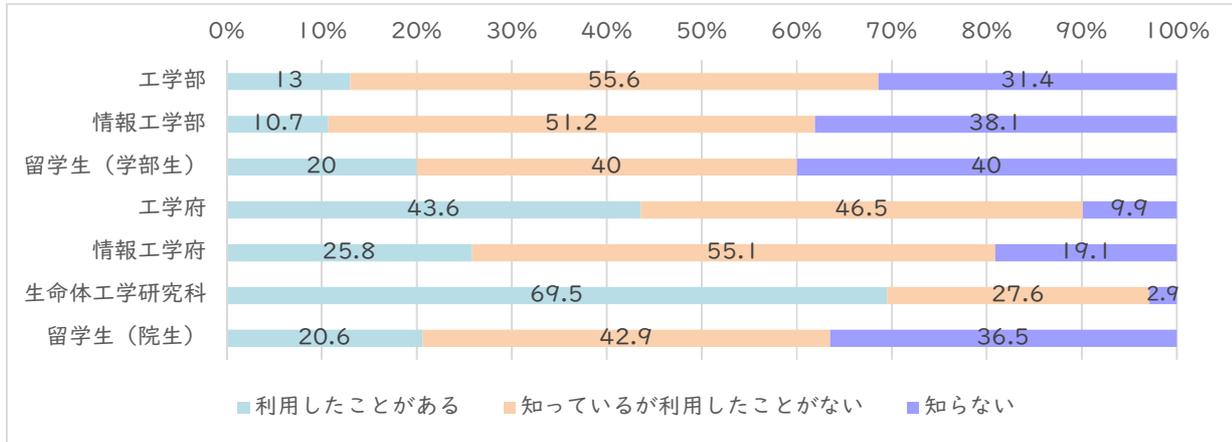


## IX. 進路・就職支援について

### I. 卒業後の進路について

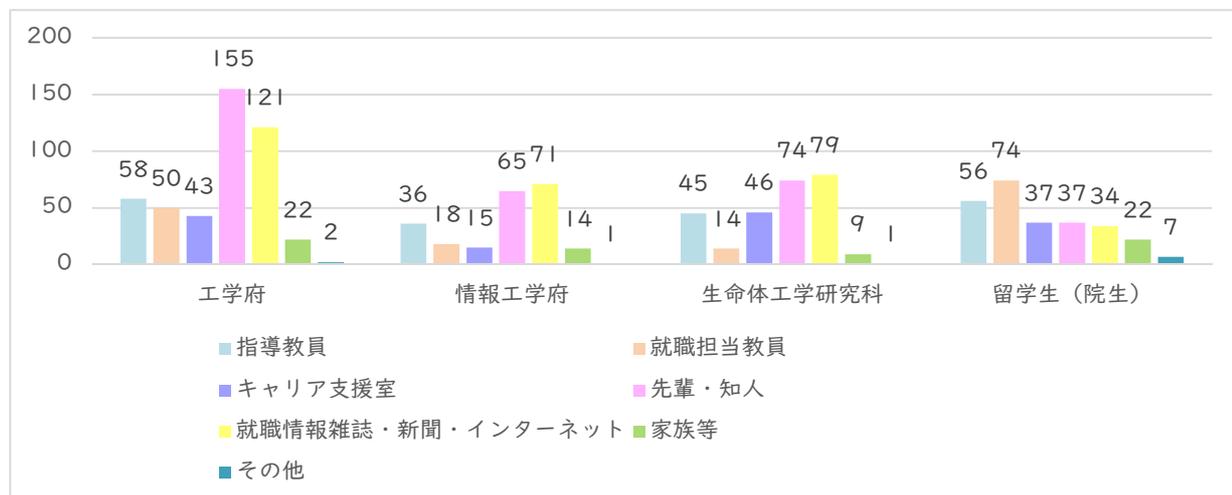
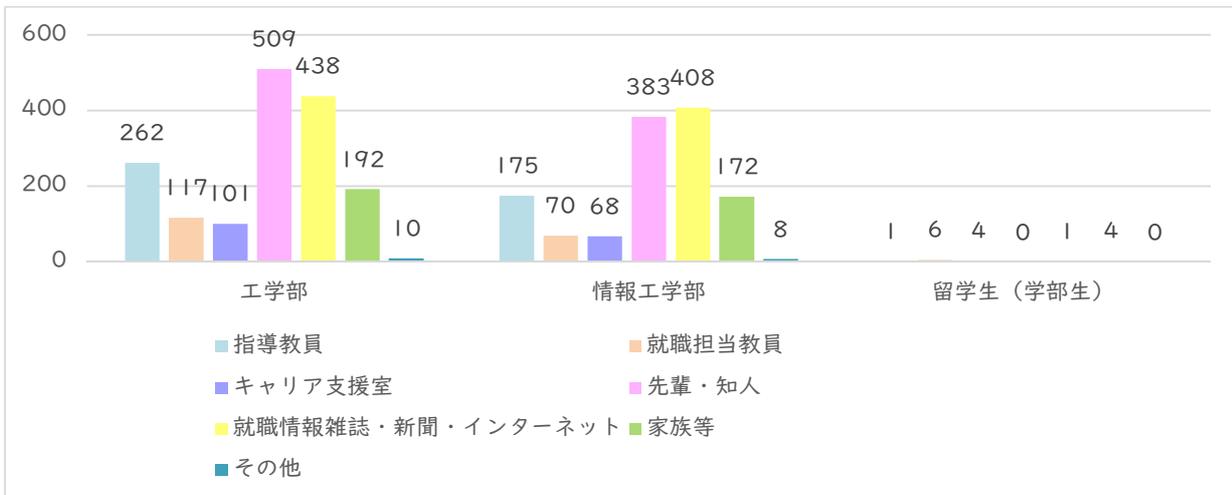
#### 1. キャリアセンターを利用したことがありますか(就職を希望されている方)

前回調査時と比べて、「利用したことがない」学生が増加しており、気軽に利用できるような環境であることを努める必要がある。



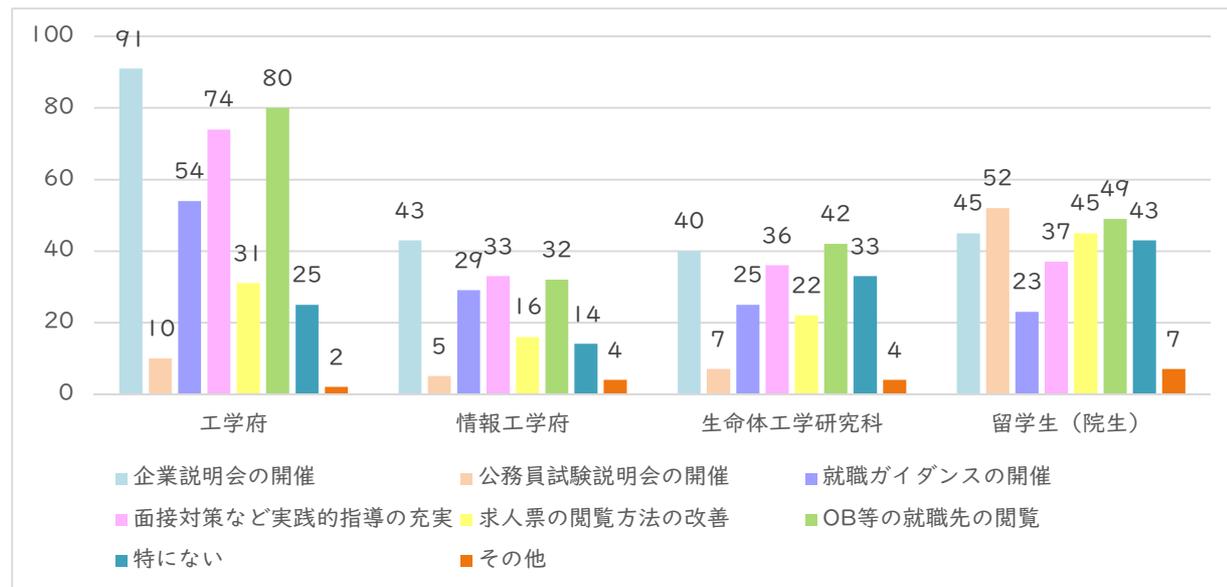
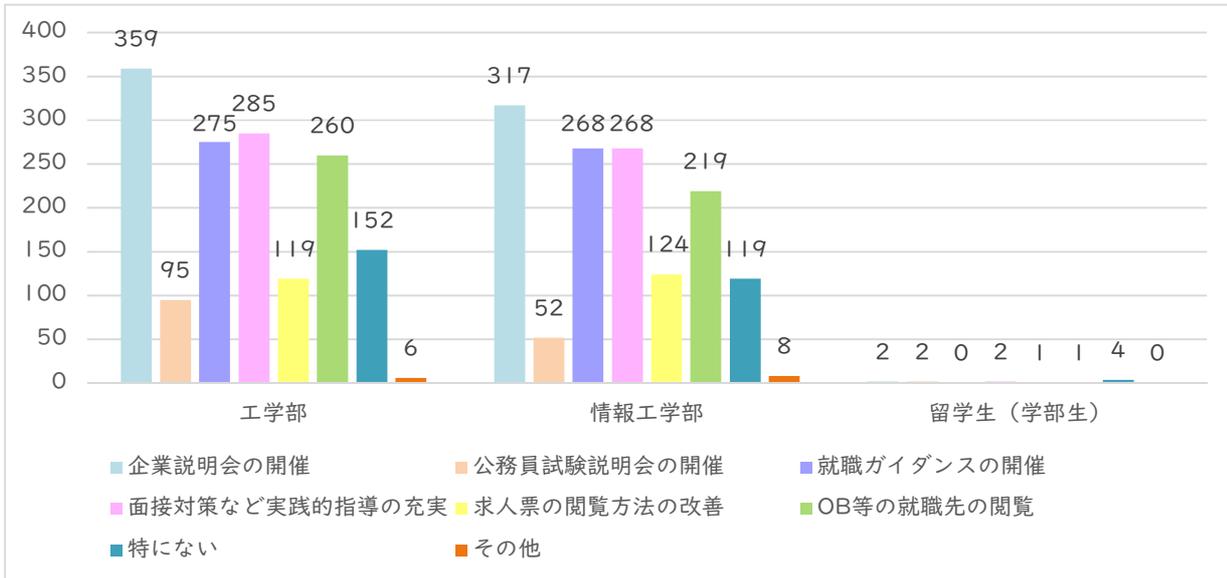
#### 2. 進路を考える上での情報入手手段は何ですか(複数回答可)

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、口コミを得やすい「先輩・知人」や企業研究、Webエントリー等で用いる「就職情報誌・インターネット」による手段が多くなっている。



### 3. 就職支援に関し大学に希望するものは何ですか(複数回答可)

どのキャンパスにおいても「企業説明会の開催」が多いが、オンラインでの開催や低学年向けのイベントが開催されていることをさらに周知する必要があるとかがえる。また、「OB等の就職先の閲覧」を希望する学生も多く、本学OBが就職支援に及ぼす影響が強いことがうかがえる。



4. 就職に関して不安に思っていることは何ですか（複数回答可）

学部生、大学院生ともに前回調査時と同様の結果となっており、今後も継続して大学側のサポートが必要である。

